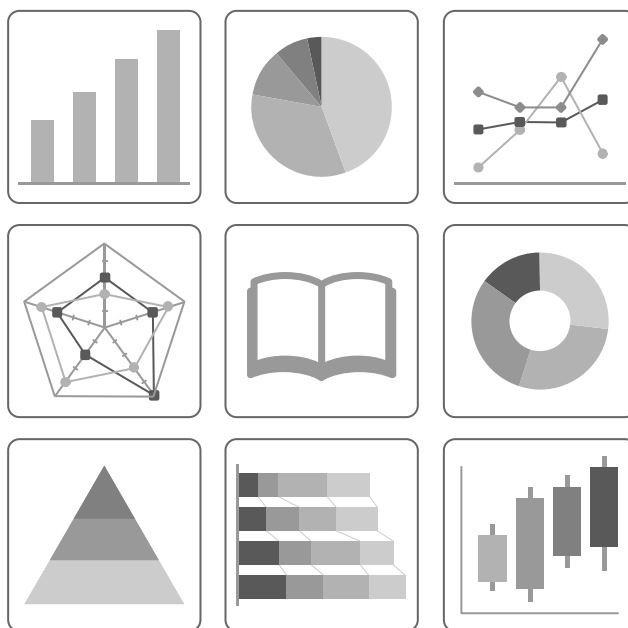


海津市 市民意識調査 調査結果報告書



令和3年2月

海 津 市

目 次

1 市民意識調査の概要

1) 目的	2
2) 実施期間	2
3) 調査対象者	2
4) 回収状況	2

2 回答結果

1) 回答者の性別、年齢等について	3
5) 男女共同参画社会について	6
6) 自由意見	116

1 市民意識調査の概要

1) 目的

本調査は総合計画及び男女共同参画プランに関する市民の多様なニーズを把握し、計画立案に向けての重点施策に反映させるための基礎資料として実施。

2) 実施期間

令和2年10月30日（金）～年11月16日（月）

3) 調査対象者

海津市在住の15歳以上の方の中から2,000人を無作為抽出

4) 回収状況

有効回答数 952 部（回収率 47.6%）

2 分析結果

結果の内容構成

1) 回答者の性別、年齢等について（問1～問7）

2) 海津市での居住について（問8～問10）

- ・回答者の性別、年齢等からみた集計（以下「クロス集計」という。）を含む

3) 暮らしやすさの評価について（問11）

- ・40 施策項目について、各施策の満足度及び重要度の平均ポイント、ニーズ得点を算出し、平成27年度（以下「前回」という。）実施したアンケートの結果と比較

4) 将来のまちづくりについて（問12～問25）

- ・分野別の施策を回答割合の高い順に並べ、前回の調査から割合がアップしたものを明記（赤枠で囲った項目）

5) 男女共同参画社会について（問26～問34）

- ・回答者の性、年齢等からみた集計（「クロス集計」）を含む。
- ・平成17年度、平成22年度及び平成27年度のアンケート結果と比較

6) 自由意見（カテゴリ別に分類して整理）

- ・男女共同参画に関する意見（総括表と内容別の意見）

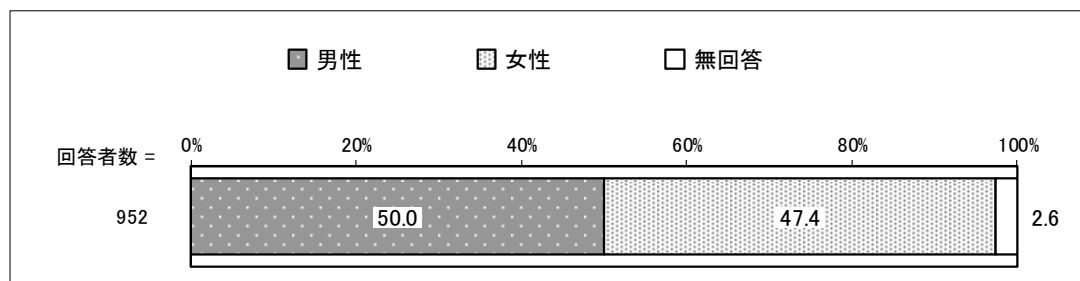
留意事項

- ・回答は各質問の回答者数（N）を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。
- ・調査結果を図表にて表示していますが、グラフ以外の表は、最も高い割合のものを■で網かけをしています。（無回答を除く）
- ・回答者数が1桁の場合、回答件数による表記としています。

1) 回答者の性別、年齢等について

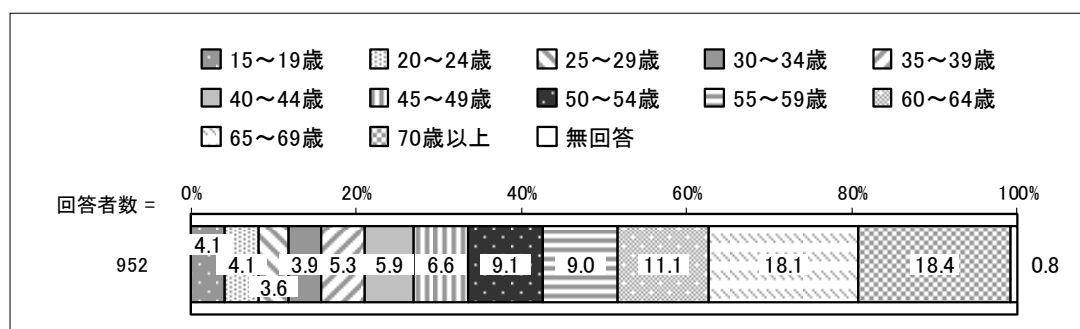
問1 あなたの性別を教えてください。(〇は1つ)

○「男性」の割合が50.0%、「女性」の割合が47.4%となっています。



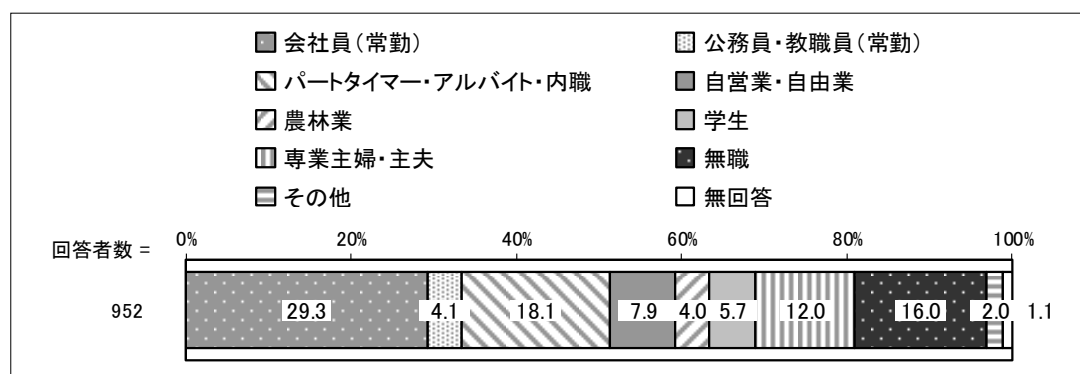
問2 あなたの年齢を教えてください。(〇は1つ)

○「70歳以上」の割合が18.4%と最も高く、次いで「65～69歳」の割合が18.1%、「60～64歳」の割合が11.1%となっています。



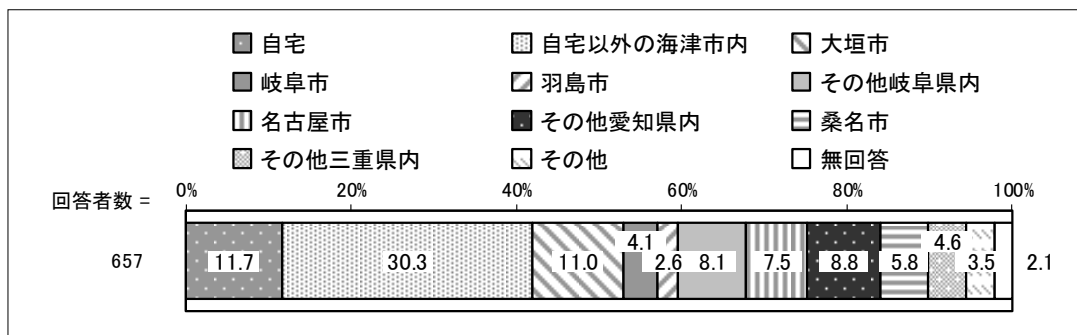
問3 あなたの職業を教えてください。(〇は1つ)

○「会社員(常勤)」の割合が29.3%と最も高く、次いで「パートタイマー・アルバイト・内職」の割合が18.1%、「無職」の割合が16.0%となっています。



問3-1 問3で「1」～「6」に○印をつけられた方にお聞きます。
あなたの通勤（就業）先、通学先はどちらですか。（○は1つ）

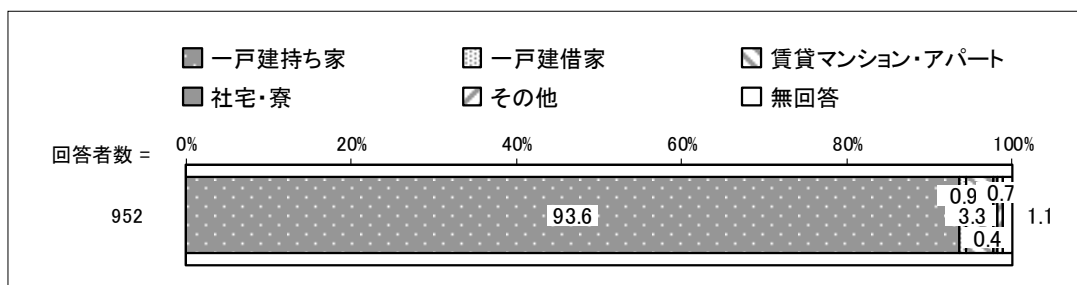
○「自宅以外の海津市内」の割合が30.3%と最も高く、次いで「自宅」の割合が11.7%、「大垣市」の割合が11.0%となっています。



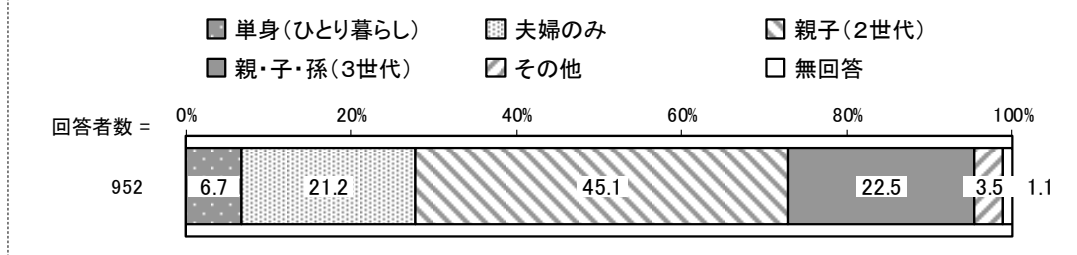
問4 あなたが現在お住まいになっている住宅の種類を教えてください。（○は1つ）

○「一戸建持ち家」の割合が93.6%と最も高くなっています。

○「親子（2世代）」の割合が45.1%と最も高く、次いで「親・子・孫（3世代）」の割合が22.5%、「夫婦のみ」の割合が21.2%となっています。

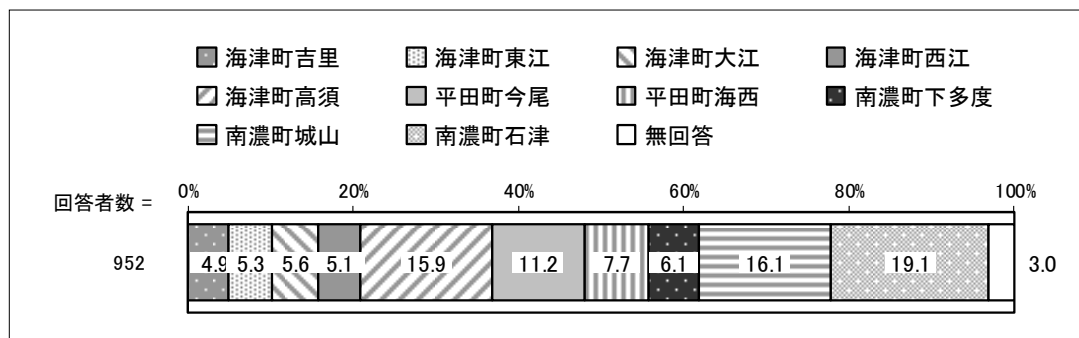


居住の形体（家族構成別）



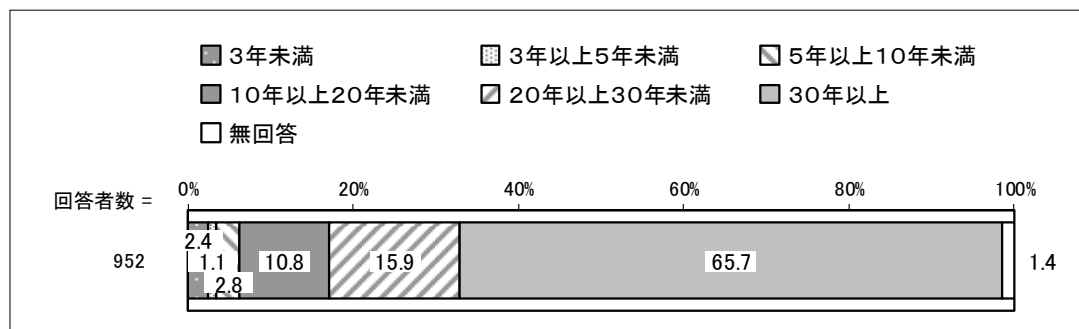
問6 あなたがお住まいの町と地区名を教えてください。(〇は1つ)

○「南濃町石津」の割合が19.1%と最も高く、次いで「南濃町城山」の割合が16.1%、「海津町高須」の割合が15.9%となっています。



問7 あなたは、海津市に何年住んでいますか。(〇は1つ)

○「30年以上」の割合が65.7%と最も高く、次いで「20年以上30年未満」の割合が15.9%、「10年以上20年未満」の割合が10.8%となっています。



5) 男女共同参画社会について

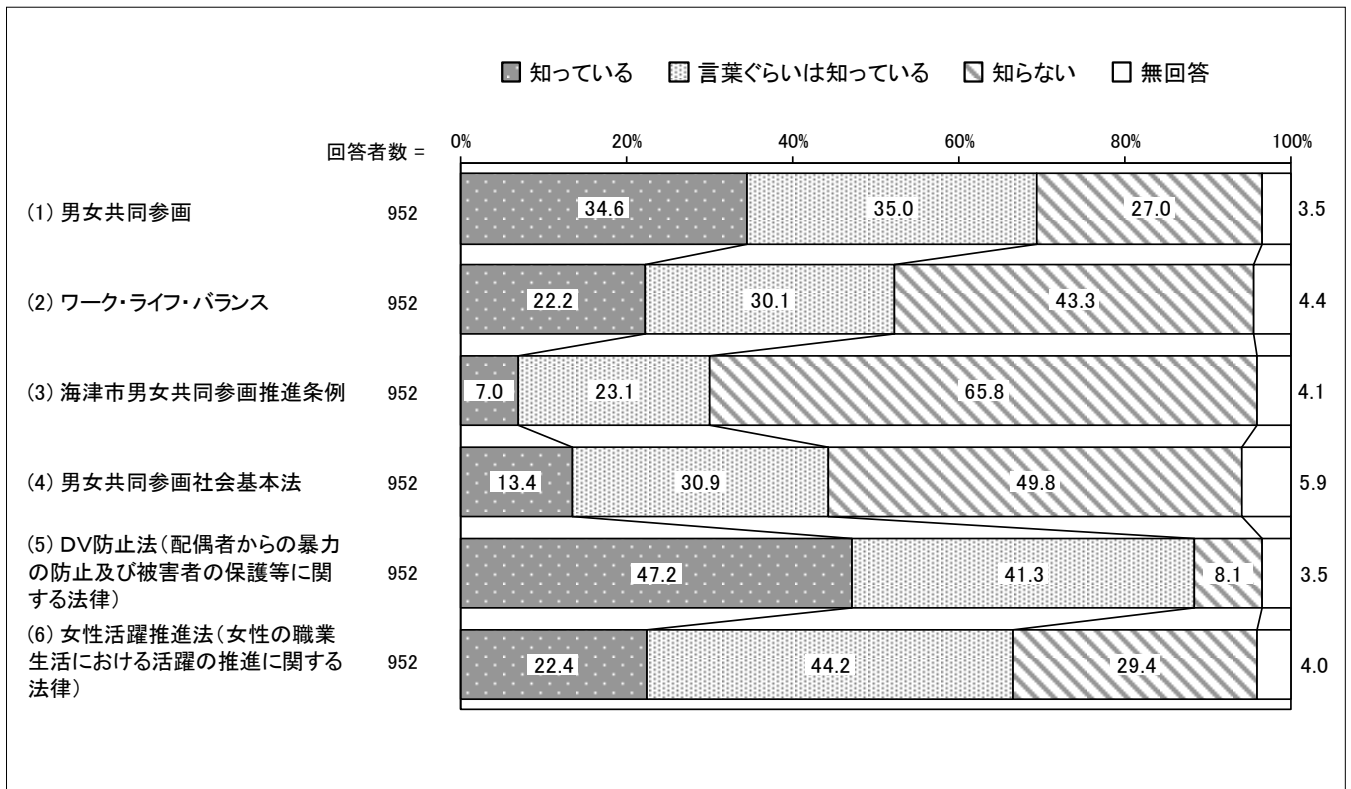
問 26 あなたは、次の用語についてご存知ですか。(○はそれぞれの各項目に1つずつ)

○『(5)DV防止法(配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律)』で、「知っている」の割合が高くなっています。性別、年齢別にみても、「知っている」または「言葉くらいは知っている」と回答した人が8割を超えており、性別、年齢を問わず、広く認知されています。

○『(3)海津市男女共同参画推進条例』で「知らない」の割合が高くなっています。平成22年度以降、認知度は高くなってきていますが、約3割と他の用語に比べ、認知度は低くなっています。

○すべての用語において、年齢が低いほど認知度が高い傾向が見られます。

○海津市男女共同参画推進条例については、すべての年齢で認知度が低く、周知に力を入れていく必要があります。



(1) 男女共同参画

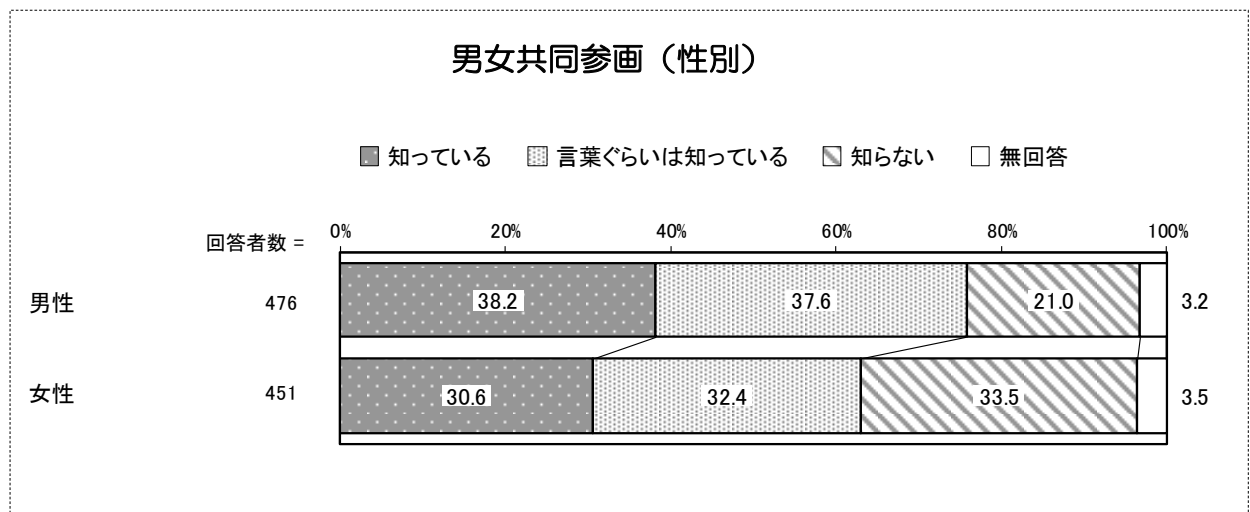
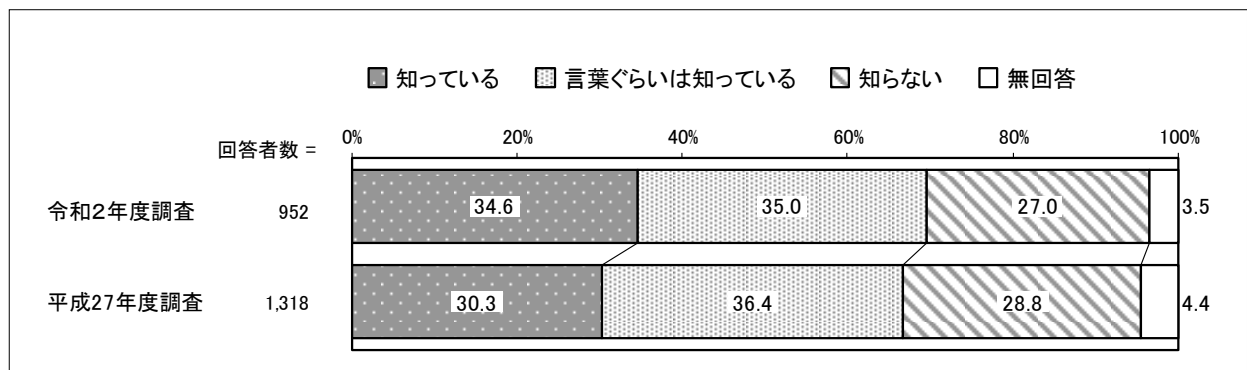
○「言葉ぐらいいは知っている」の割合が35.0%と最も高く、次いで「知っている」の割合が34.6%、「知らない」の割合が27.0%となっています。

平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

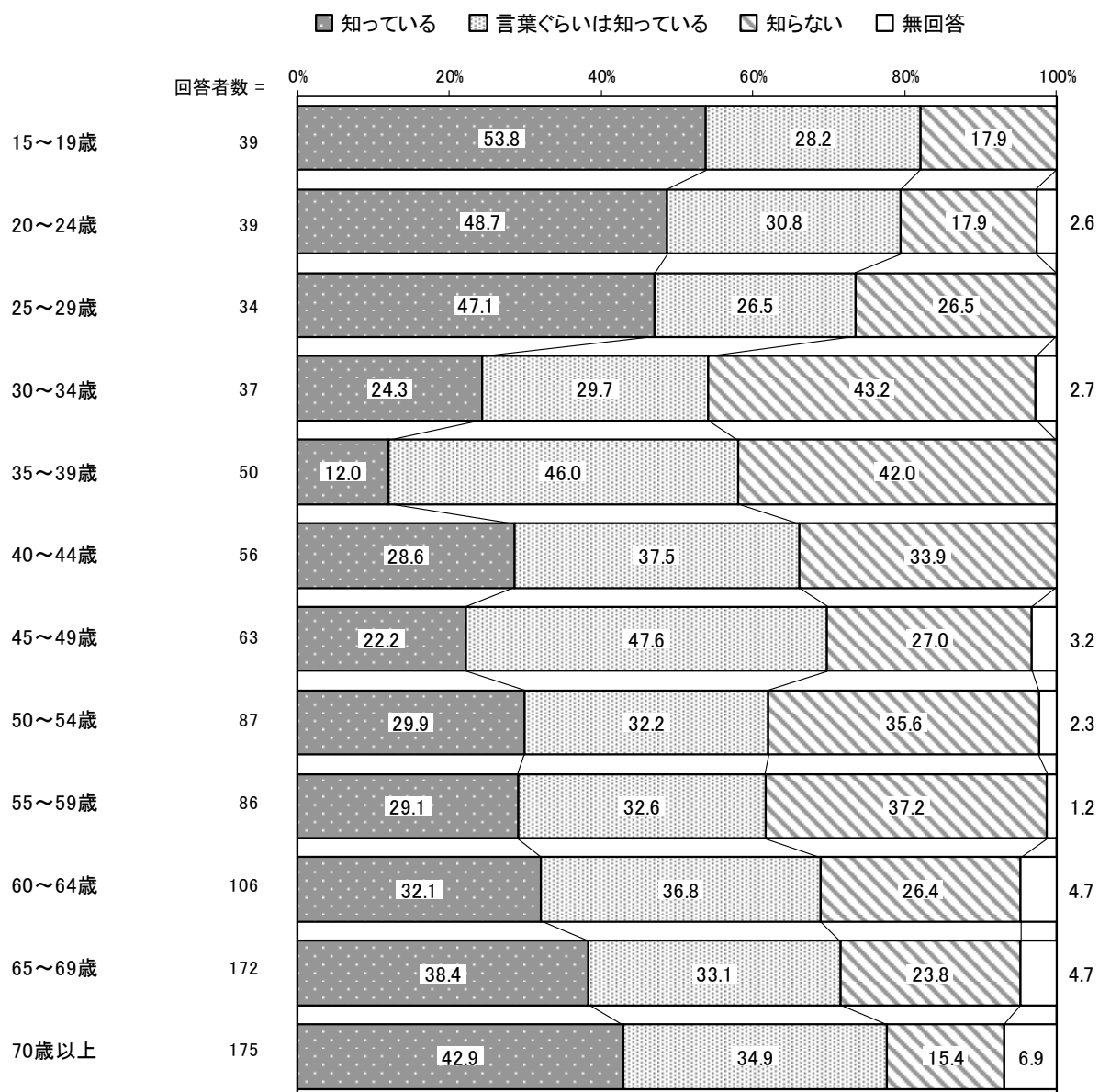
○性別でみると、男性で「知っている」の割合が、女性で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、15～19歳で「知っている」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町城山、南濃町下多度で「知っている」の割合が、海津町東江で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

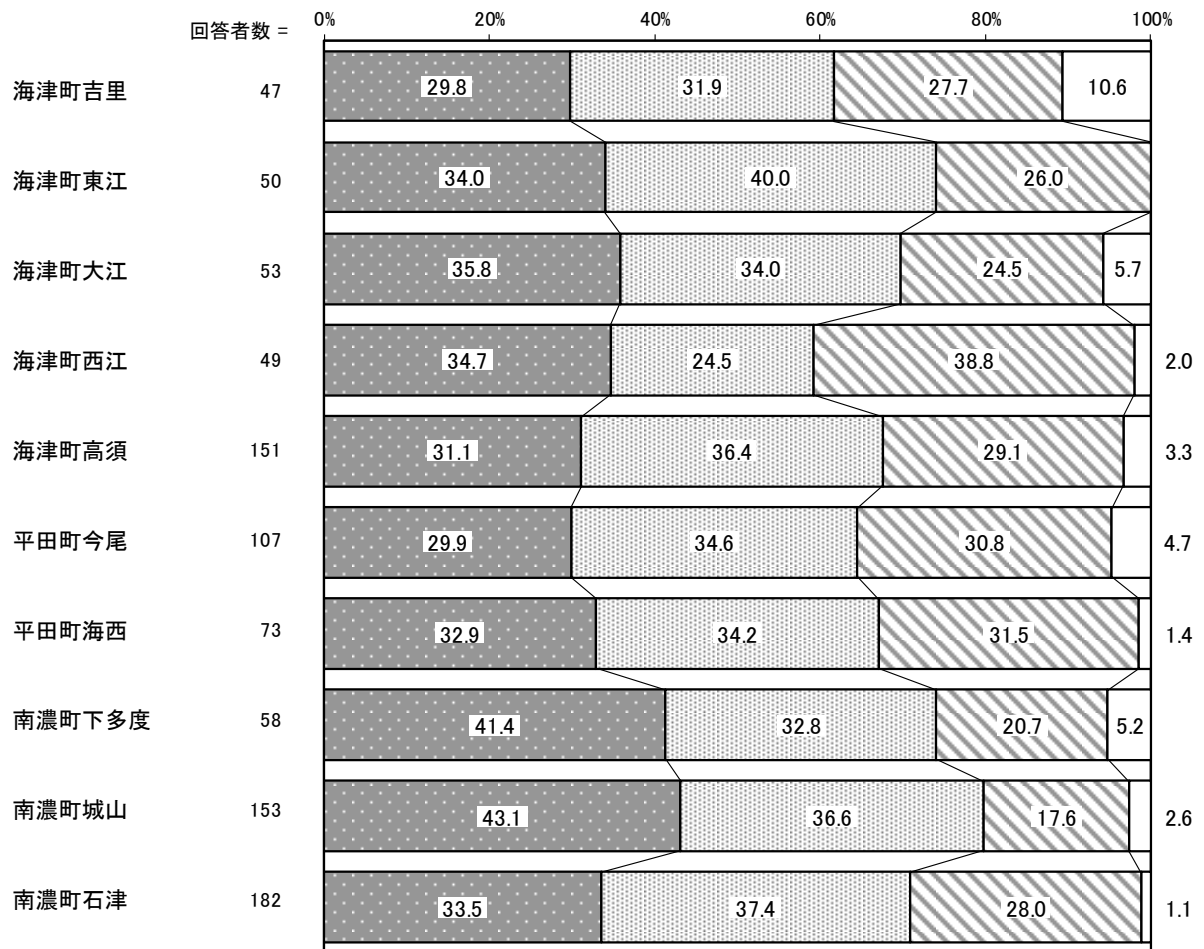


男女共同参画（年齢別）



男女共同参画（町別）

■ 知っている ▨ 言葉ぐらいは知っている ▩ 知らない □ 無回答



(2) ワーク・ライフ・バランス※

○「知らない」の割合が 43.3%と最も高く、次いで「言葉ぐらいいは知っている」の割合が 30.1%、「知っている」の割合が 22.2%となっています。

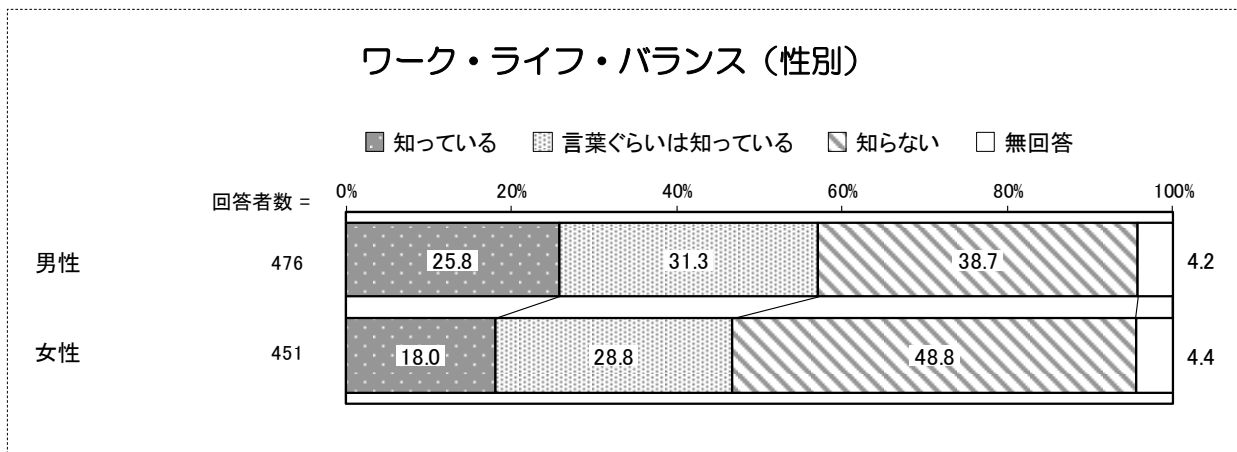
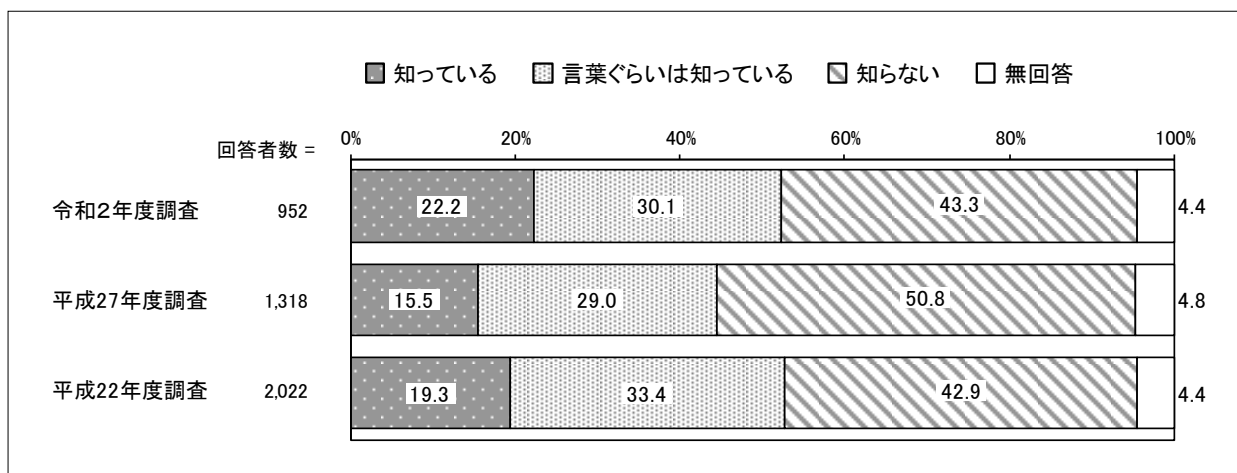
○平成 27 年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。

○平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性と女性で「知らない」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、15～19 歳で「知っている」の割合が高くなっています。

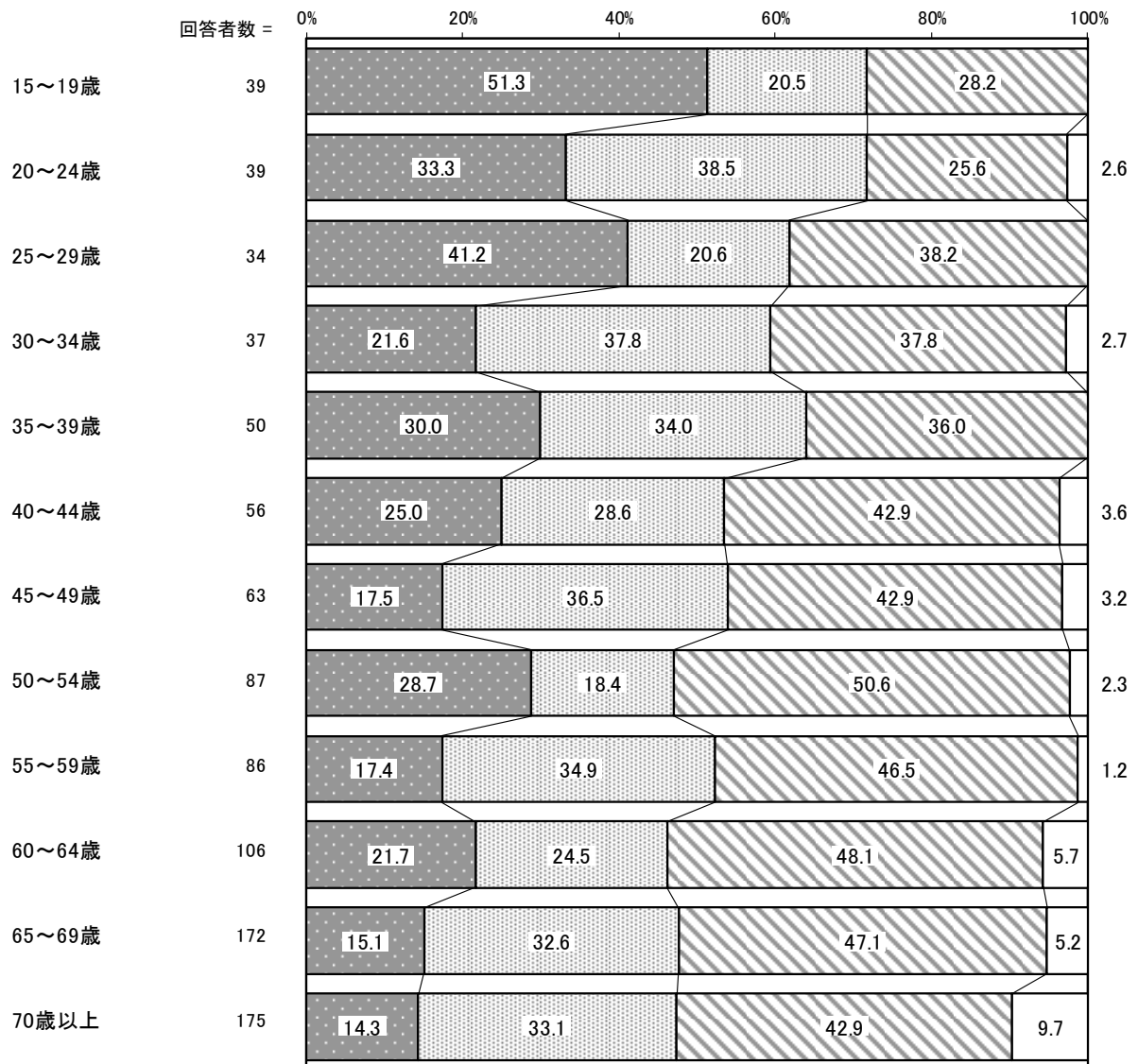
○町別でみると、他に比べ、海津町東江で「知らない」の割合が高くなっています。



※ワーク・ライフ・バランス（Work Life Balance：「仕事と生活の調和」）とは、一人ひとりがやりがいや充実感を持ちながら働き、仕事上の責任を果たすとともに、家庭や地域生活などでも、人生の各段階に応じて多様な生き方が選択・実現できることを意味します。

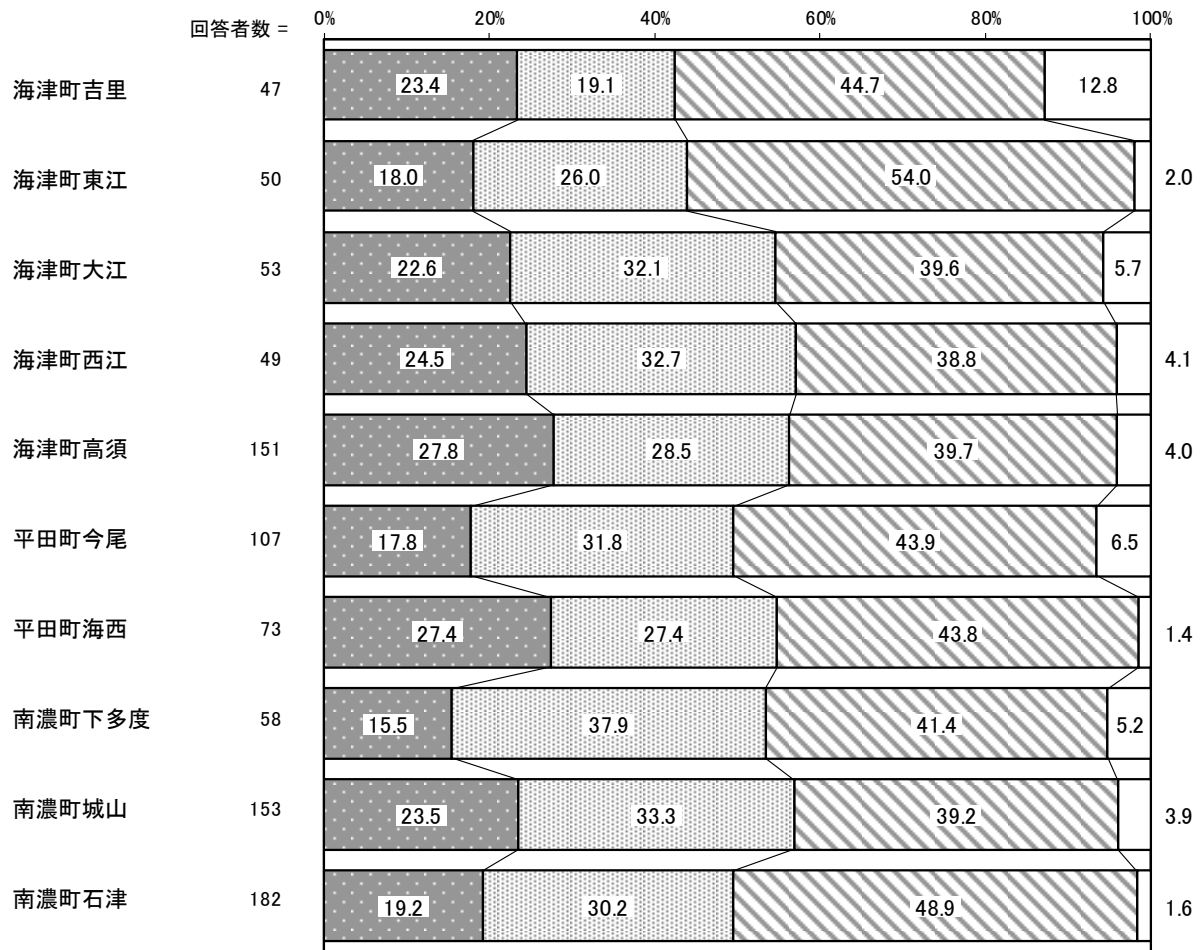
ワーク・ライフ・バランス（年齢別）

■ 知っている ▨ 言葉ぐらいは知っている □ 知らない □ 無回答



ワーク・ライフ・バランス（町別）

☒ 知っている
 ☒ 言葉ぐらいいは知っている
 ☒ 知らない
 ☐ 無回答



(3) 海津市男女共同参画推進条例

○「知らない」の割合が65.8%と最も高く、次いで「言葉ぐらいいは知っている」の割合が23.1%となっています。

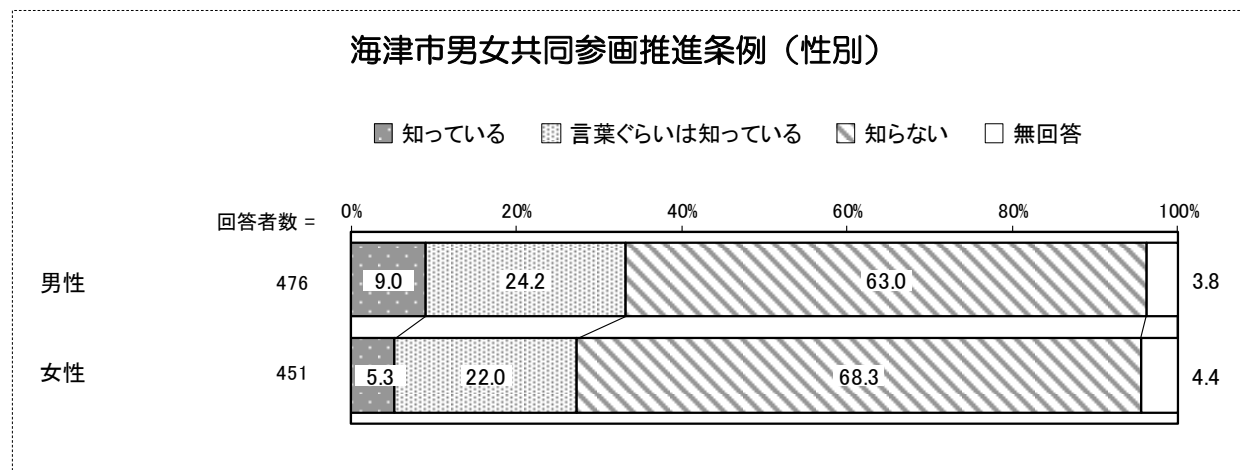
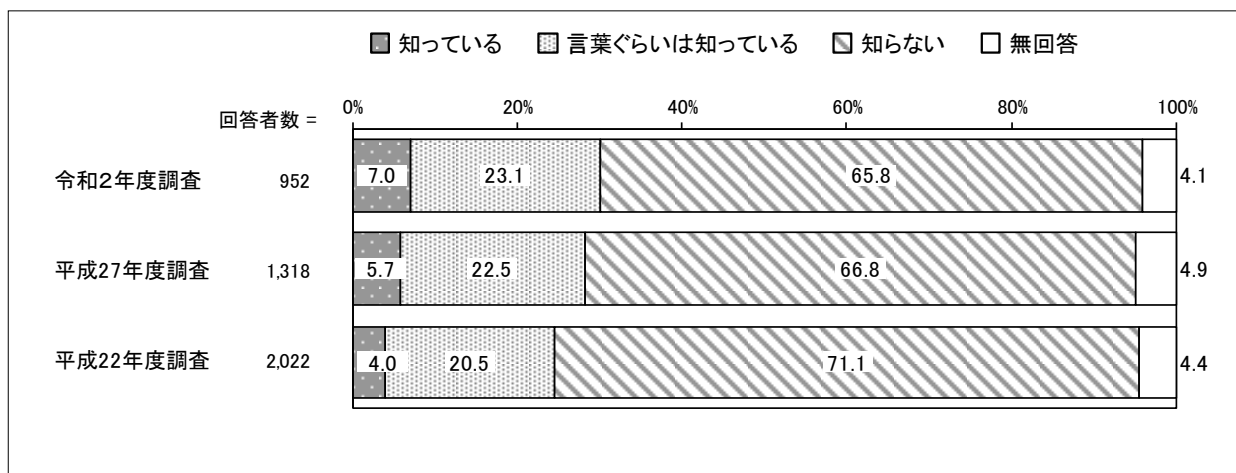
○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○平成22年度調査と比較すると、「知らない」の割合が減少しています。

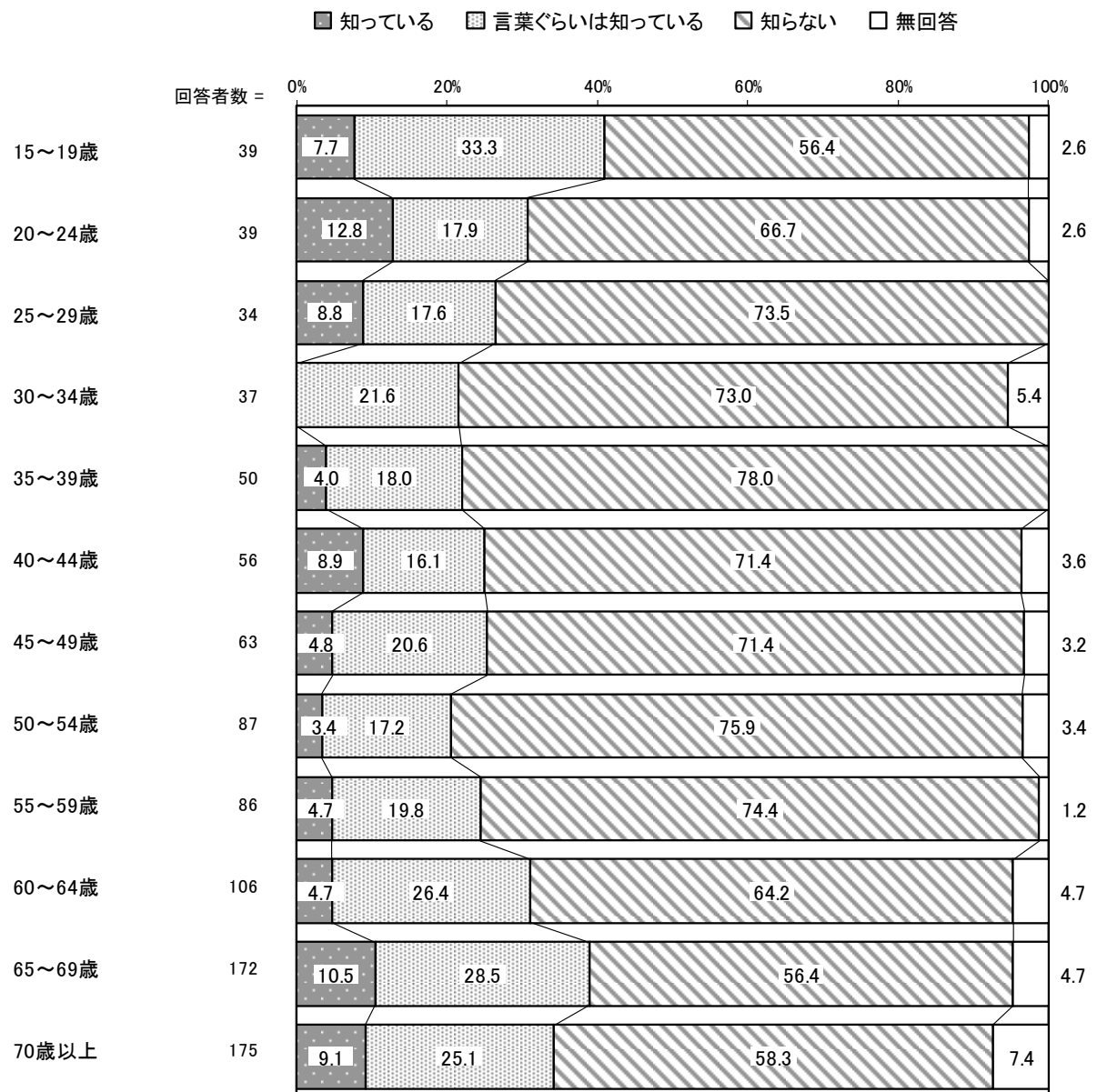
○性別でみると、男性と女性で「知らない」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、35～39歳、50～54歳で「知らない」の割合が高くなっています。

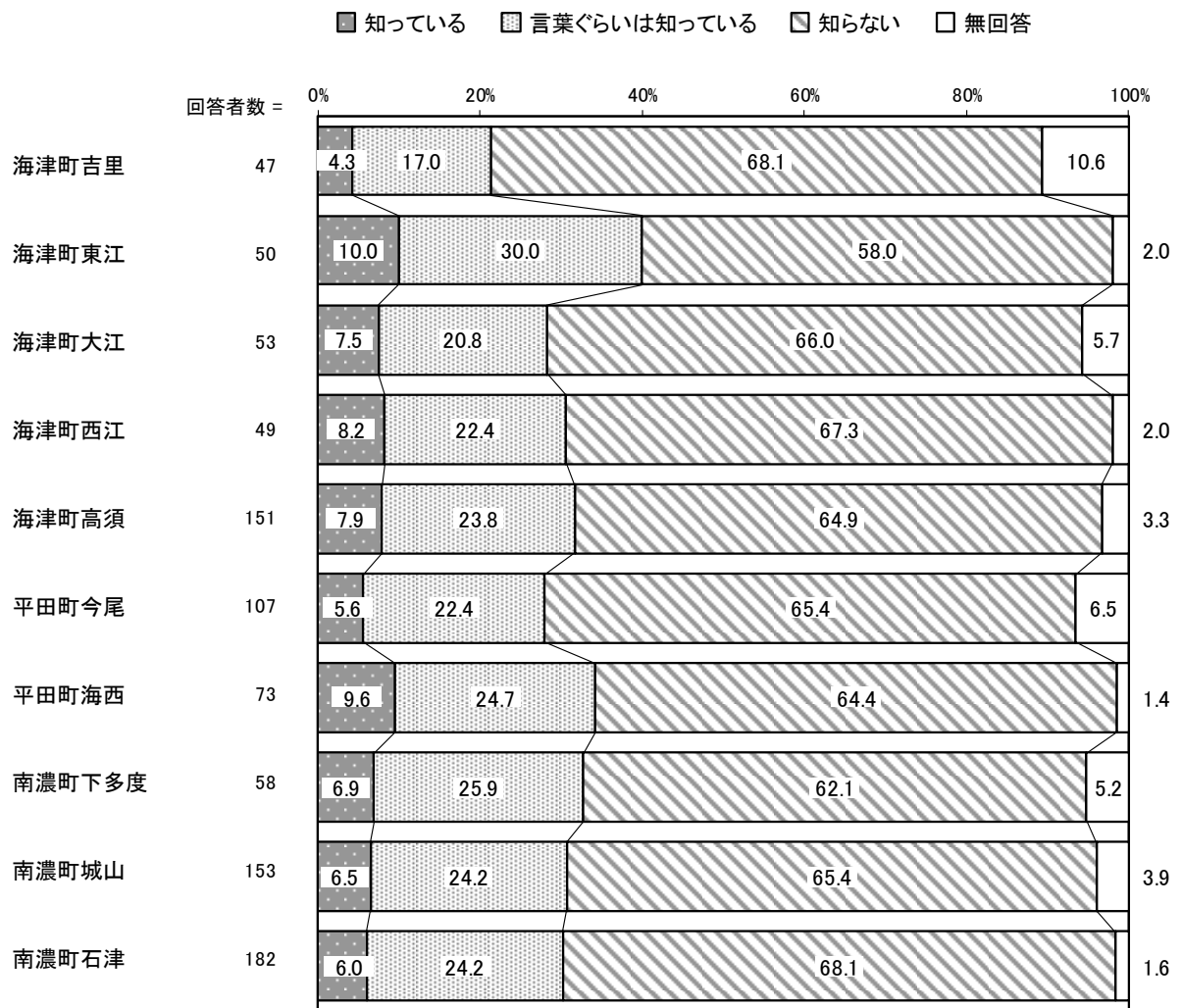
○町別でみると、他に比べ、海津町吉里、南濃町石津で「知らない」の割合が高くなっています。



海津市男女共同参画推進条例（年齢別）



海津市男女共同参画推進条例（町別）



(4) 男女共同参画社会基本法

○「知らない」の割合が49.8%と最も高く、次いで「言葉ぐらいいは知っている」の割合が30.9%、「知っている」の割合が13.4%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

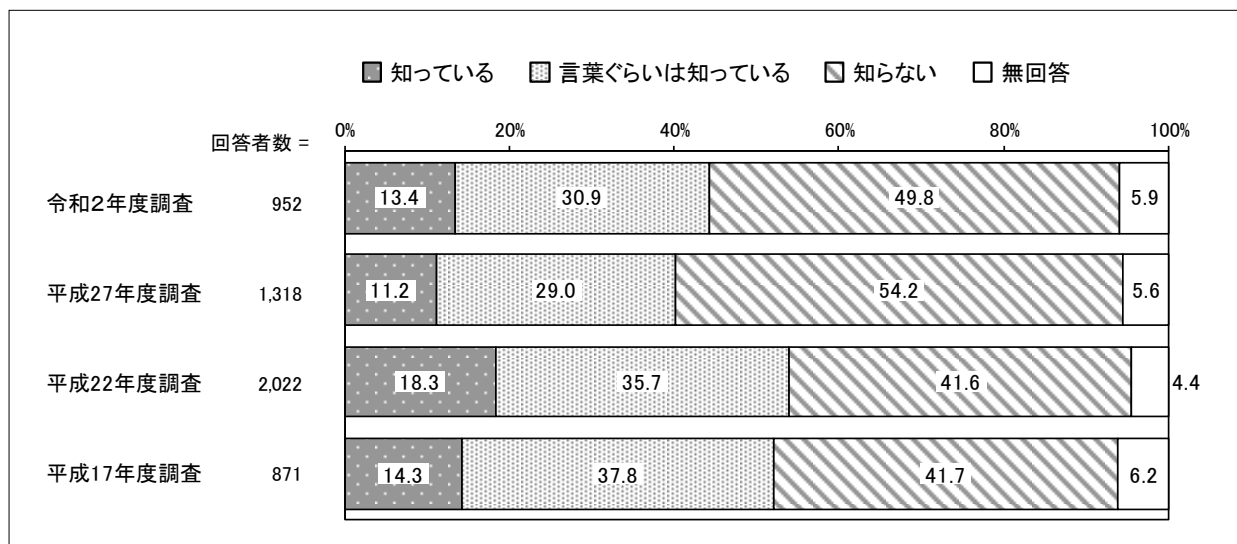
○平成22年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。

○平成17年度調査と比較すると、「知らない」の割合が増加しています。一方、「言葉ぐらいいは知っている」の割合が減少しています。

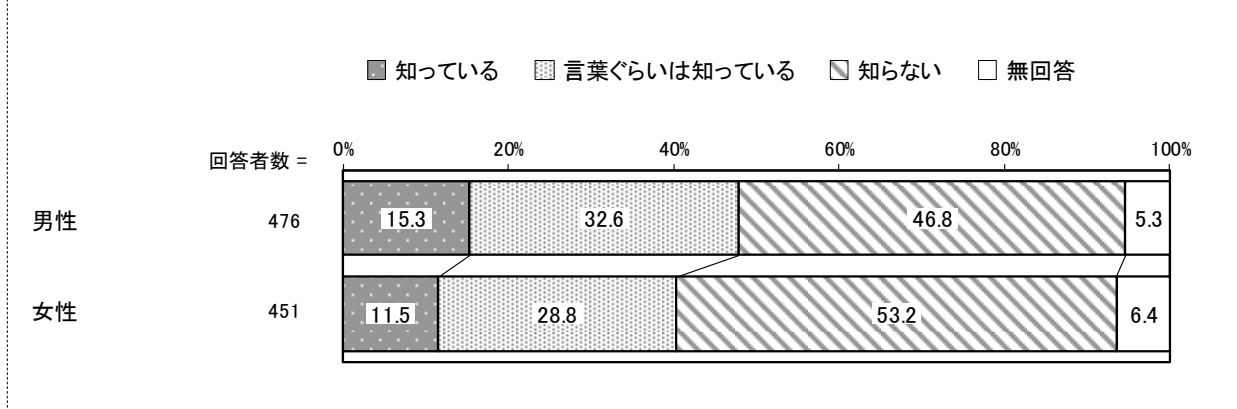
○性別でみると、男性と女性で「知らない」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、35～39歳、50～54歳で「知らない」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町石津、南濃町城山、平田町今尾、海津町吉里、南濃町下多度で「知らない」の割合が高くなっています。

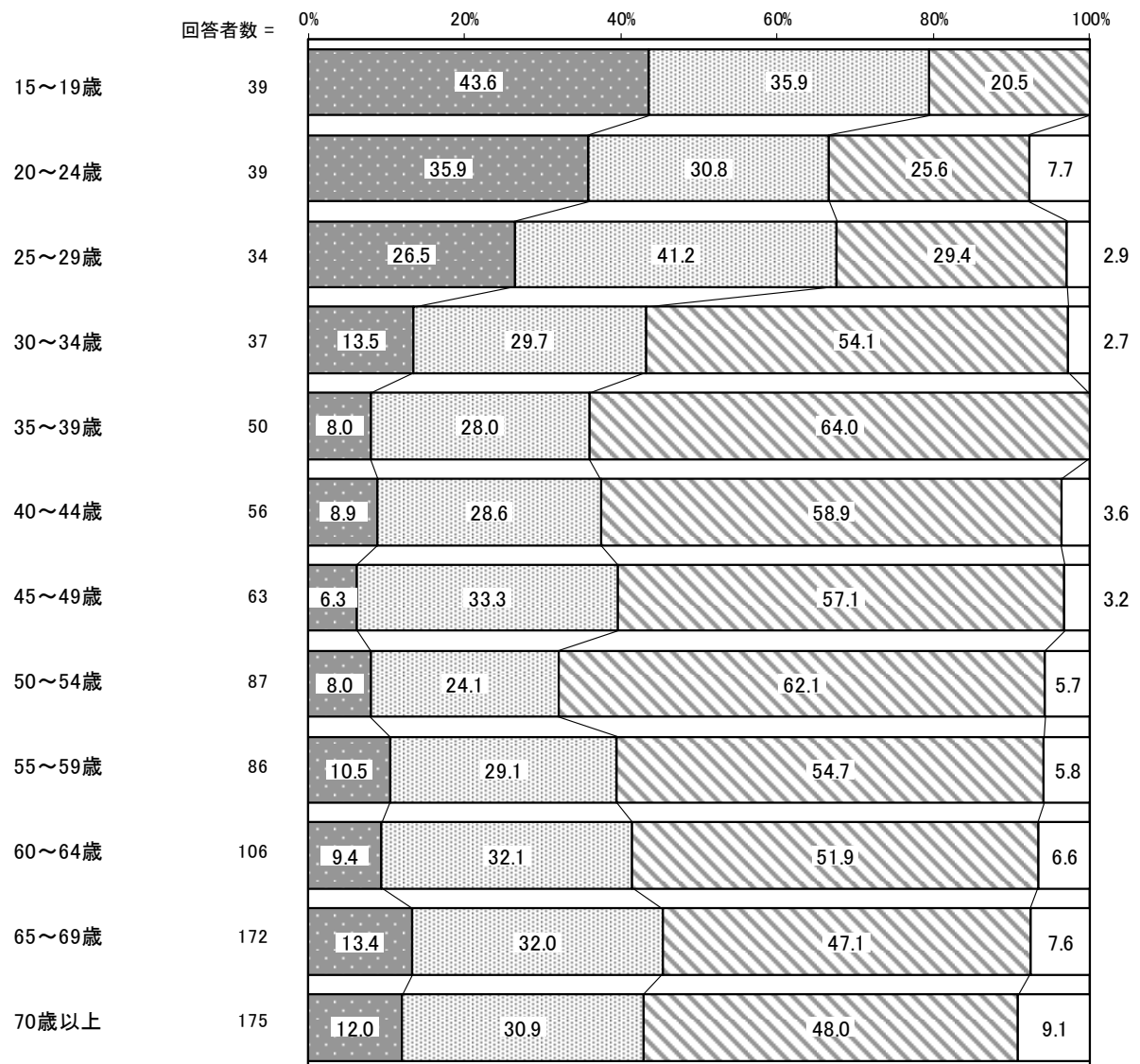


男女共同参画社会基本法（性別）



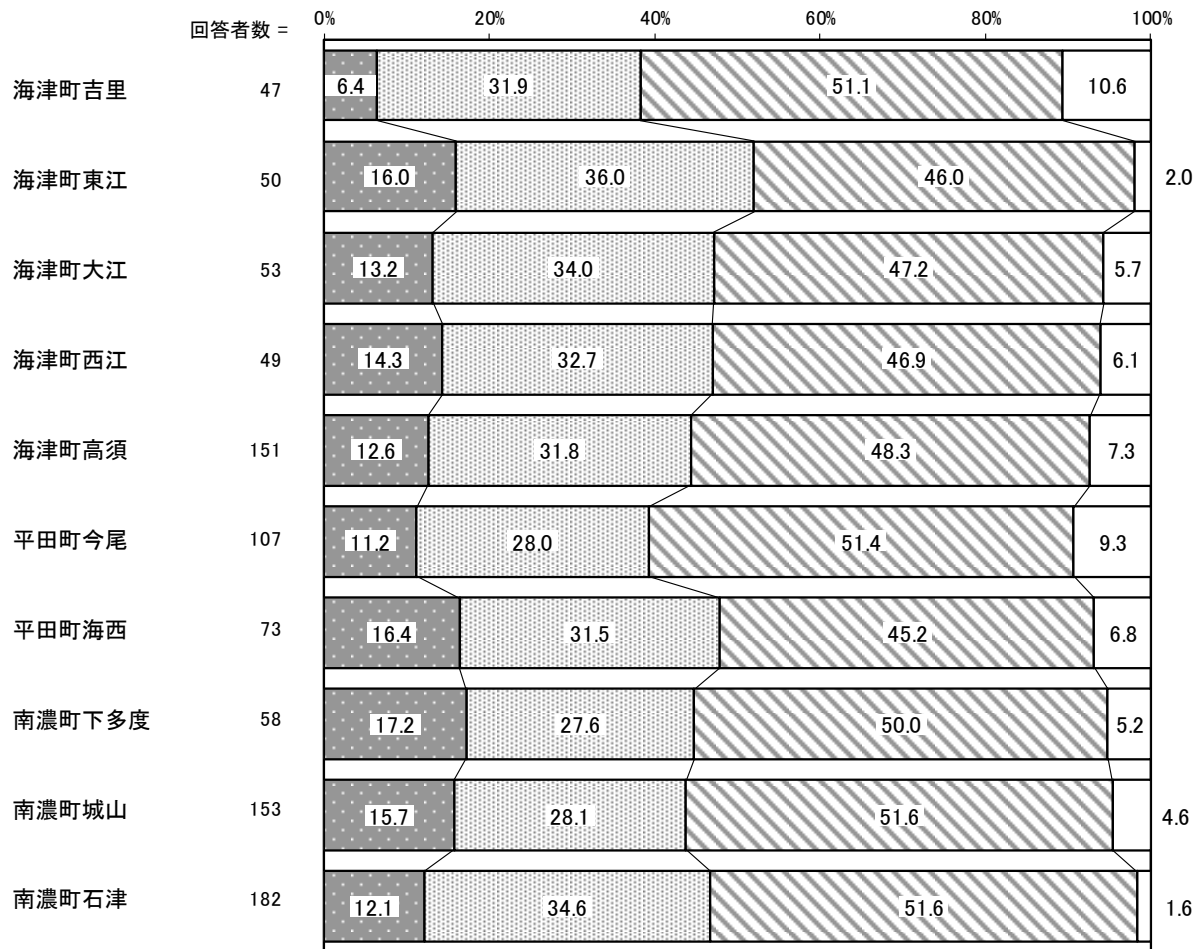
男女共同参画社会基本法（年齢別）

■ 知っている ■ 言葉ぐらいは知っている ■ 知らない □ 無回答



男女共同参画社会基本法（町別）

■ 知っている ■ 言葉ぐらいいは知っている ■ 知らない □ 無回答



(5) DV防止法（配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律）

○「知っている」の割合が47.2%と最も高く、次いで「言葉ぐらいいは知っている」の割合が41.3%となっています。

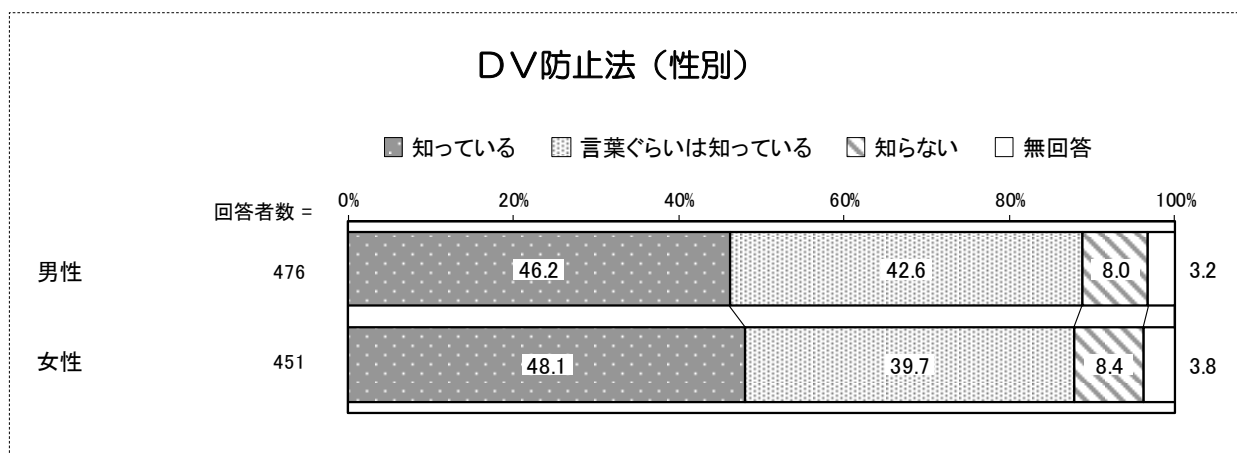
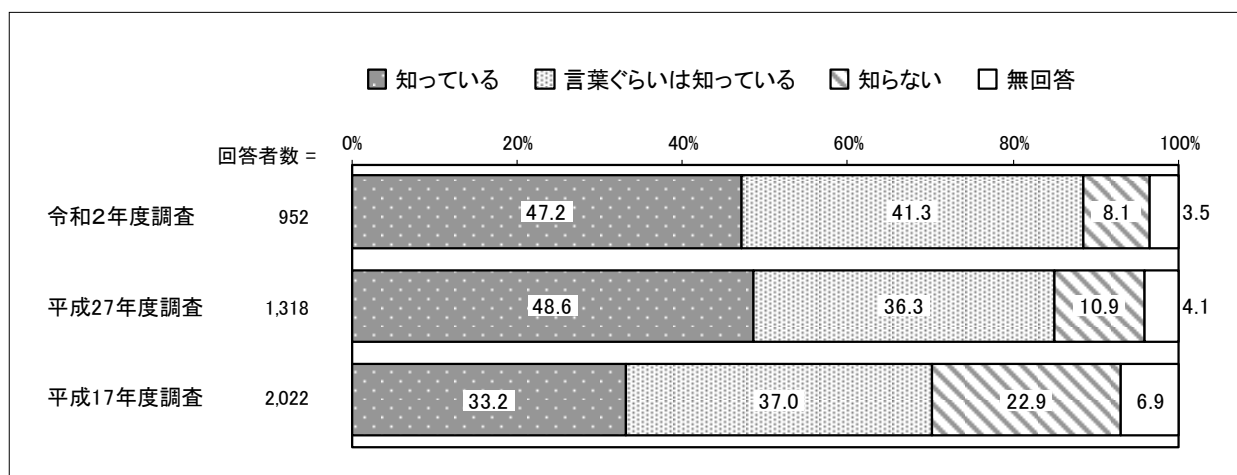
○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○平成22年度調査と比較すると、「知っている」の割合が増加しています。一方、「知らない」の割合が減少しています。

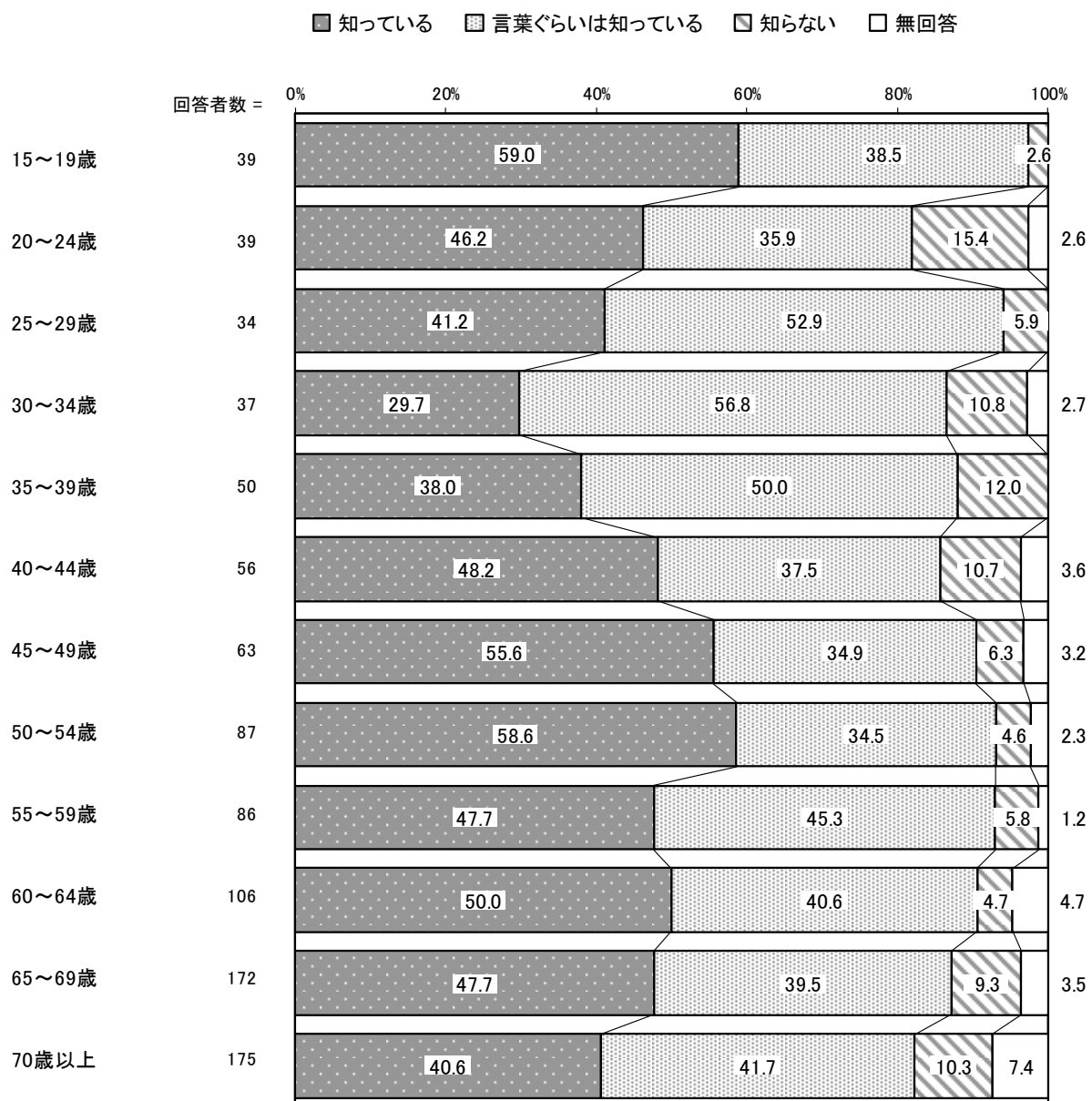
○性別でみると、男性と女性で「知っている」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、15～19歳で「知っている」の割合が、30～34歳で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

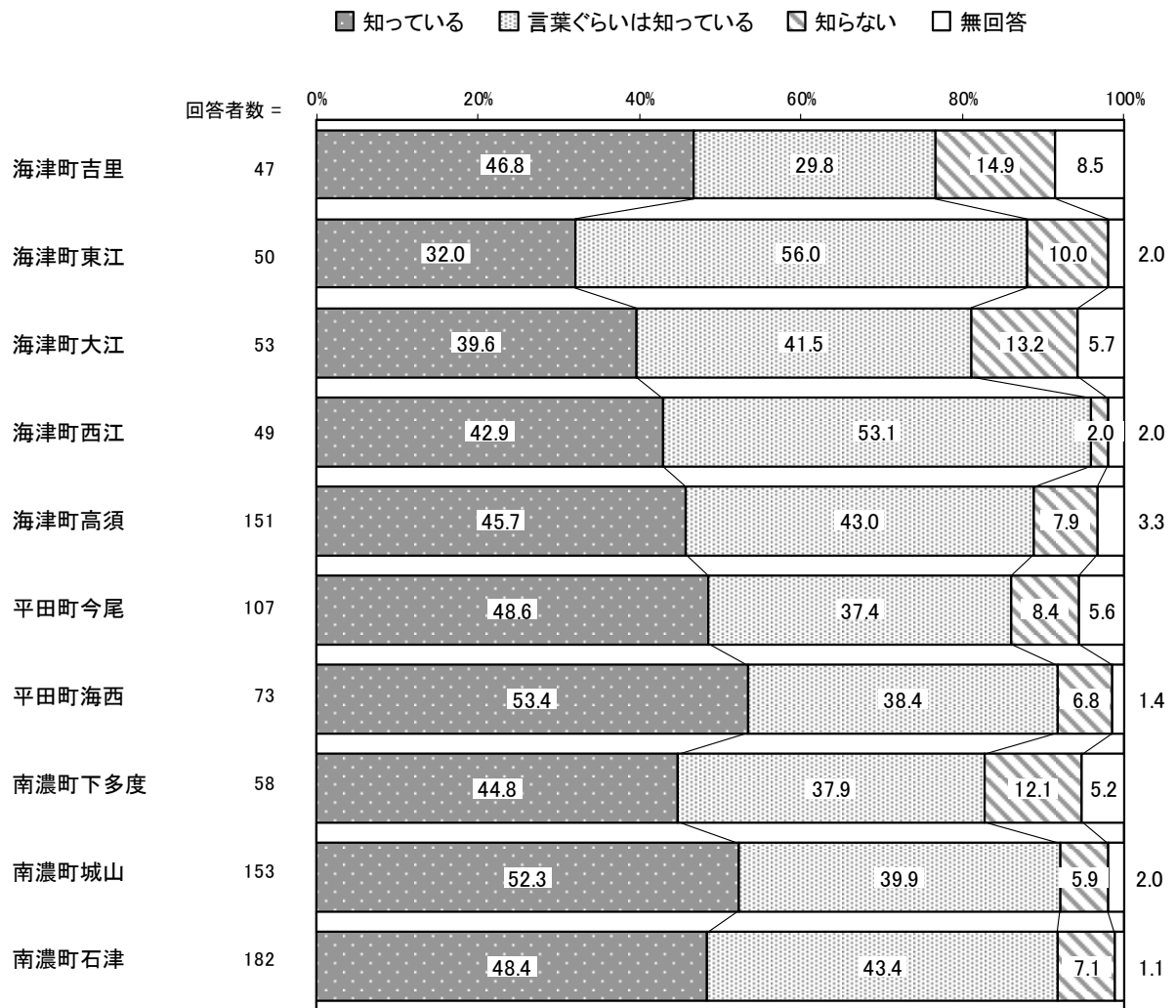
○町別でみると、他に比べ、海津町東江、海津町西江で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が、平田町海西、南濃町城山で「知っている」の割合が高くなっています。



DV防止法（年齢別）



DV防止法（町別）



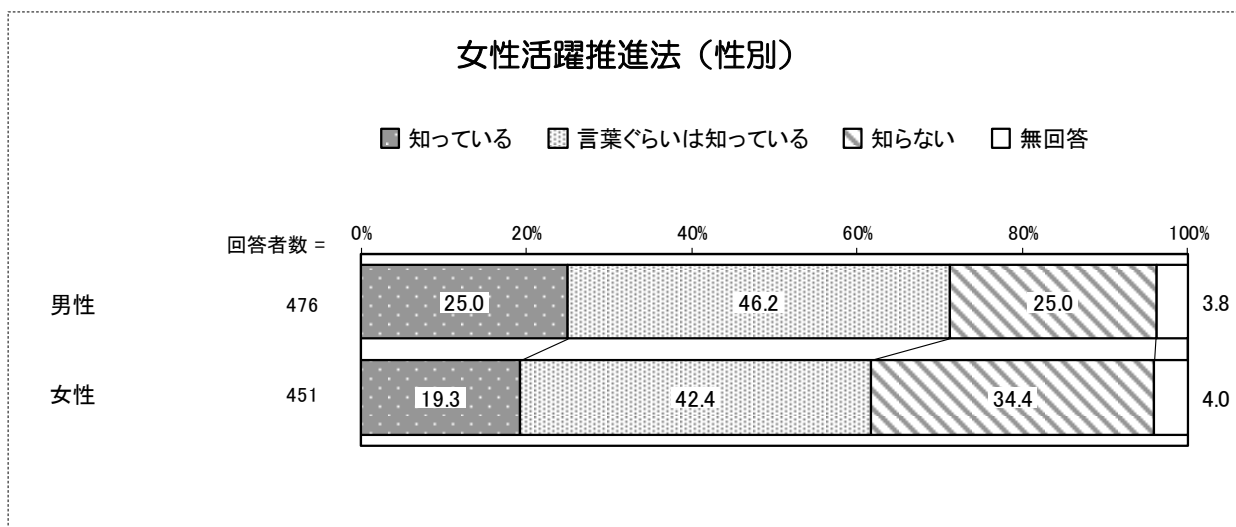
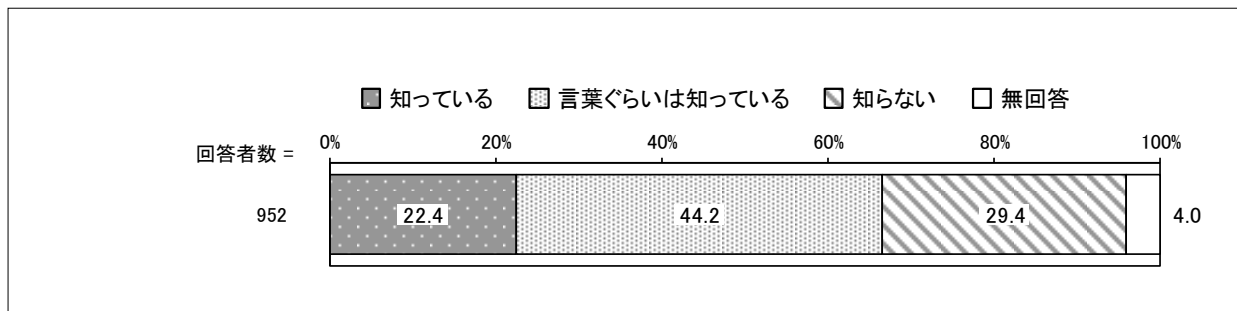
(6) 女性活躍推進法（女性の職業生活における活躍の推進に関する法律）

○「言葉ぐらいいは知っている」の割合が 44.2%と最も高く、次いで「知らない」の割合が 29.4%、「知っている」の割合が 22.4%となっています。

○性別でみると、男性と女性で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

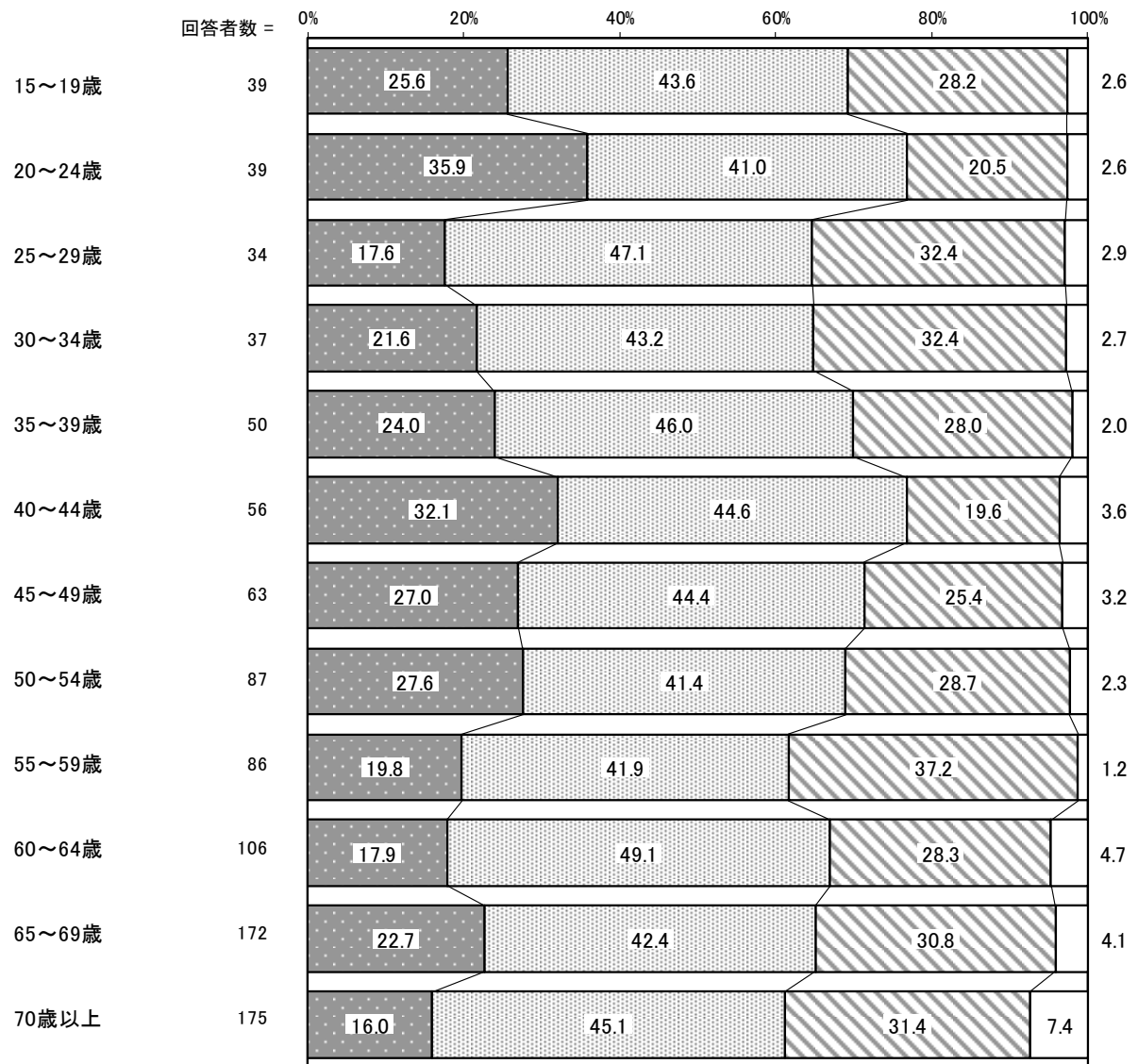
○年齢別でみると、他に比べ、60～64 歳、25～29 歳、70 歳以上で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町東江で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

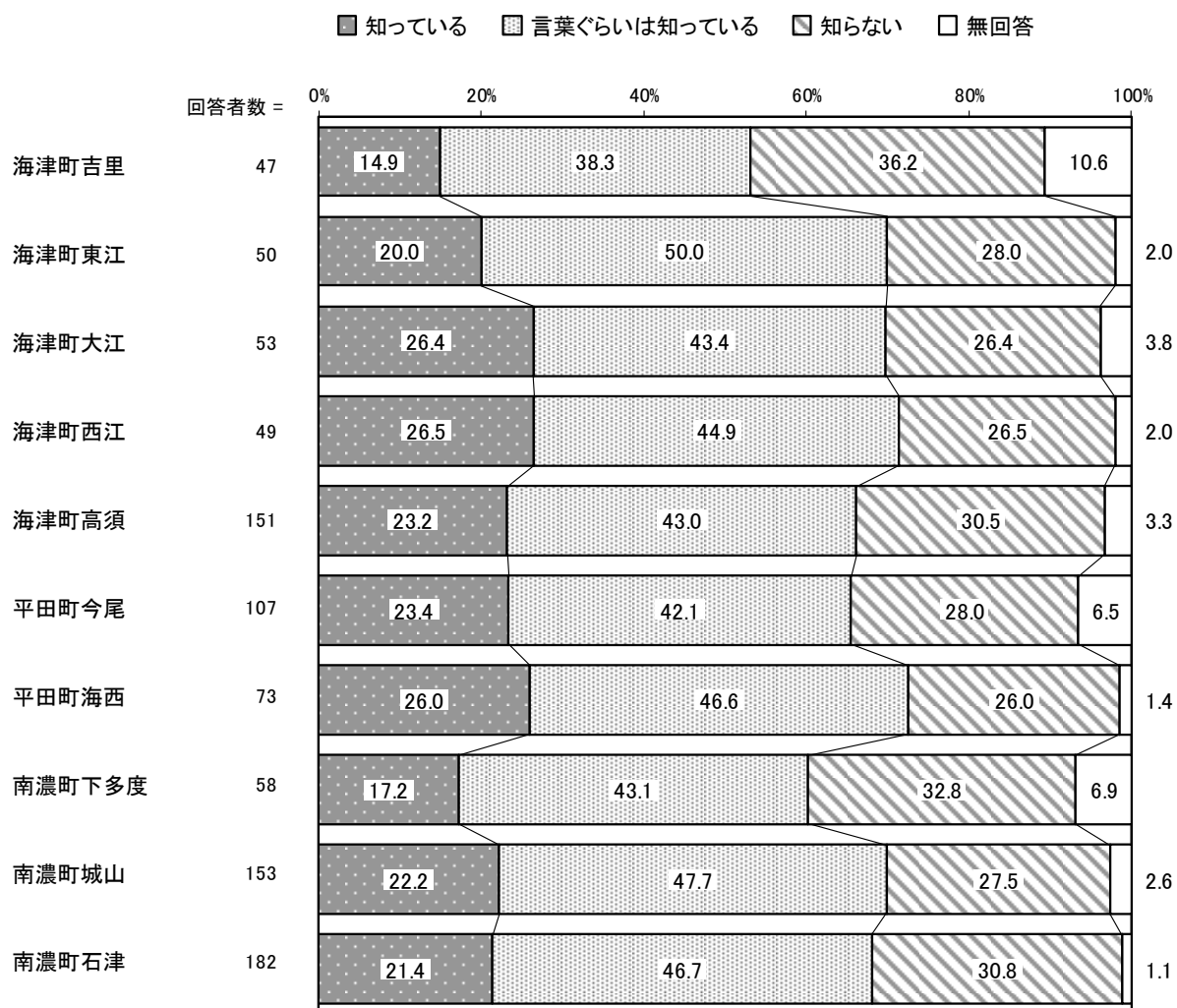


女性活躍推進法（年齢別）

■ 知っている ■ 言葉ぐらいは知っている ■ 知らない □ 無回答



女性活躍推進法（町別）



【男女の平等について】

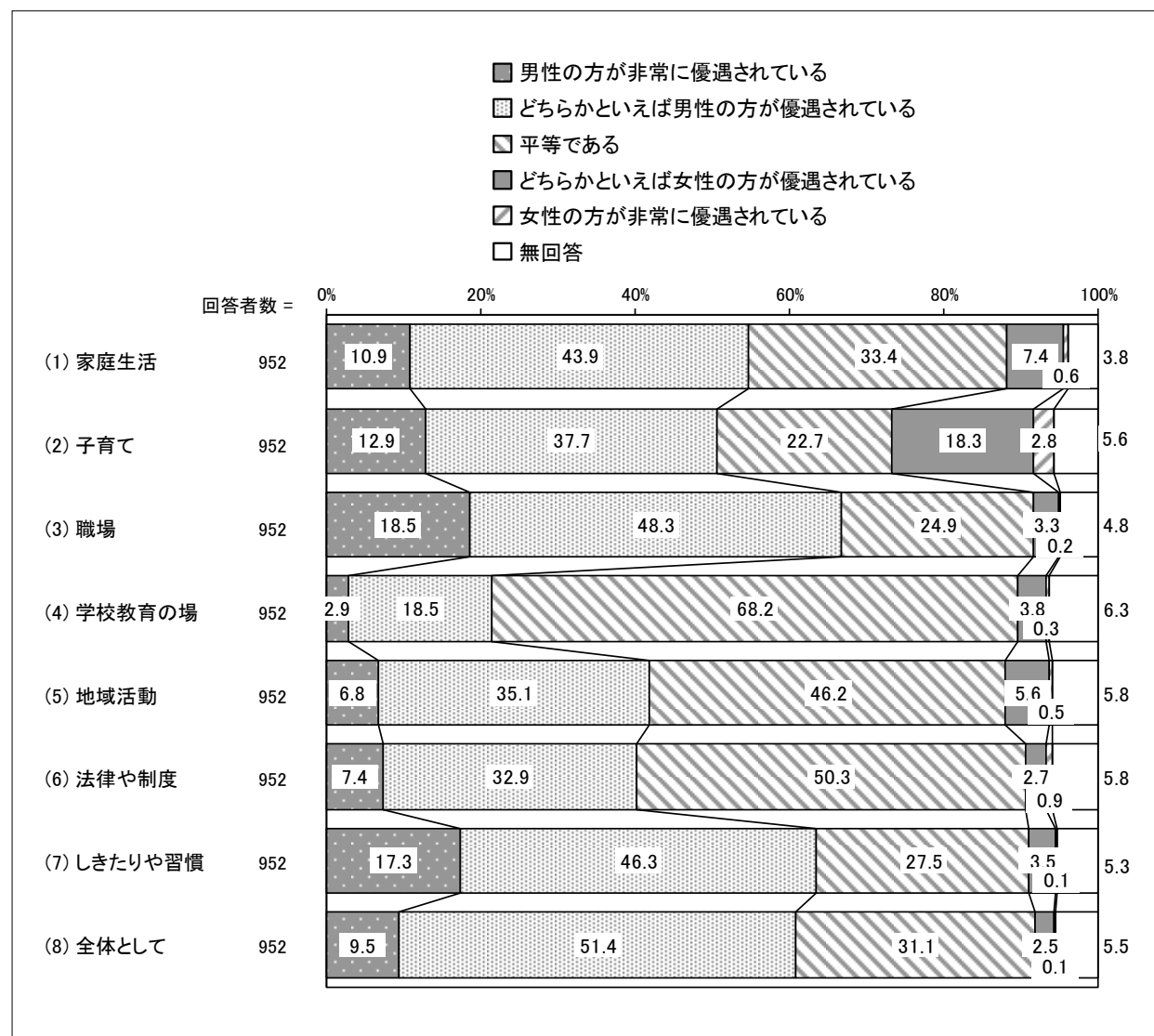
問 27 あなたは、各分野における男女の地位は平等になっていると思いますか。
(〇はそれぞれの各項目に1つずつ)

○『(3)職場』で、「男性の方が非常に優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」を合わせた“男性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。平成17年度以降、男性の方が優遇されている”の割合に大きな変化はみられませんが、「平等である」の割合が増加しています。

○一方、『(2)子育て』で「どちらかといえば女性の方が優遇されている」と「女性の方が非常に優遇されている」を合わせた“女性の方が優遇されている”の割合が高くなっています。

○男女の平等感について、全体的に男性が優遇されていると思う割合が高く、特に『(3)職場』や『(7)しきたりや習慣』では、6以上の方が「男性優遇」を感じています。

○「男女の地位が平等になっている」と最も感じられているのは「学校教育の場」であり、過半数(68.2%)の人が平等感を持っています。



(1) 家庭生活

○「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 43.9%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 33.4%、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が 10.9%となっています。

○平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

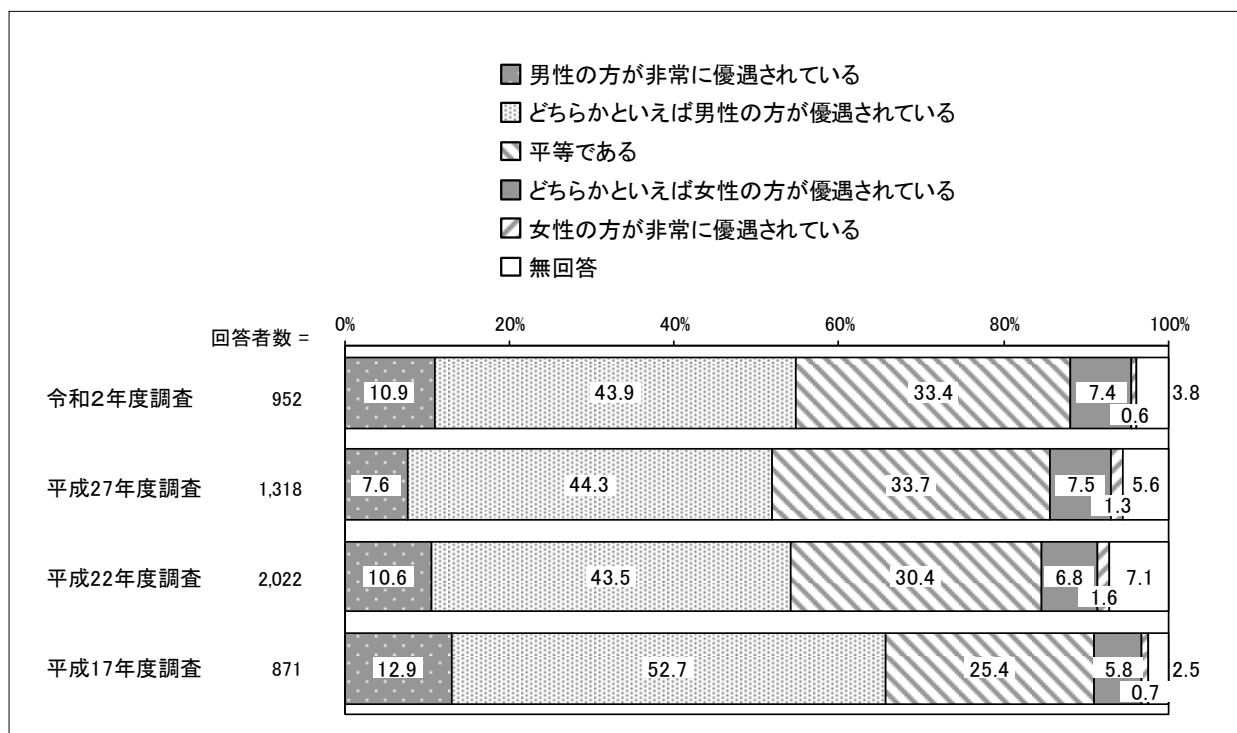
○平成 17 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が減少しています。

○性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

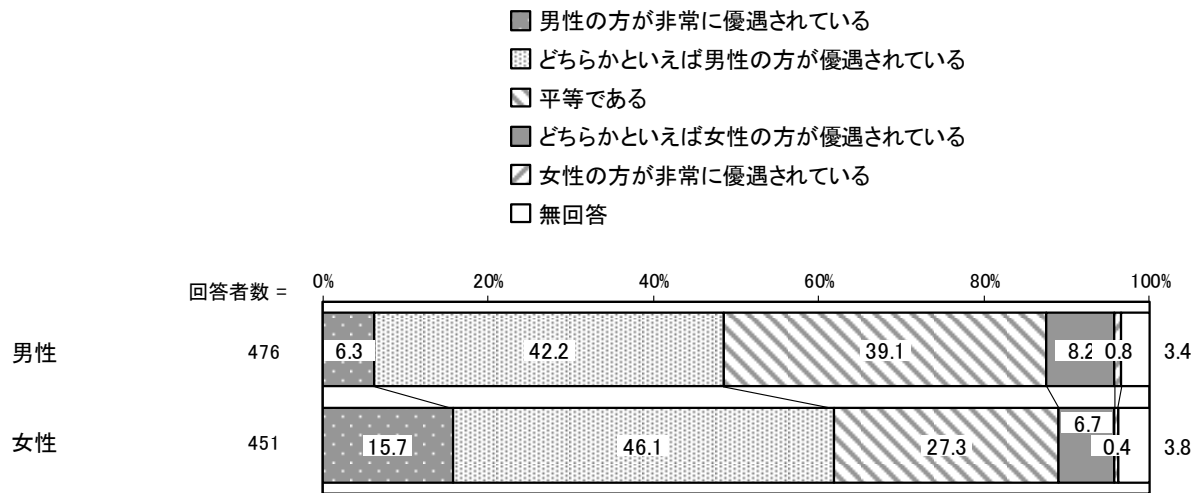
○年齢別でみると、他に比べ、60～64 歳、50～54 歳、65～69 歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○職業別でみると、他に比べ、農林業、専業主婦・主夫で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町西江で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

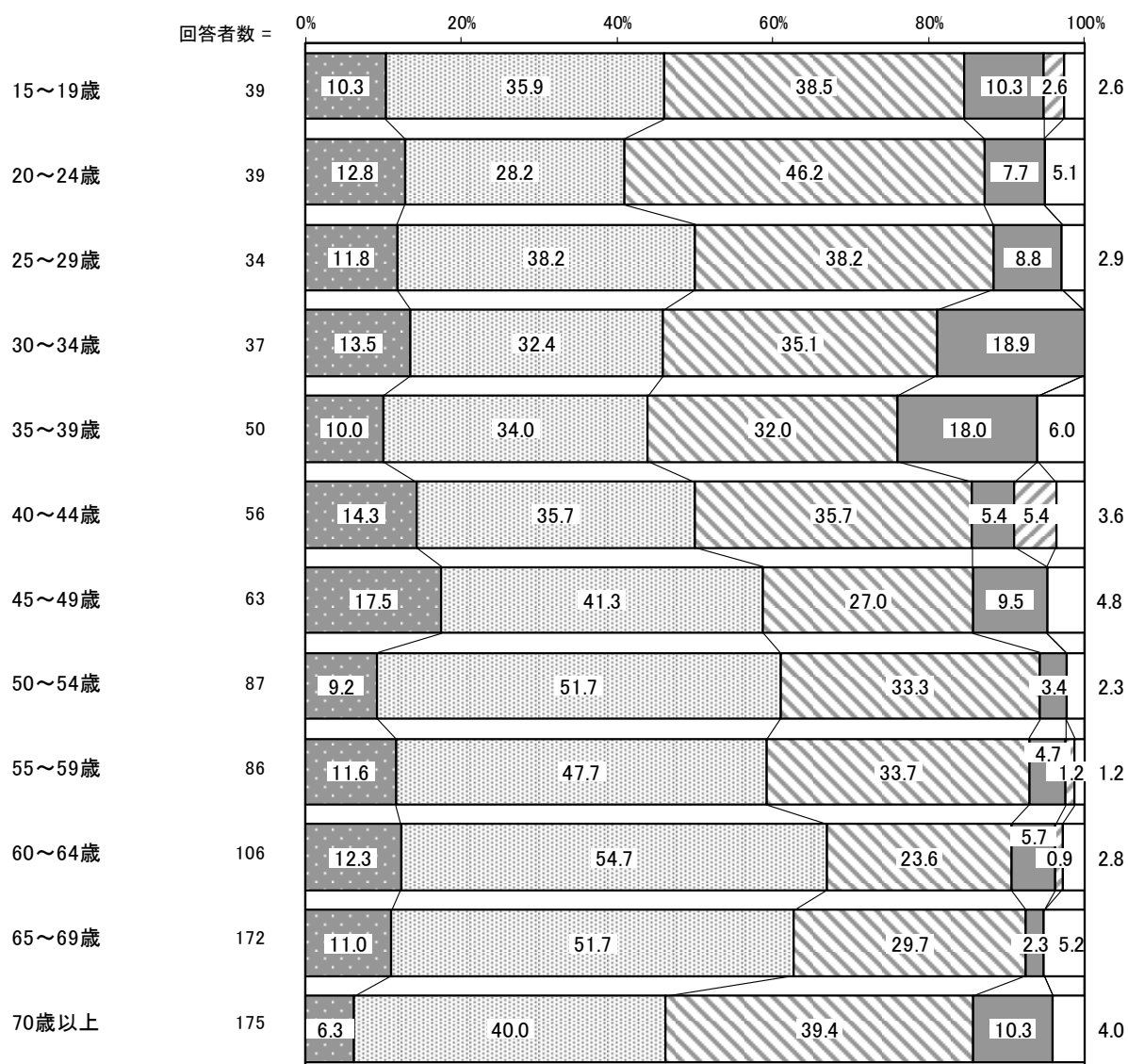


家庭生活（性別）



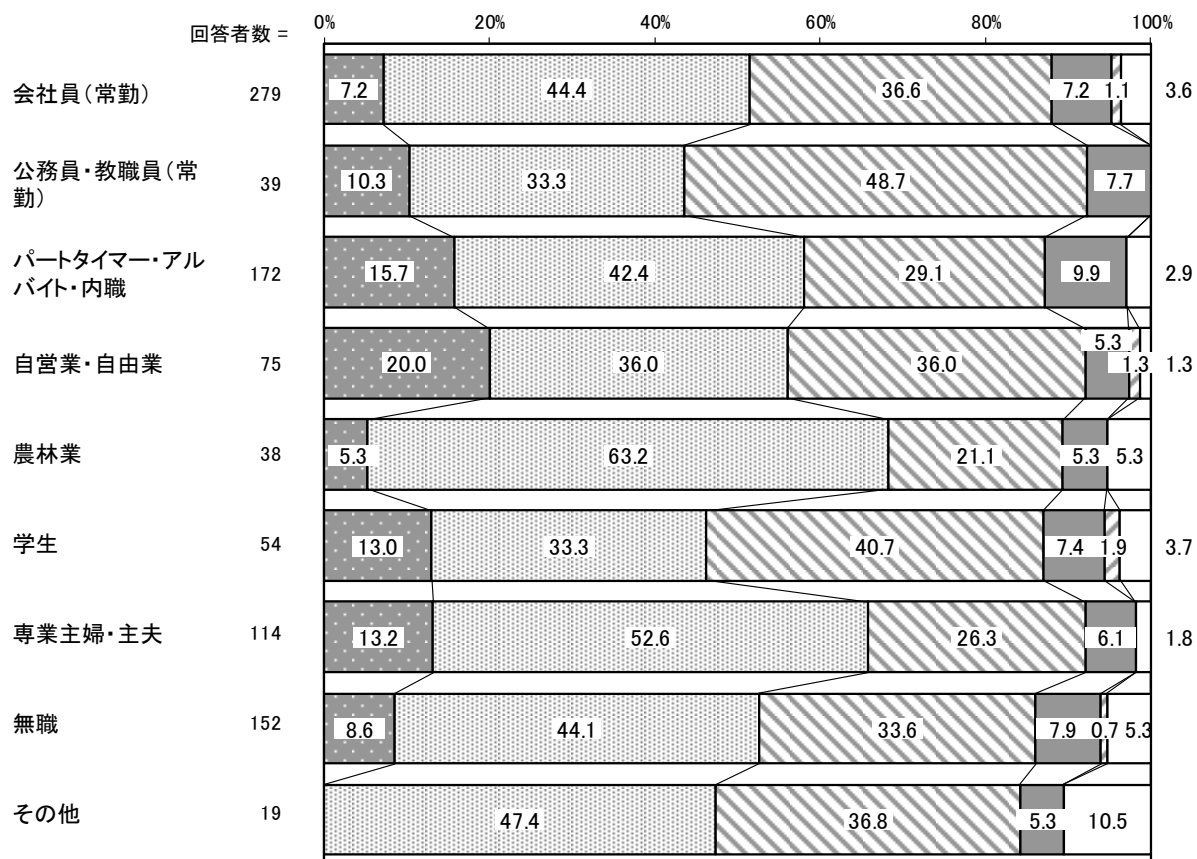
家庭生活（年齢別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▩ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▤ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



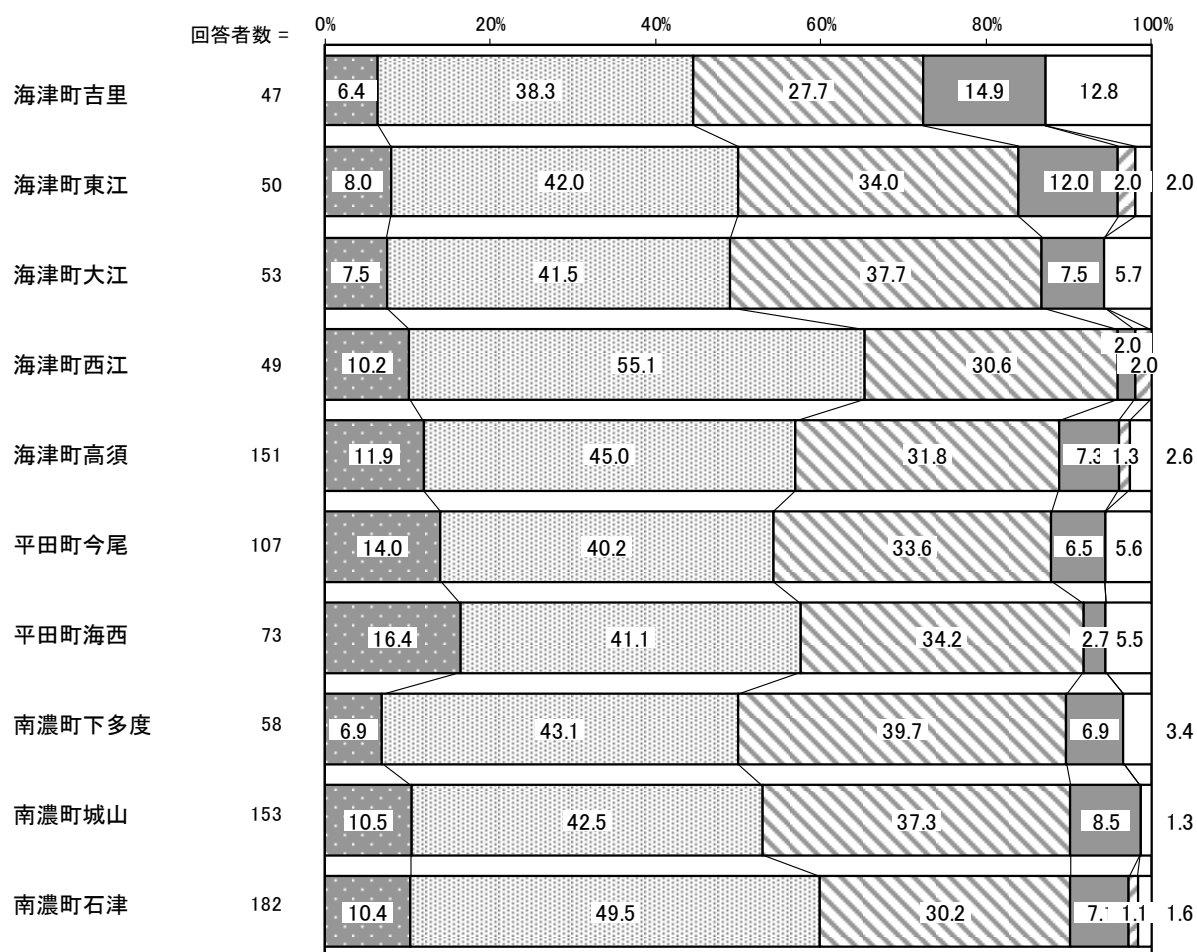
家庭生活（職業別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



家庭生活（町別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▩ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



(2) 子育て

○「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 37.7%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 22.7%、「どちらかといえば女性の方が優遇されている」の割合が 18.3%となっています。

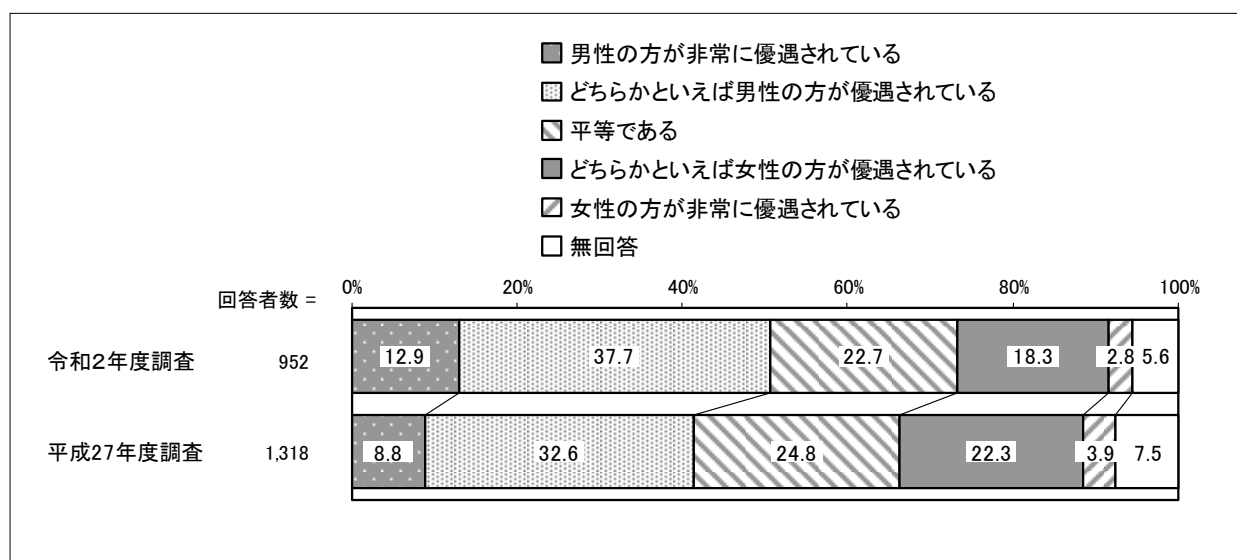
○平成 27 年度調査と比較すると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が増加しています。

○性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

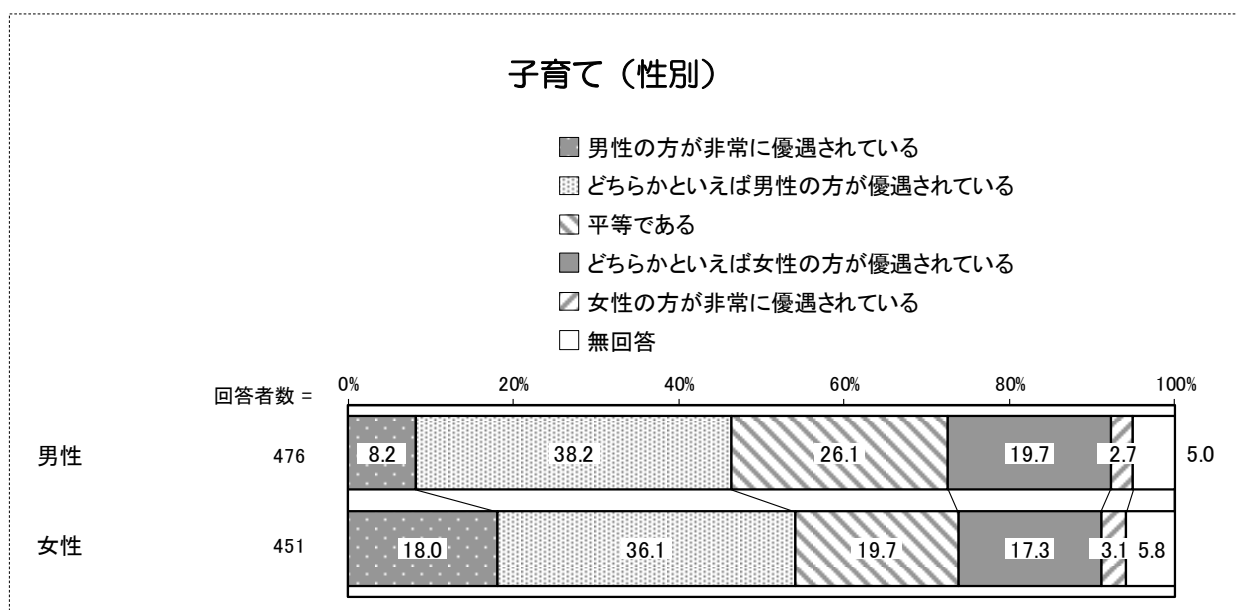
○年齢別でみると、他に比べ、60～64 歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○職業別でみると、他に比べ、農林業、無職で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町石津、南濃町下多度で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

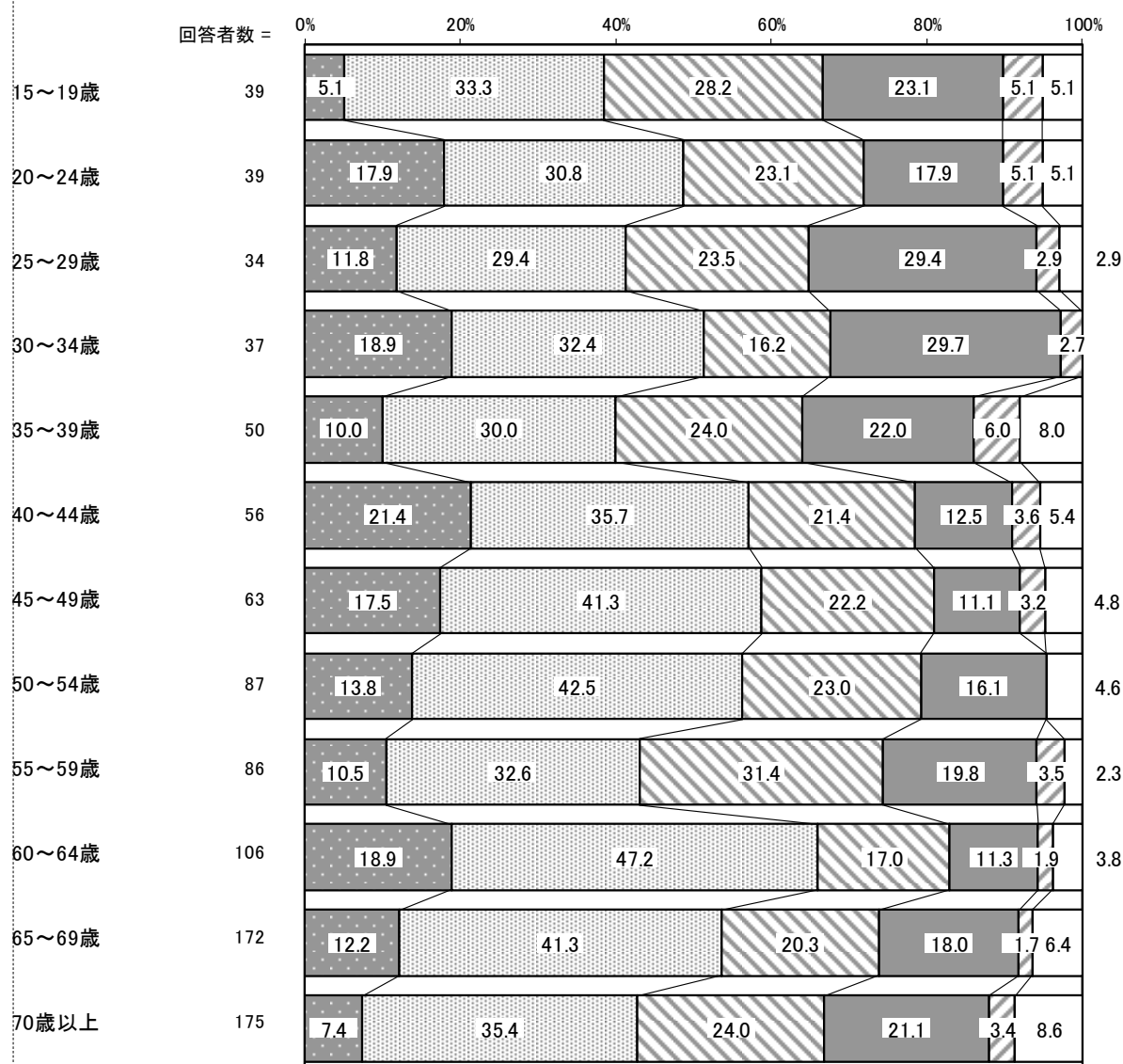


子育て（性別）



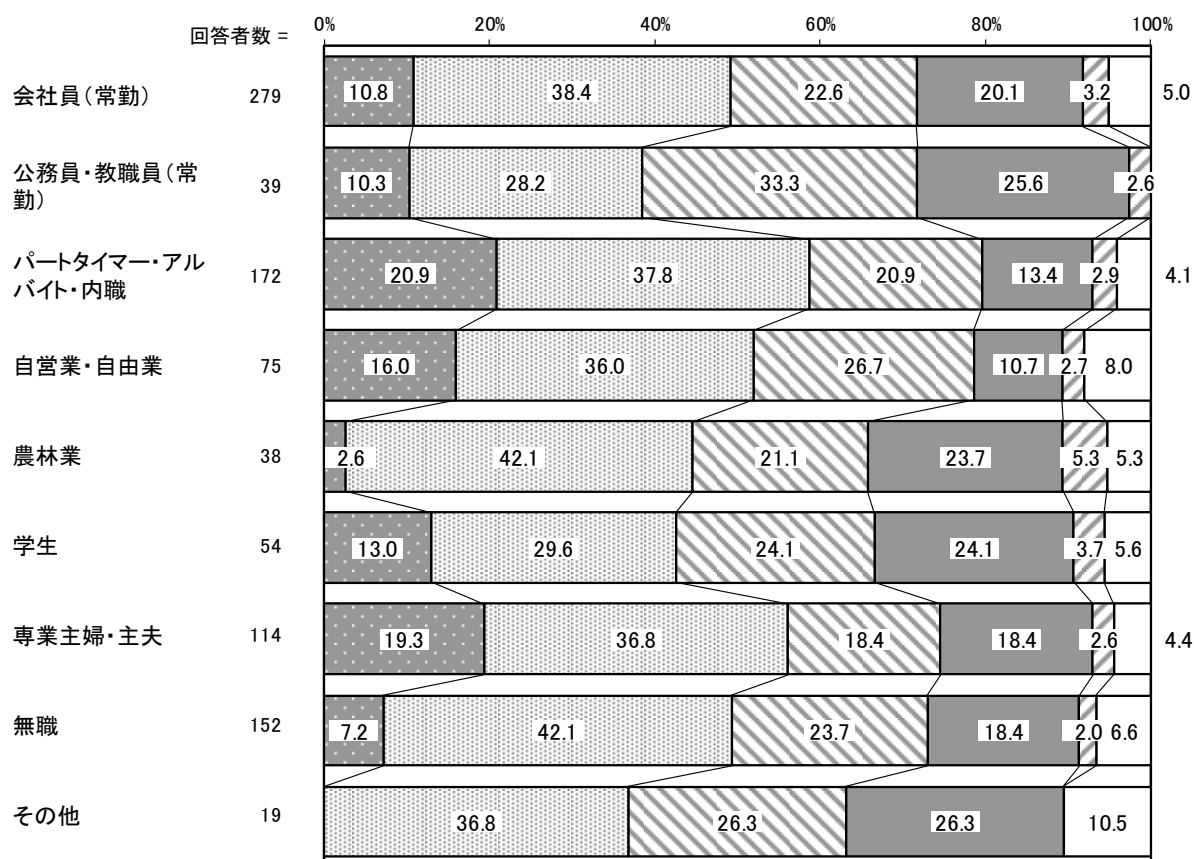
子育て（年齢別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▩ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



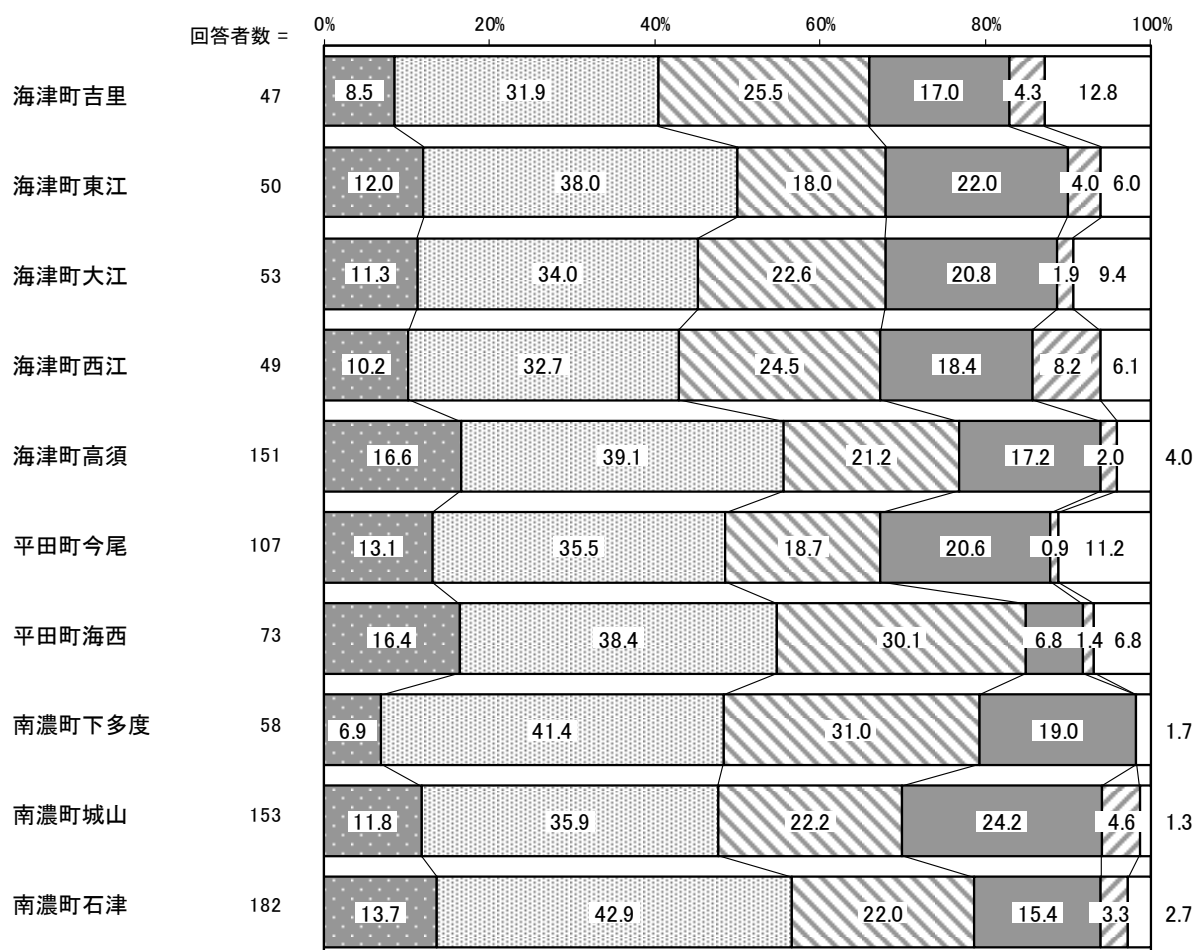
子育て（職業別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▩ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



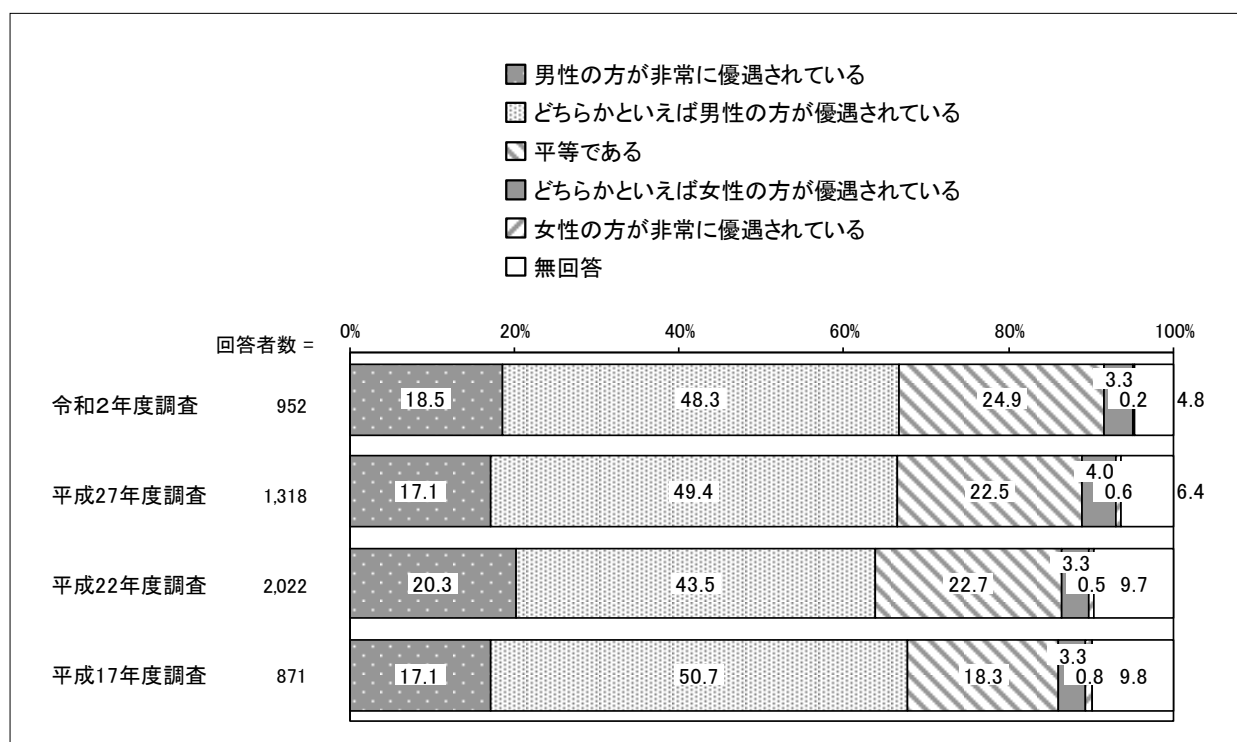
子育て（町別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



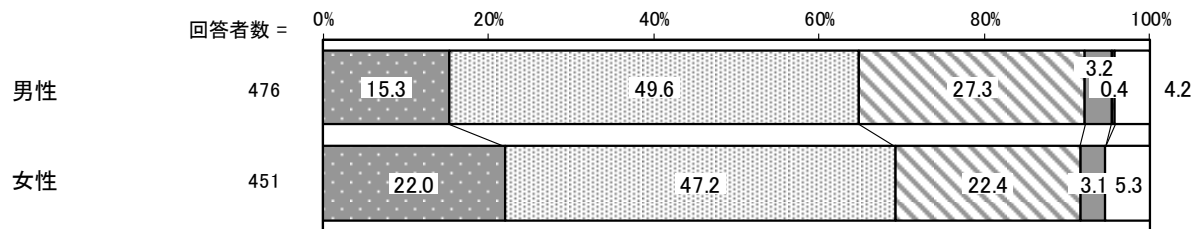
(3) 職場

- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 48.3%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 24.9%、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が 18.5%となっています。
- 平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- 平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- 平成 17 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。
- 性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、他に比べ、30～34 歳、55～59 歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 職業別でみると、他に比べ、農林業、専業主婦・主夫、無職、会社員（常勤）で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 町別でみると、他に比べ、海津町西江、海津町高須、南濃町下多度、海津町吉里で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



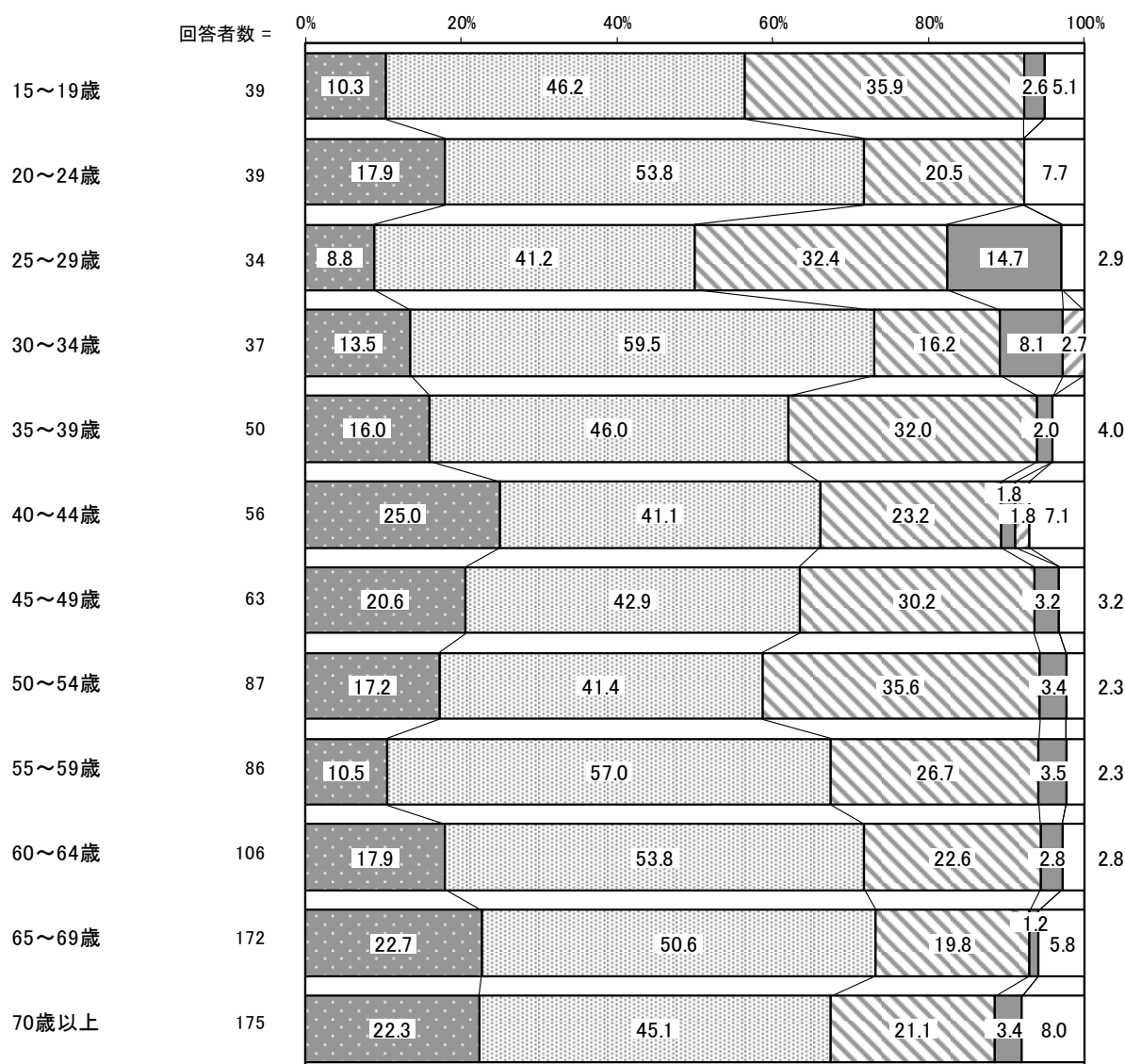
職場（性別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



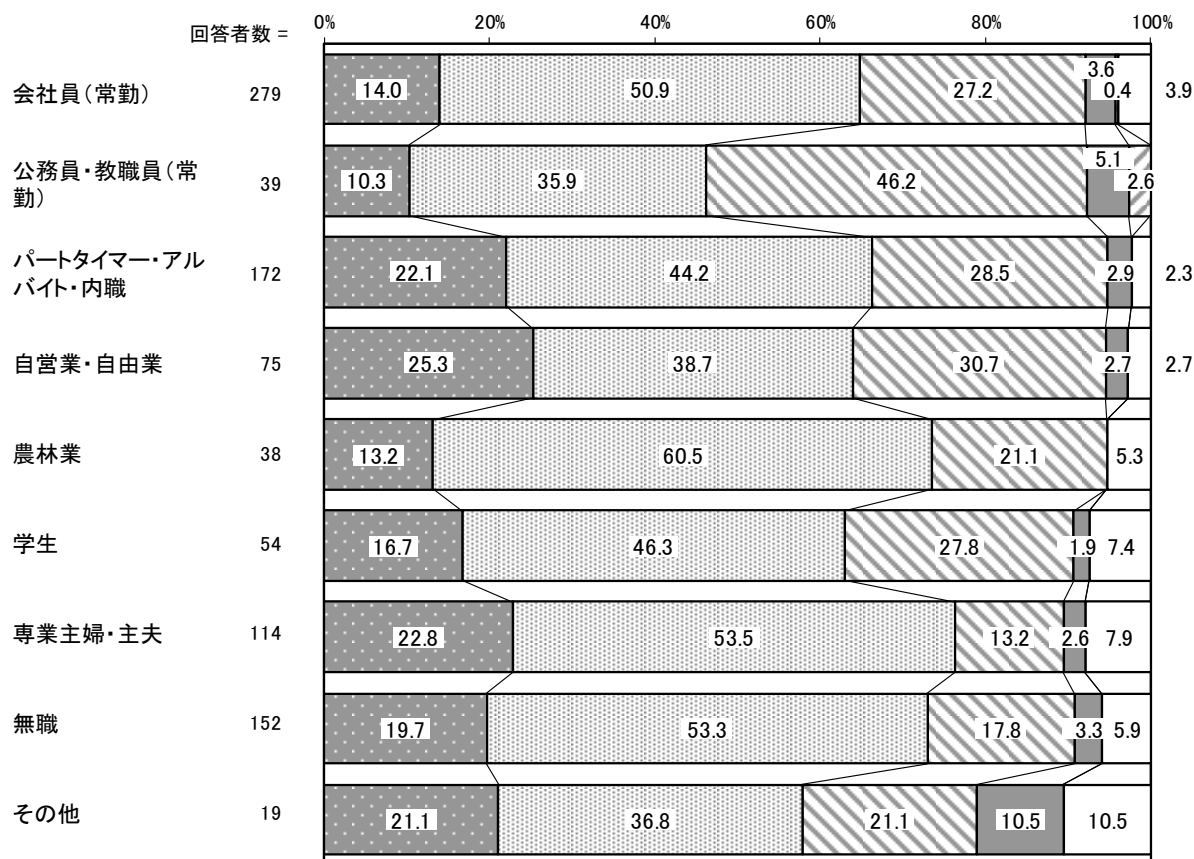
職場（年齢別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



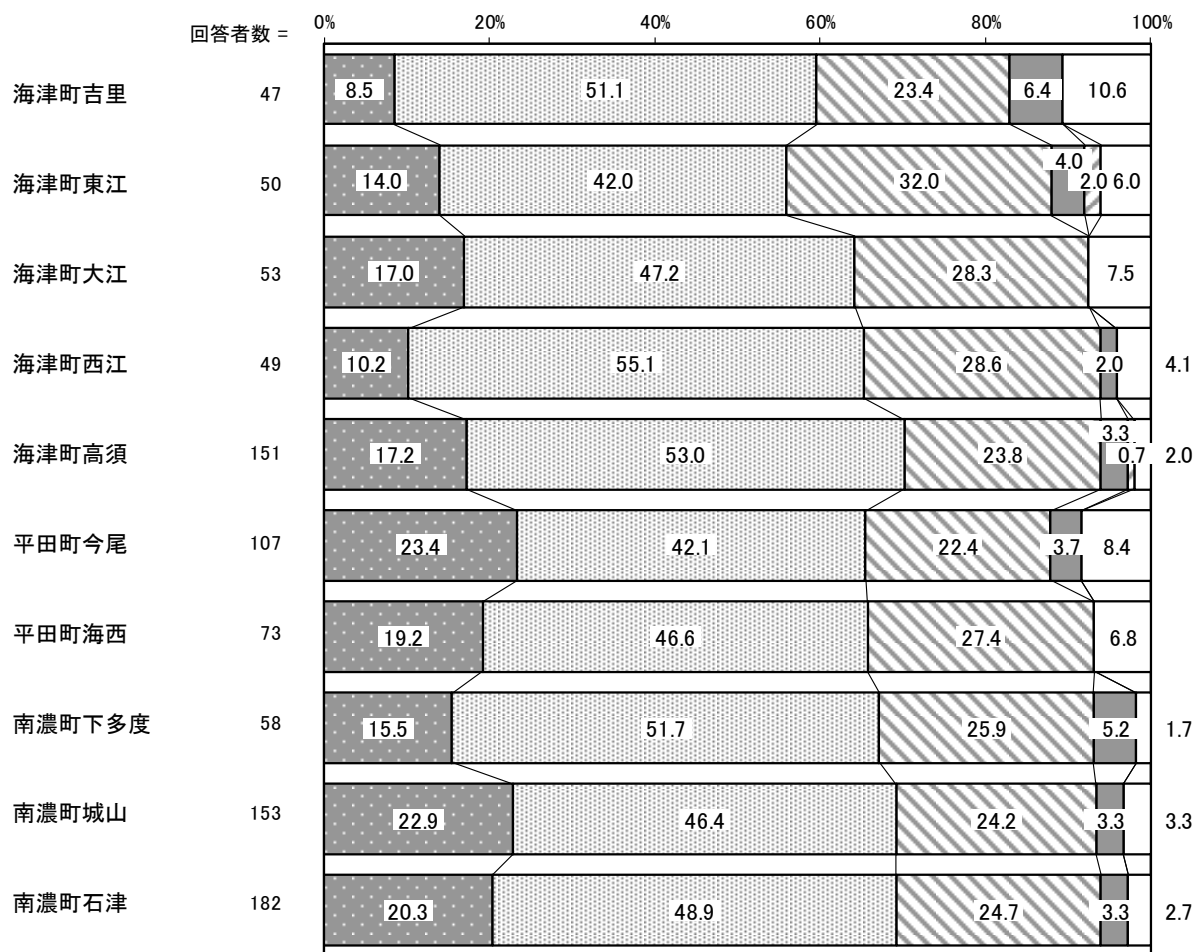
職場（町別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



職場（町別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



(4) 学校教育の場

○「平等である」の割合が 68.2%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 18.5%となっています。

○平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

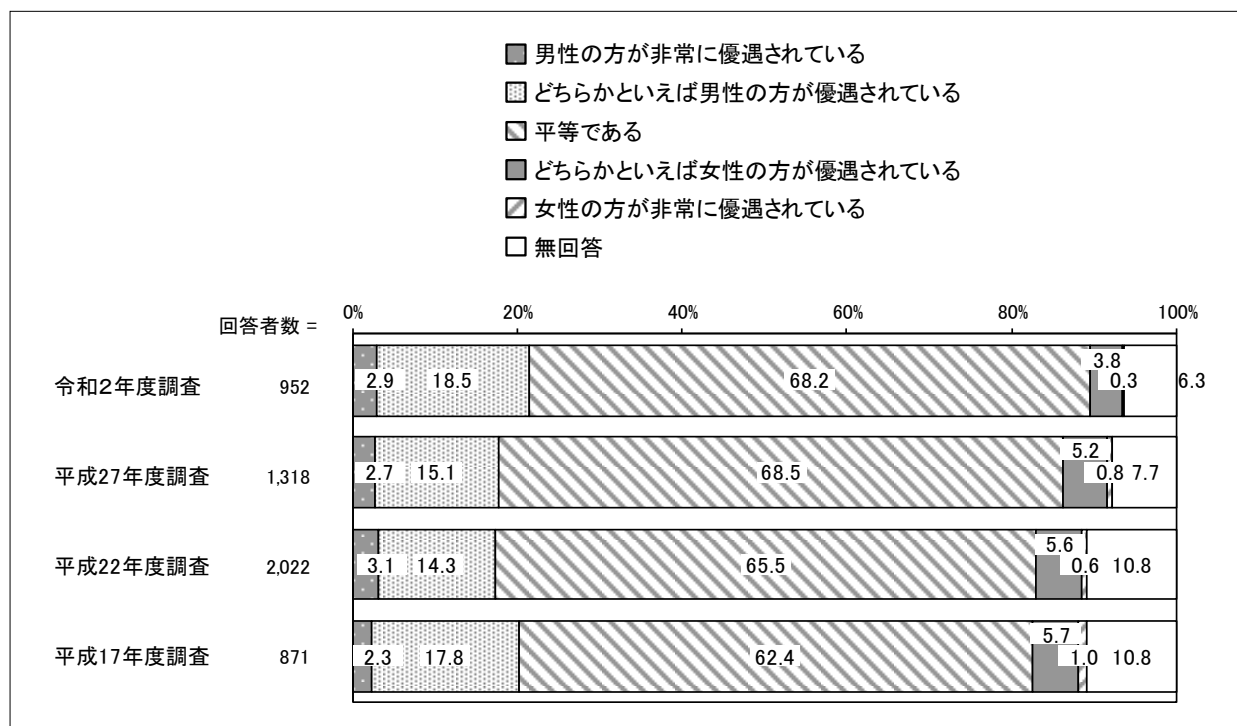
○平成 17 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。

○性別でみると、男性と女性で「平等である」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、25～29 歳、20～24 歳、15～19 歳、35～39 歳、55～59 歳、40～44 歳で「平等である」の割合が高くなっています。

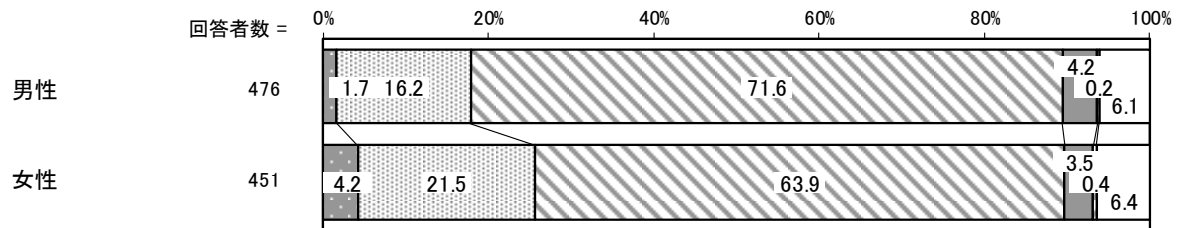
○職業別でみると、他に比べ、学生、公務員・教職員（常勤）、無職で「平等である」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町下多度、南濃町石津、海津町東江、海津町吉里で「平等である」の割合が高くなっています。



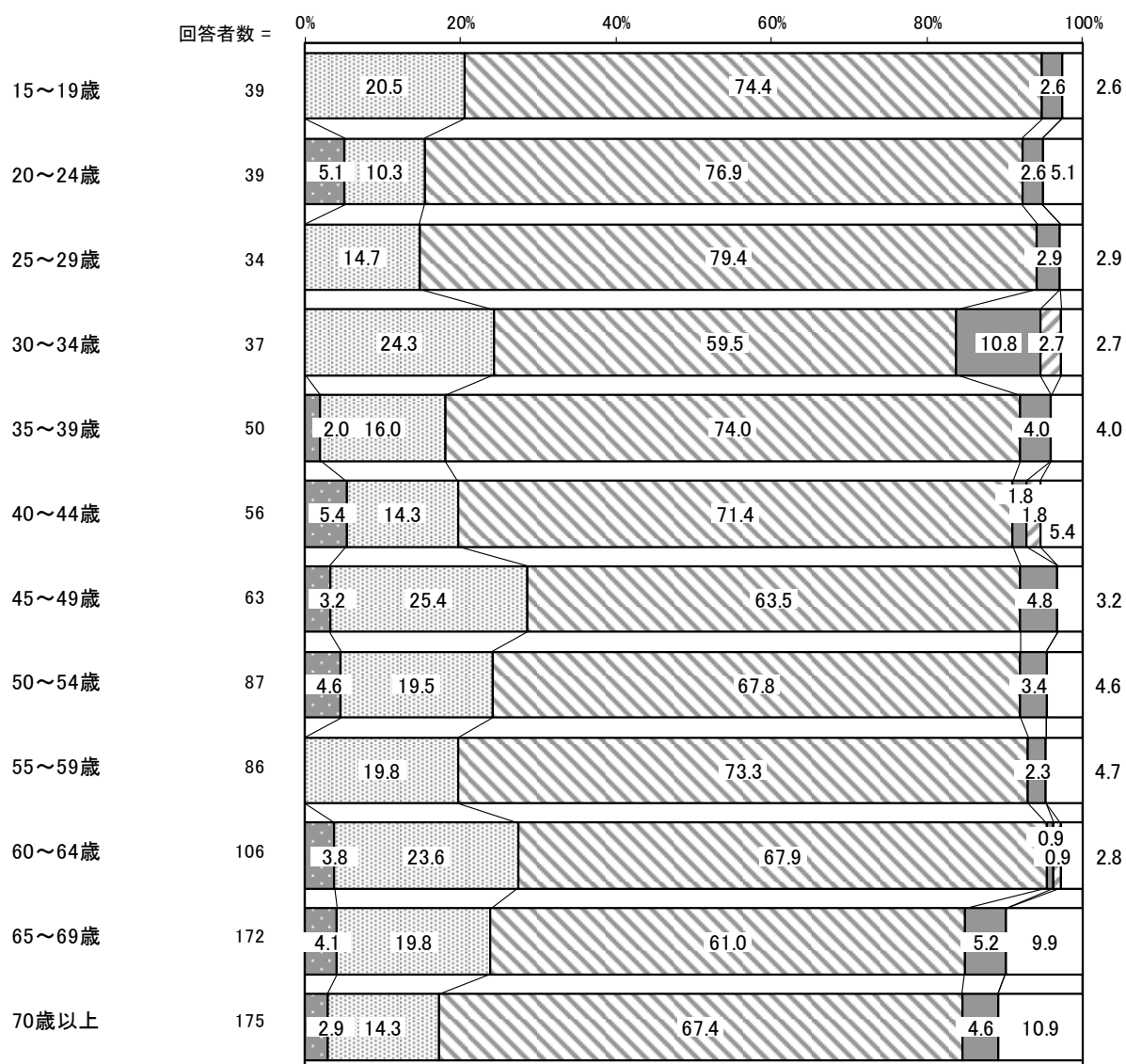
学校教育の場（性別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

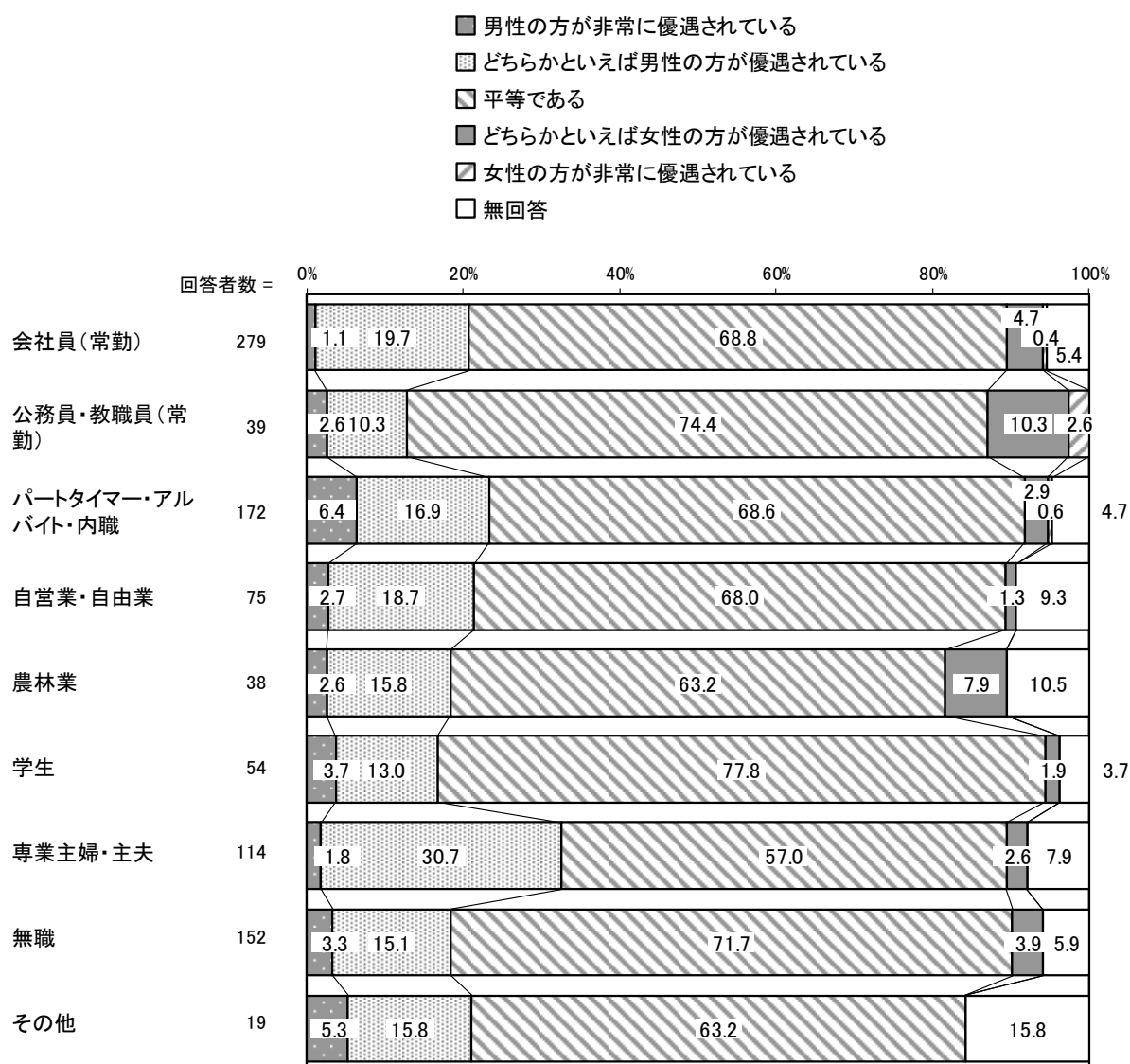


学校教育の場（年齢別）

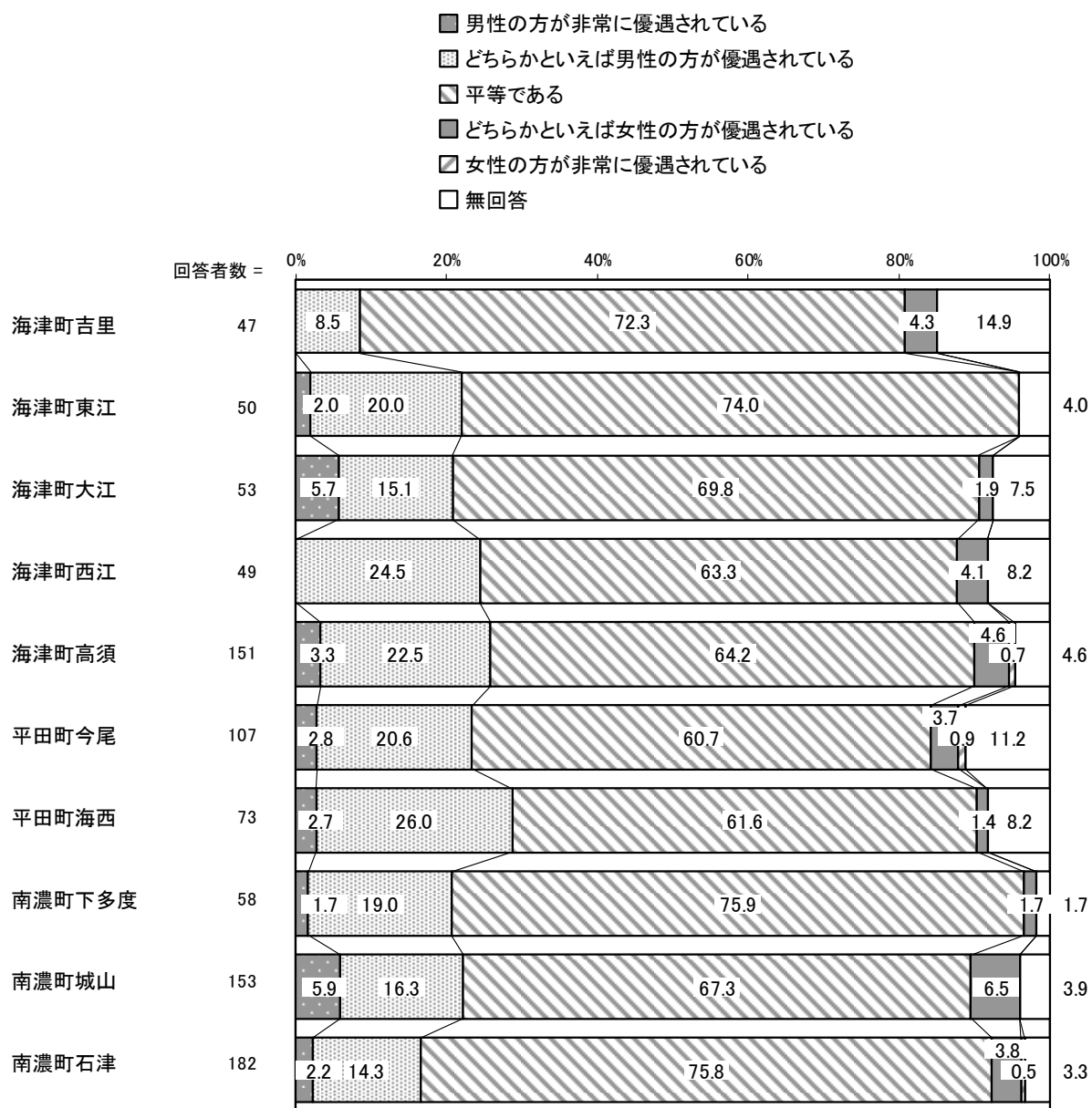
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



学校教育の場（職業別）



学校教育の場（町別）



(5) 地域活動

○「平等である」の割合が46.2%と最も高く、次いで「平等である」の割合が35.1%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○平成22年度調査と比較すると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が増加しています。

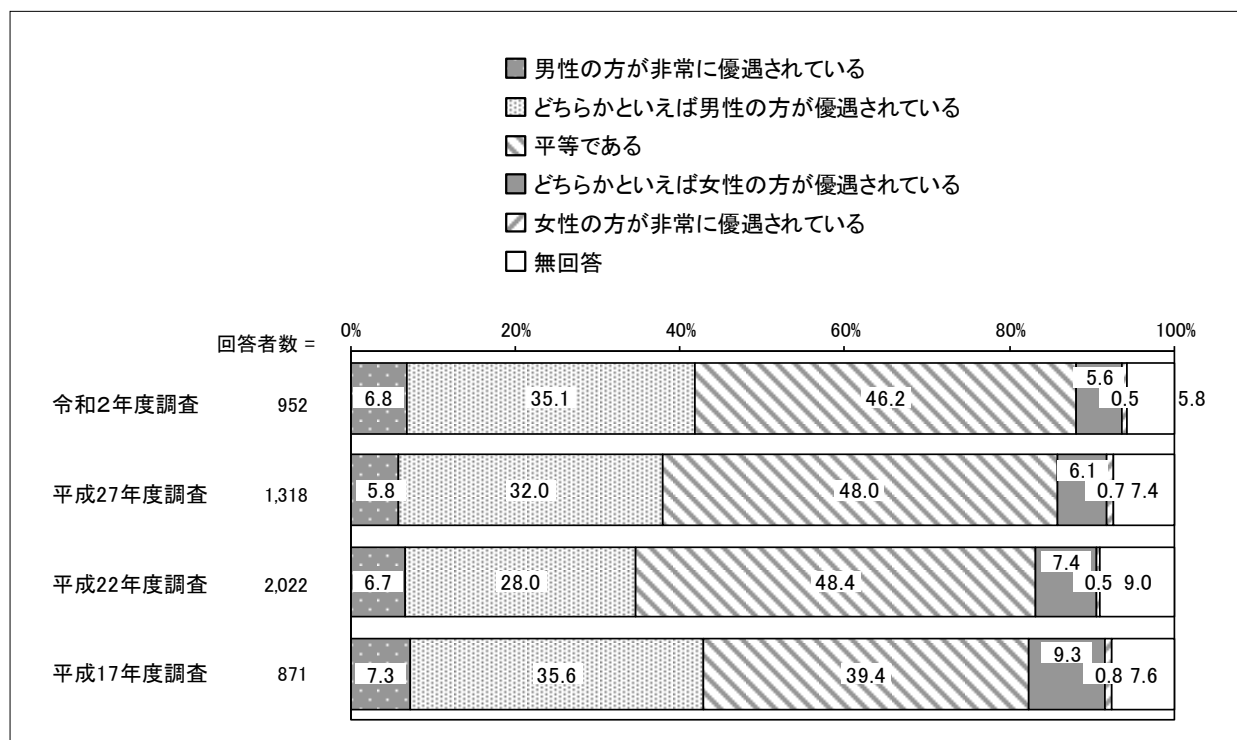
○平成17年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。

○性別でみると、男性と女性で「平等である」の割合が高くなっています。

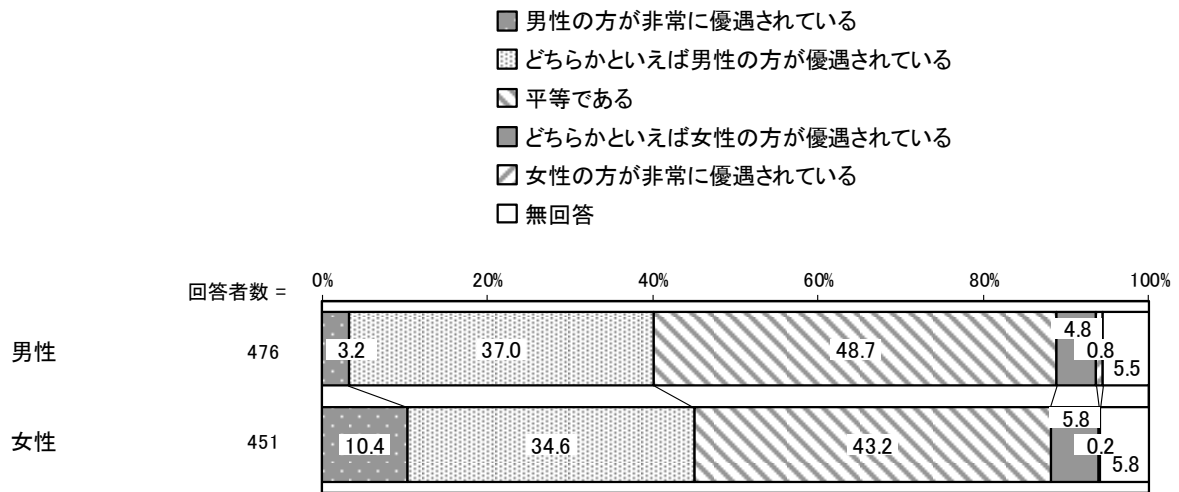
○年齢別でみると、他に比べ、15～19歳、30～34歳で「平等である」の割合が高くなっています。

○職業別でみると、他に比べ、学生、公務員・教職員（常勤）で「平等である」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町下多度、海津町大江、海津町東江で「平等である」の割合が高くなっています。

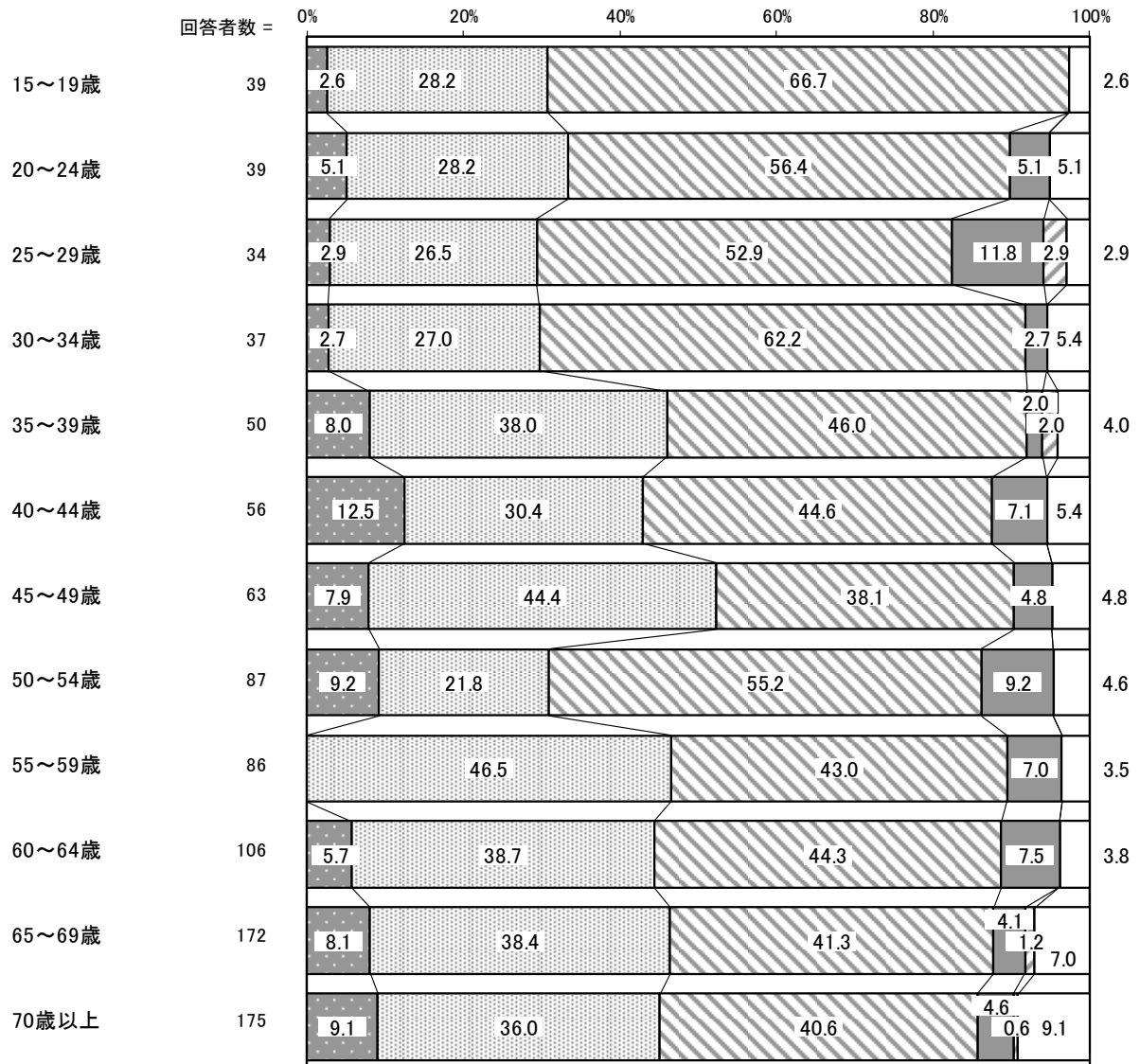


地域活動（性別）

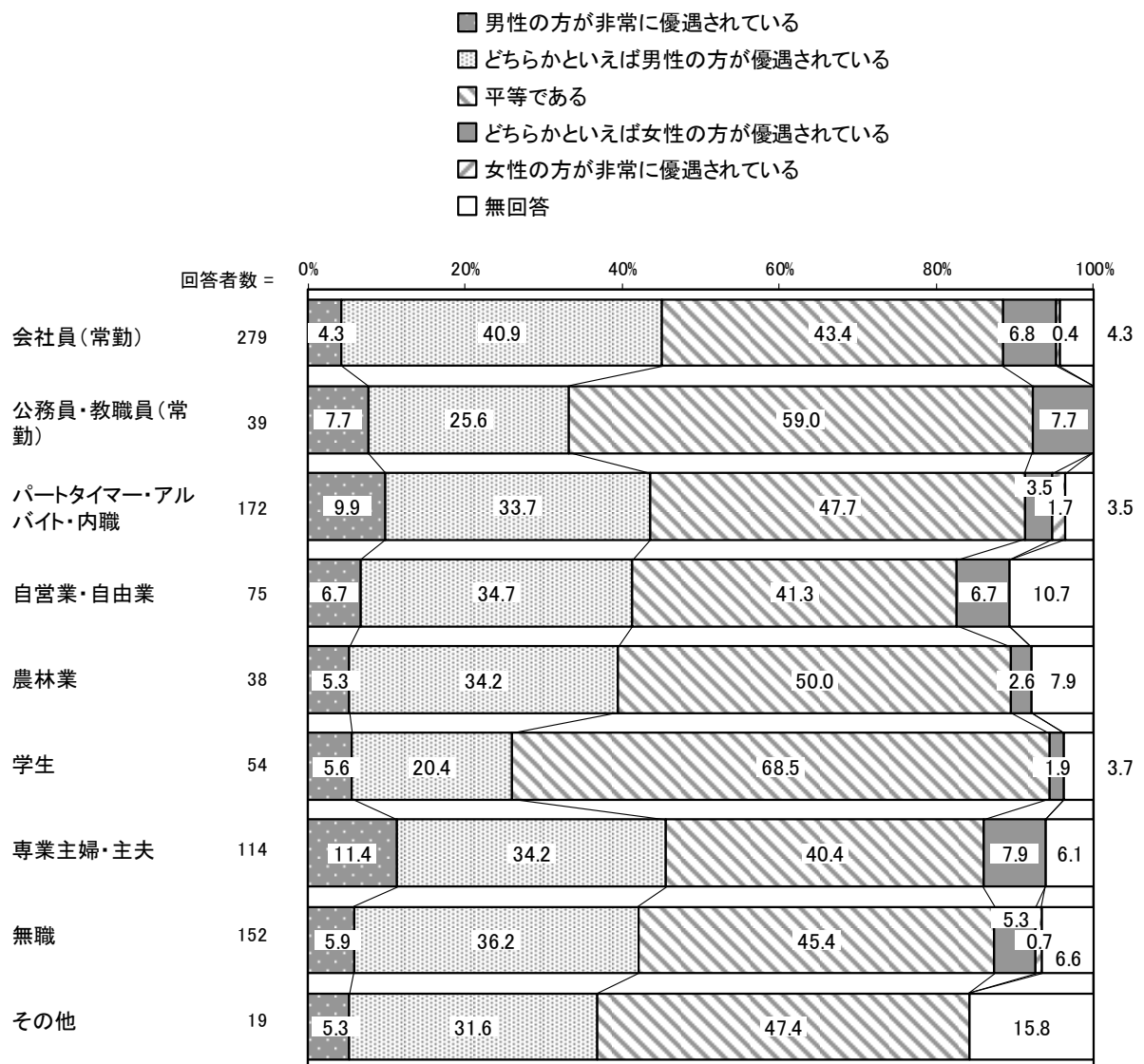


地域活動（年齢別）

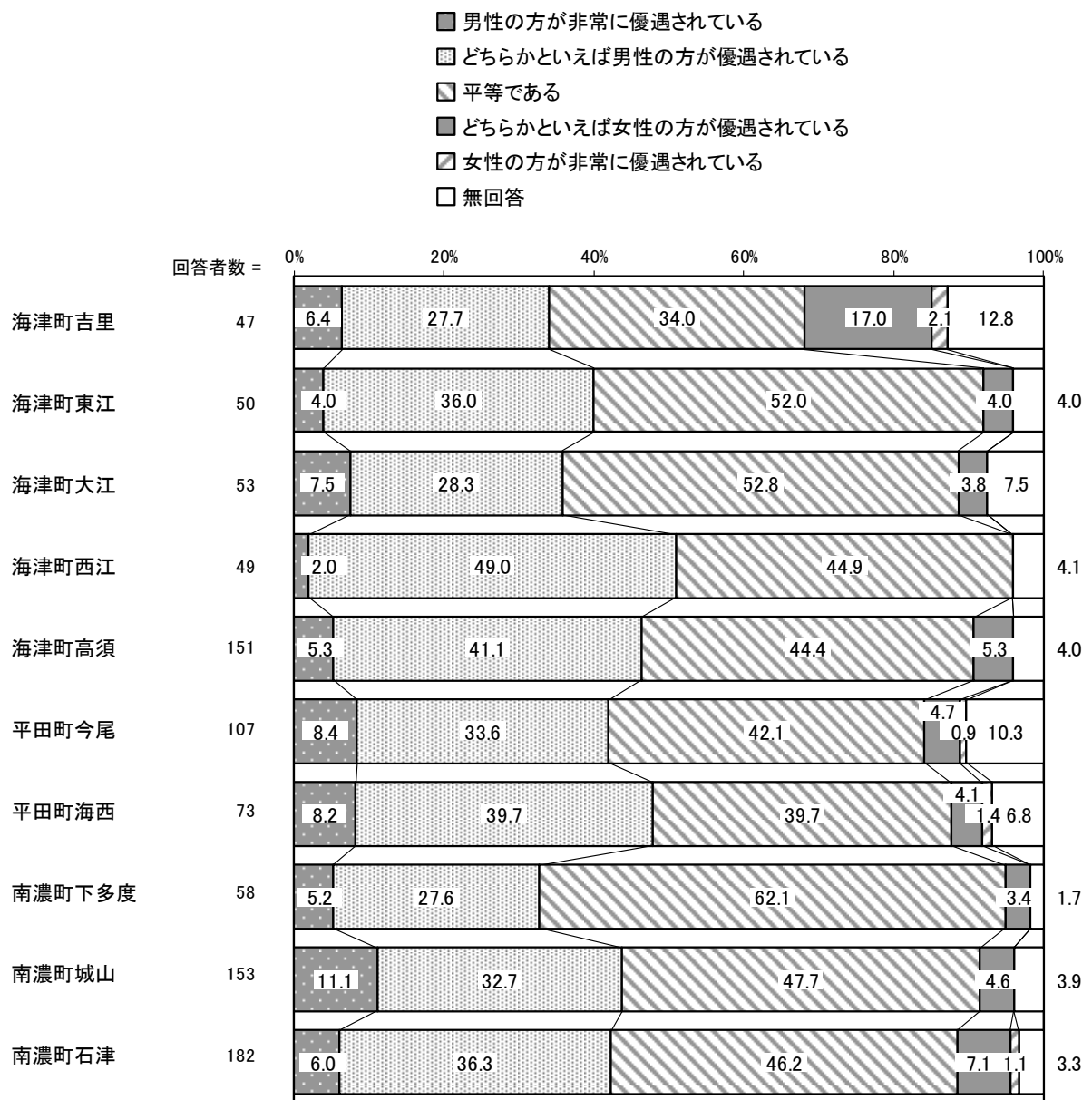
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



地域活動（職業別）



地域活動（町別）



(6) 法律や制度

○「平等である」の割合が 50.3%と最も高く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 32.9%となっています。

○平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

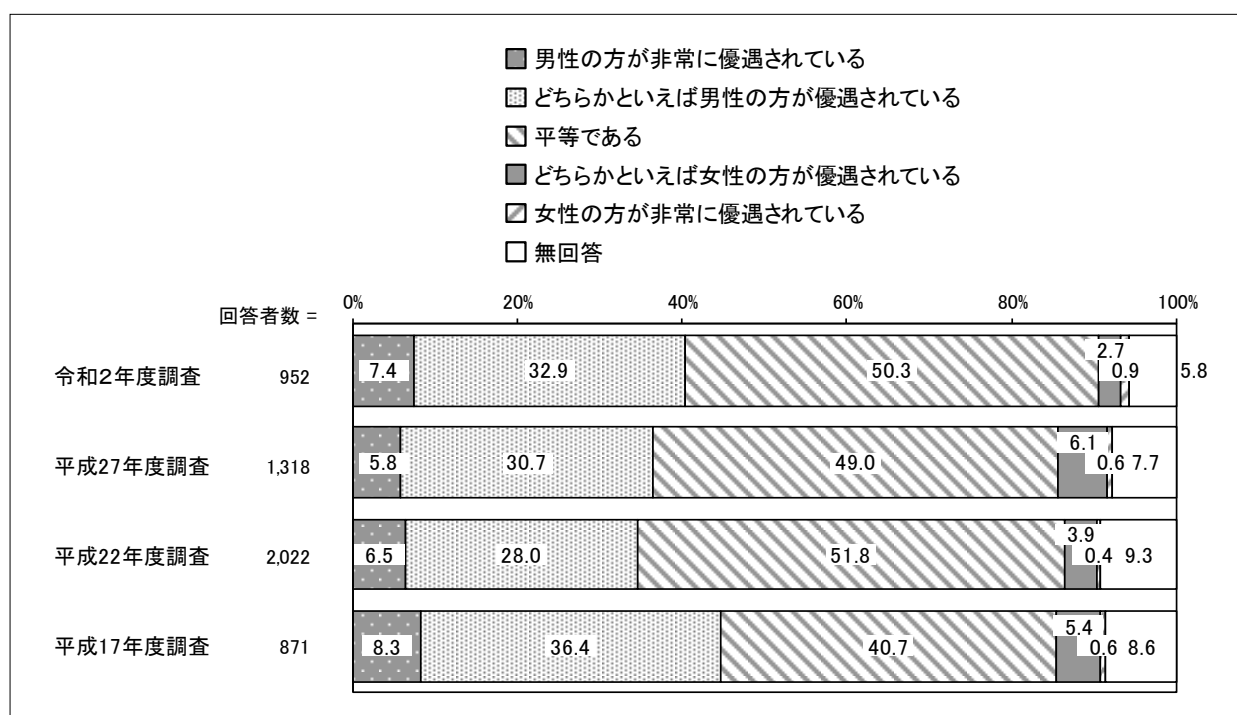
○平成 17 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。

○性別でみると、男性と女性で「平等である」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、20～24 歳、50～54 歳、30～34 歳で「平等である」の割合が高くなっています。

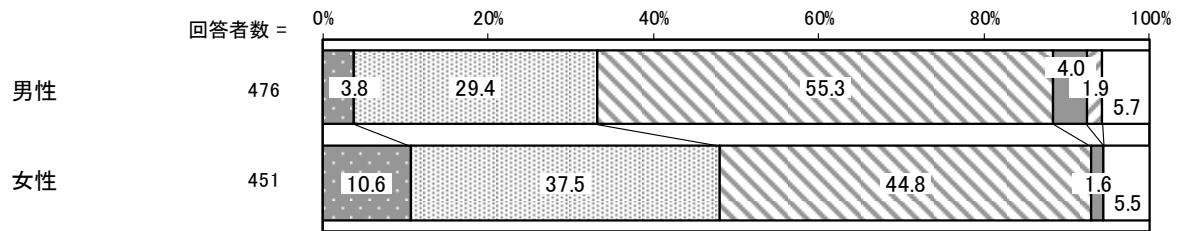
○職業別でみると、他に比べ、公務員・教職員（常勤）、農林業で「平等である」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町大江、海津町東江、南濃町石津で「平等である」の割合が高くなっています。



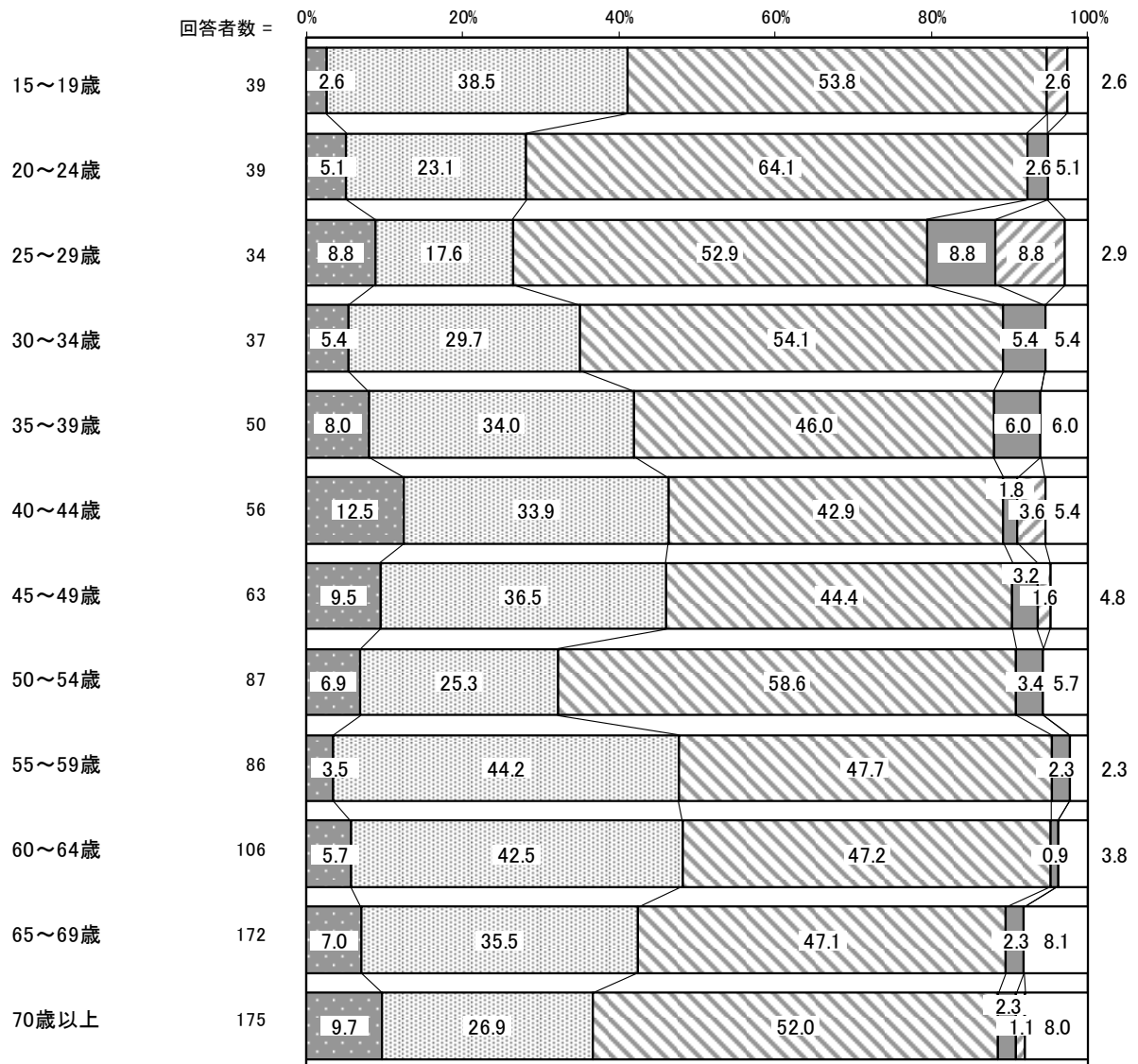
法律や制度（性別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



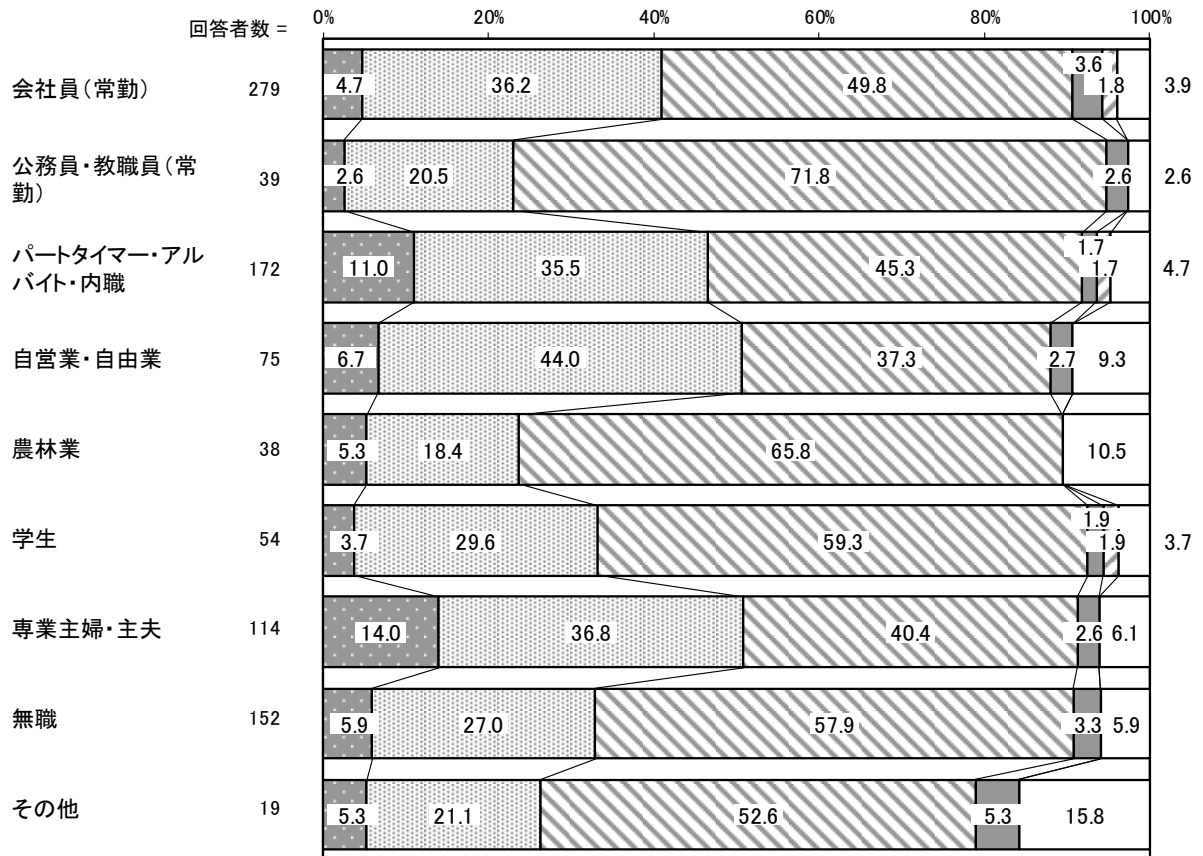
法律や制度（年齢別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

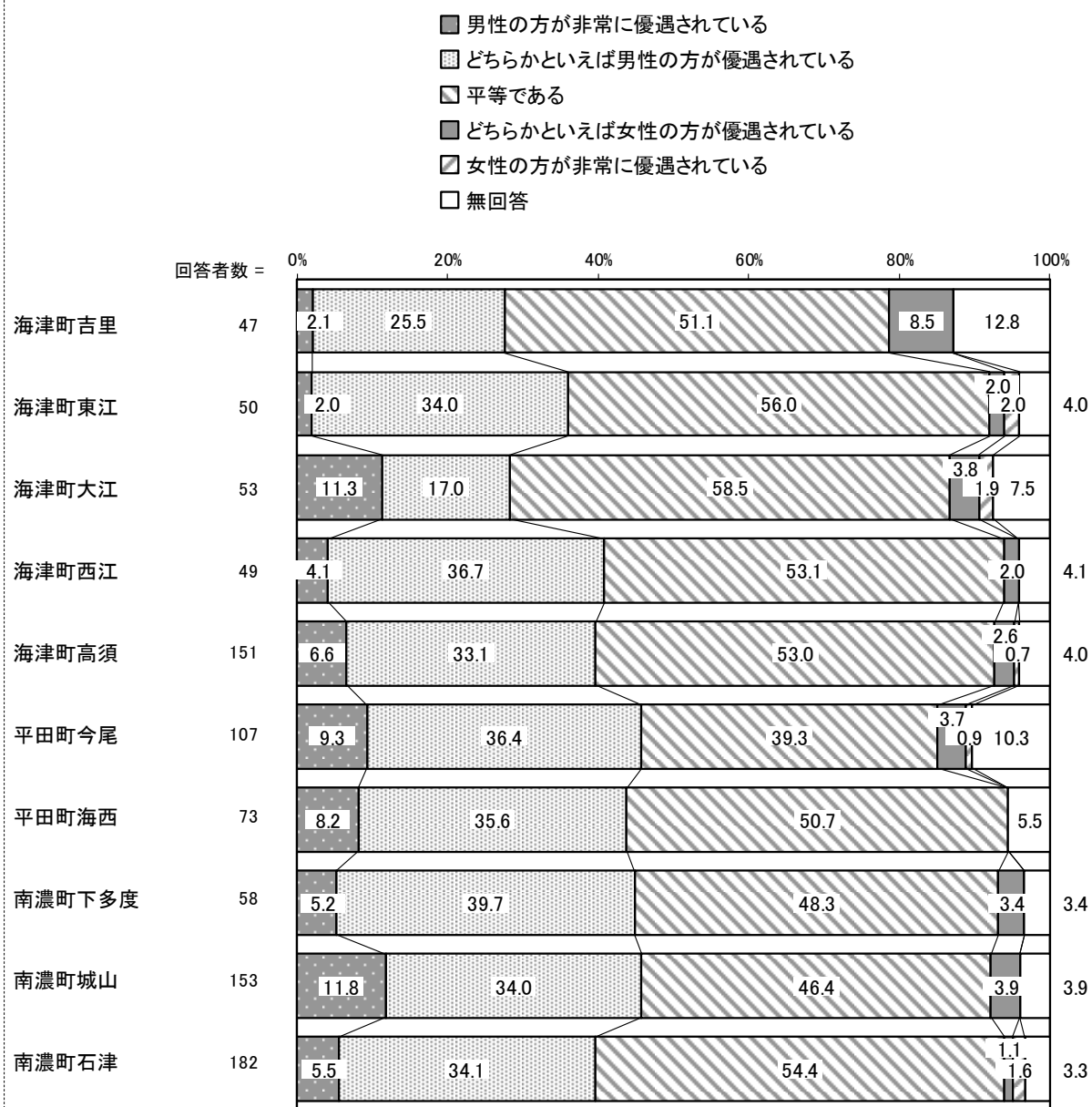


法律や制度（職業別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- ▧ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▩ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

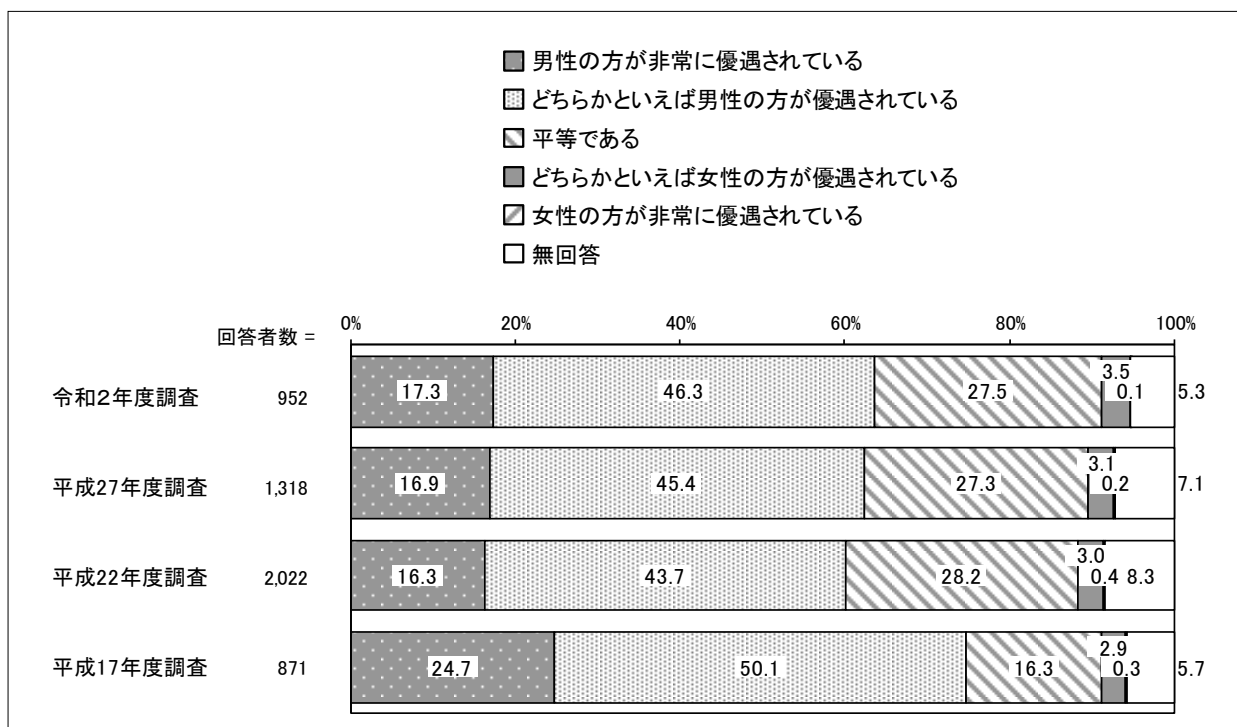


法律や制度（町別）



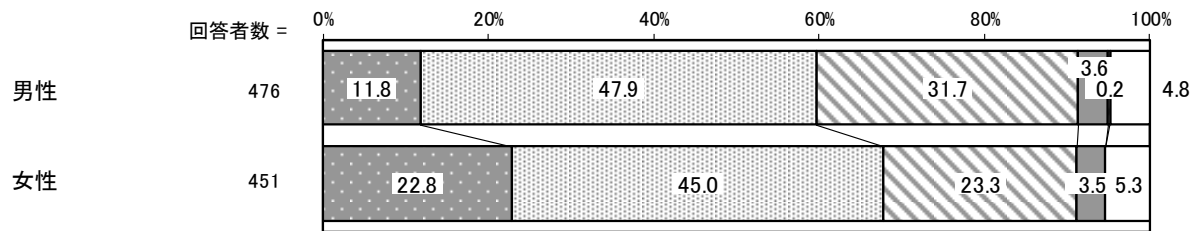
(7) しきたりや習慣

- 「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 46.3%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 27.5%、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が 17.3%となっています。
- 平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- 平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- 平成 17 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。一方、「男性の方が非常に優遇されている」の割合が減少しています。
- 性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、他に比べ、70 歳以上、35～39 歳、40～44 歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 職業別でみると、他に比べ、公務員・教職員（常勤）、自営業・自由業、専業主婦・主夫で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 町別でみると、他に比べ、南濃町下多度、海津町高須、海津町西江で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。



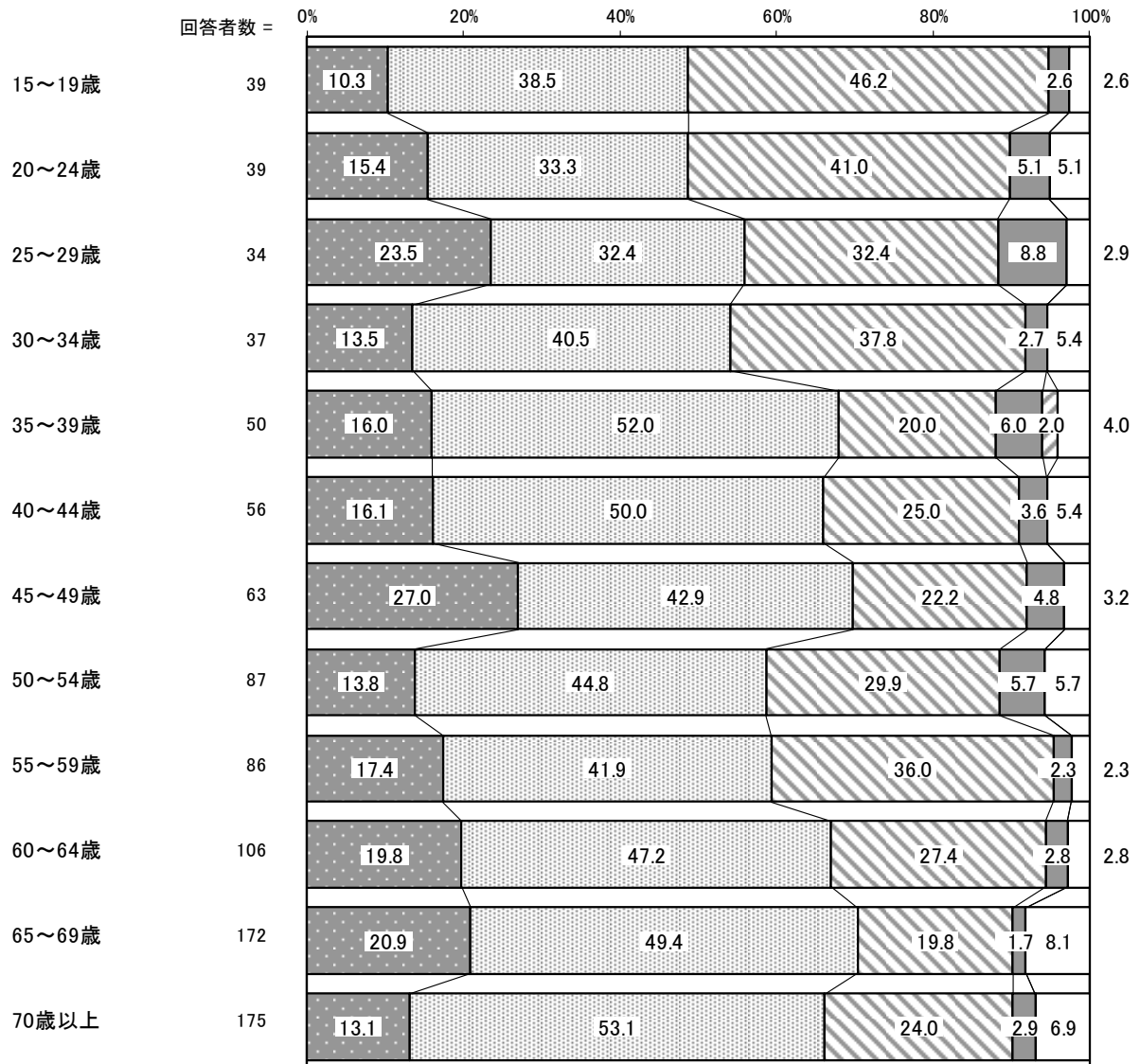
しきたりや習慣（性別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▤ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



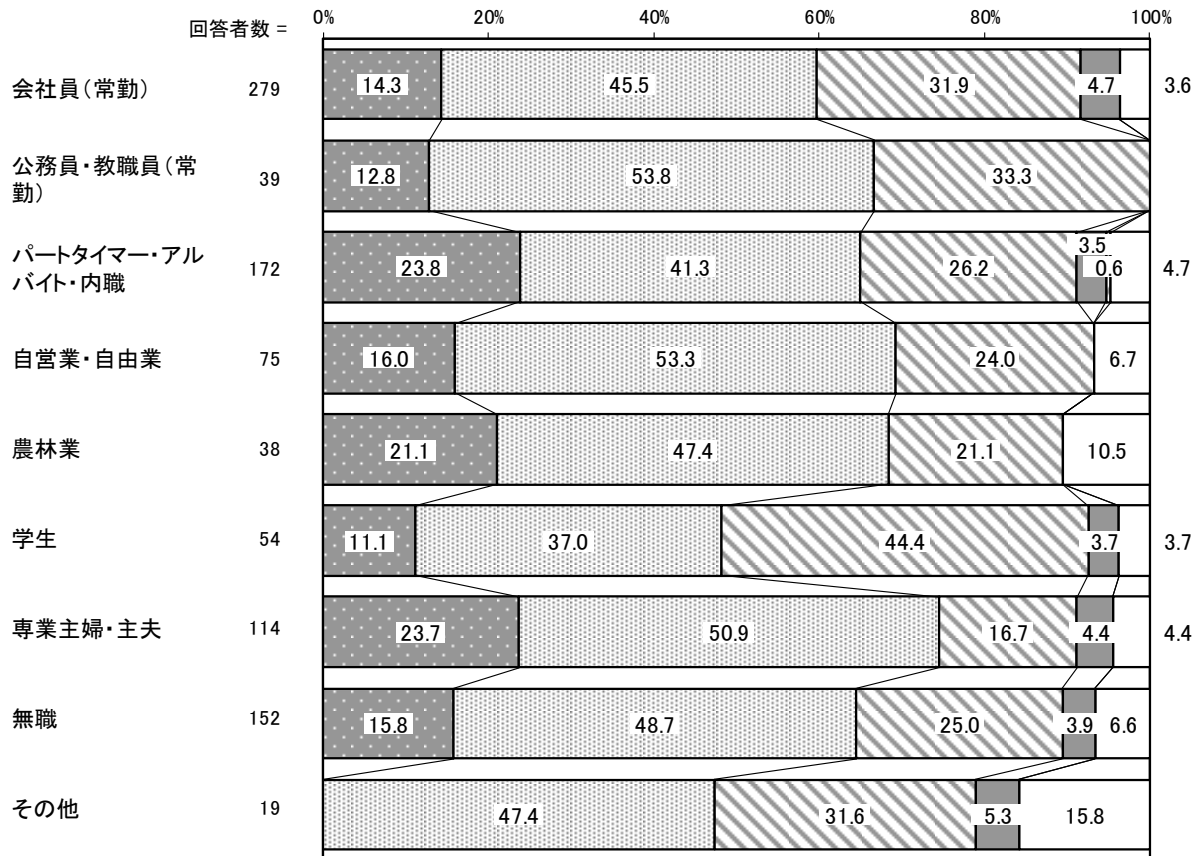
しきたりや習慣（年齢別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答

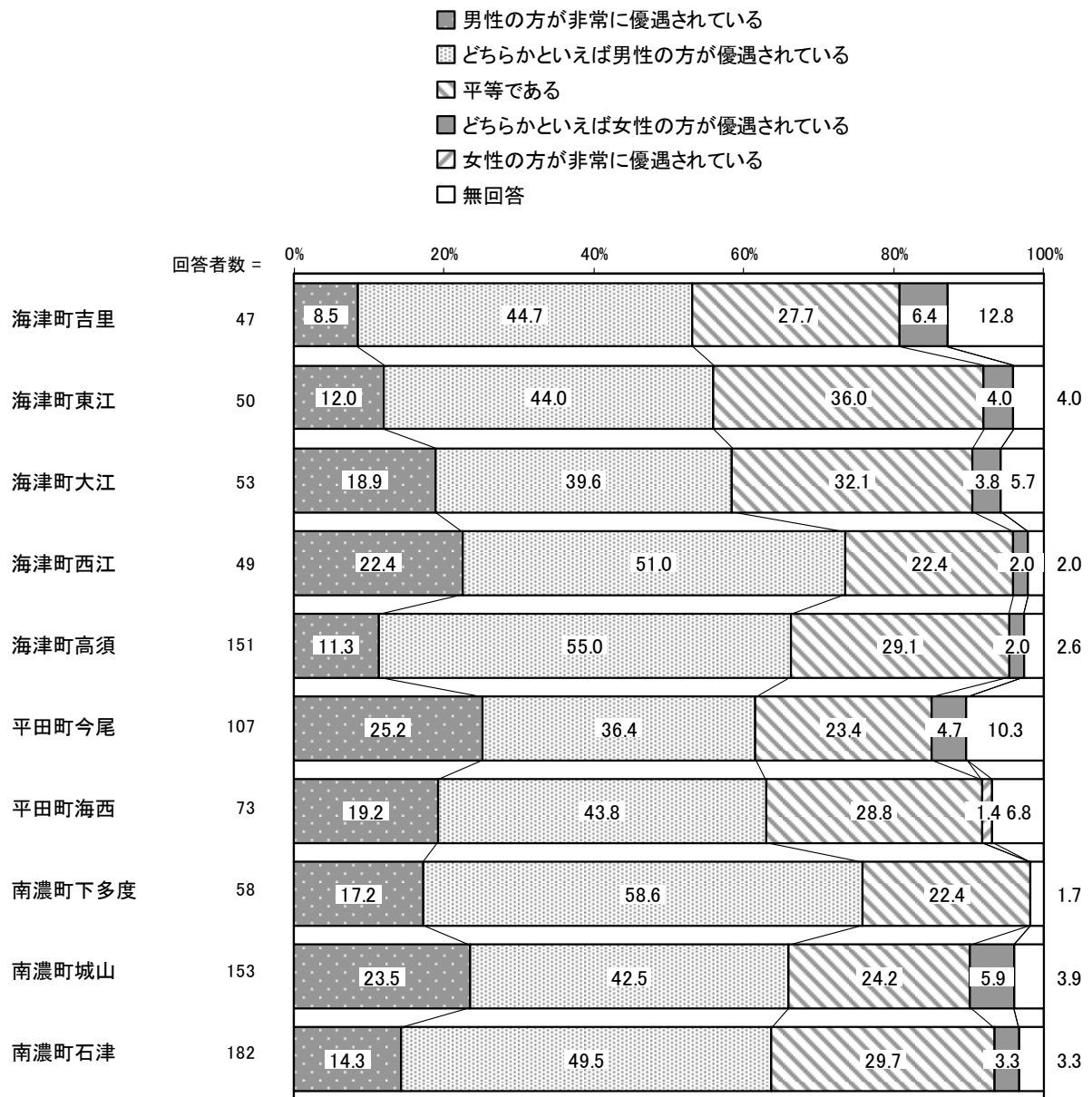


しきたりや習慣（職業別）

- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- ▨ 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



しきたりや習慣（町別）



(8) 全体として

○「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 51.4%と最も高く、次いで「平等である」の割合が 31.1%となっています。

○平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

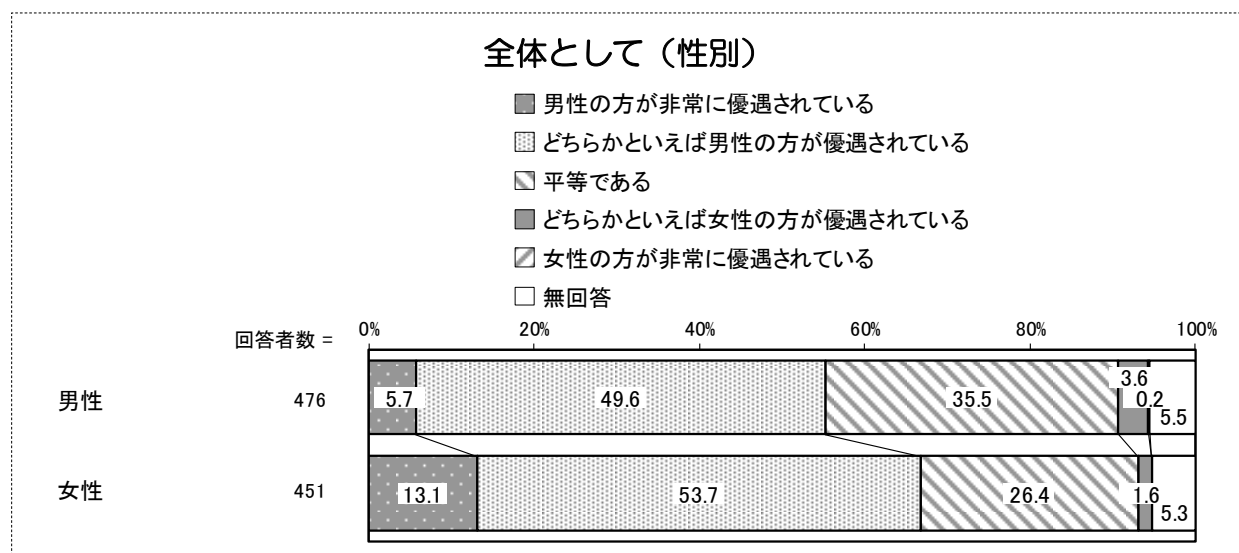
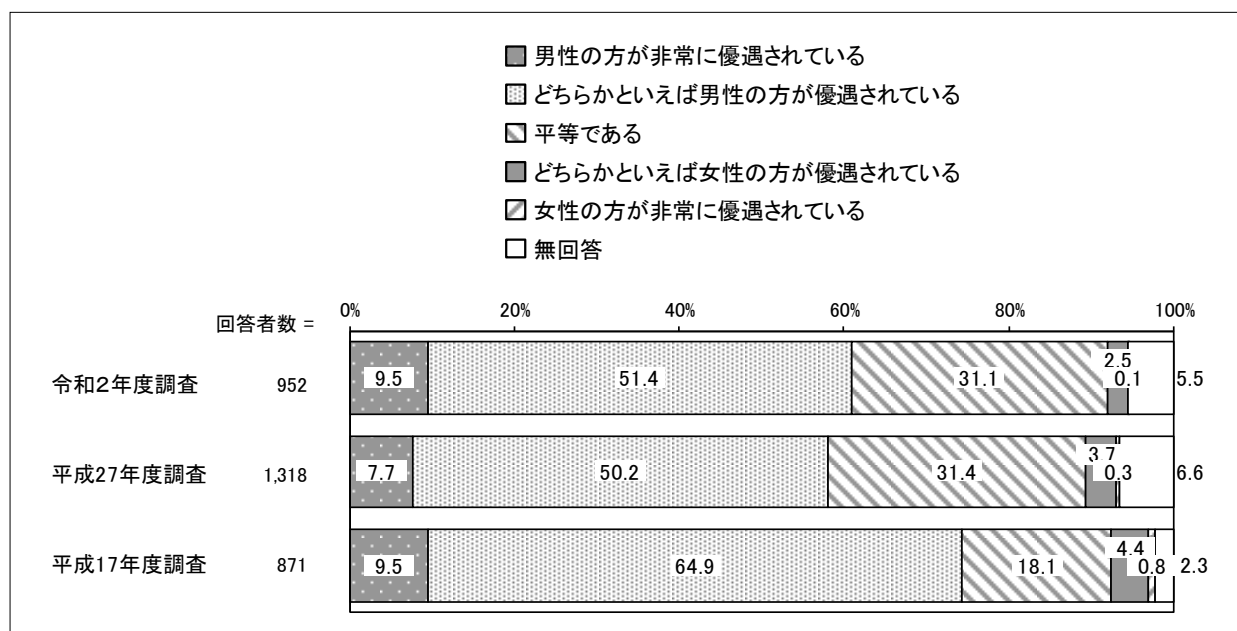
○平成 17 年度調査と比較すると、「平等である」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が減少しています。

○性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、45～49 歳、65～69 歳、30～34 歳で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

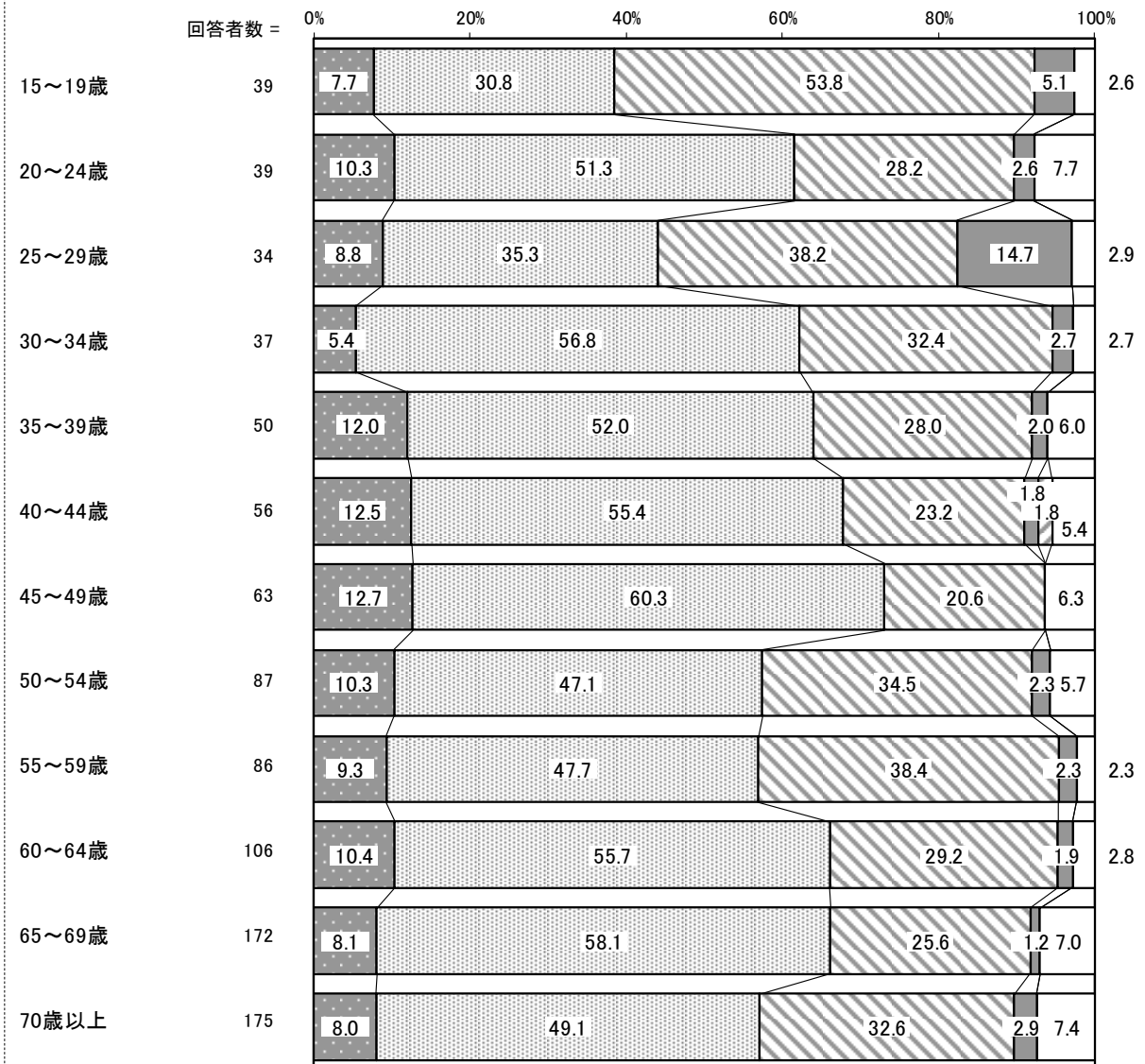
○職業別でみると、他に比べ、その他、専業主婦・主夫、農林業で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町下多度、海津町西江、海津町高須で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

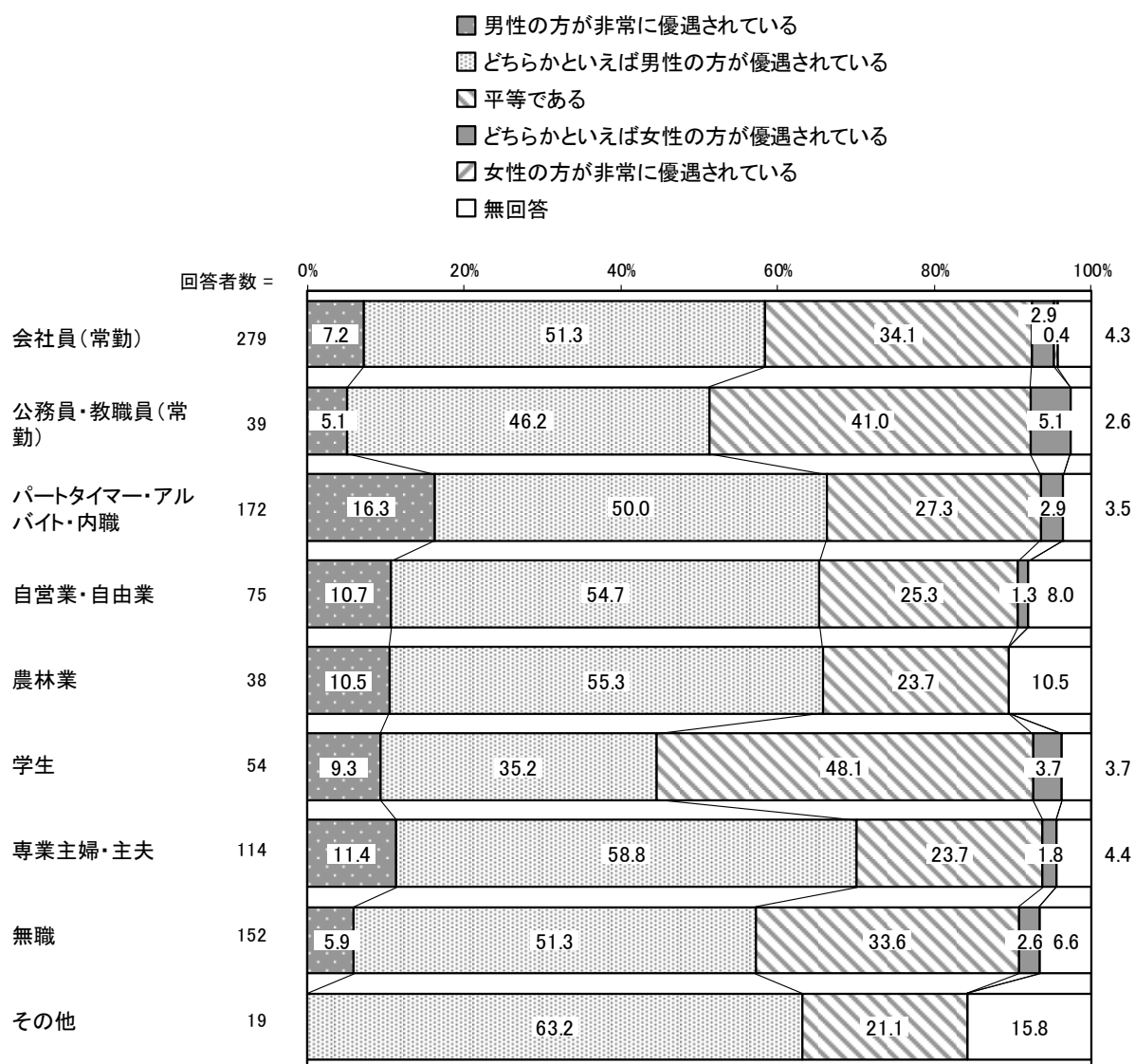


全体として（年齢別）

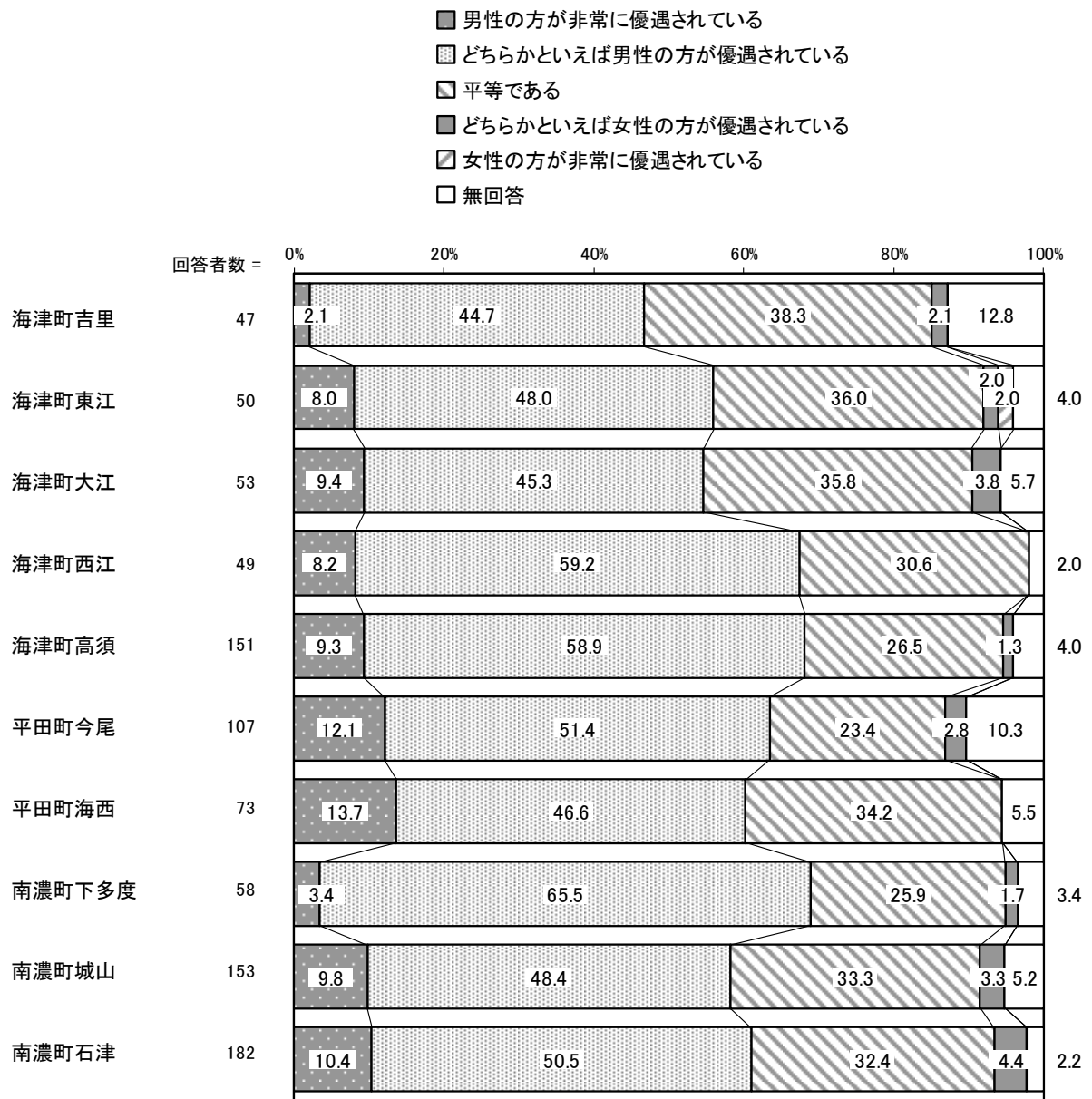
- 男性の方が非常に優遇されている
- ▨ どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- ▨ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が非常に優遇されている
- 無回答



全体として（職業別）

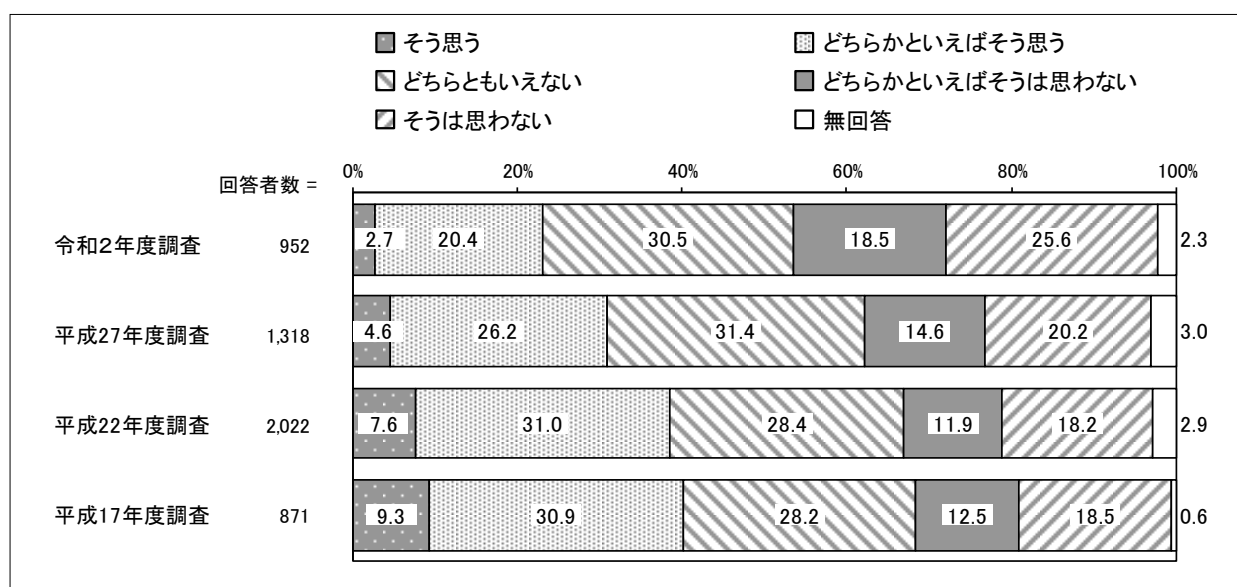


全体として（町別）

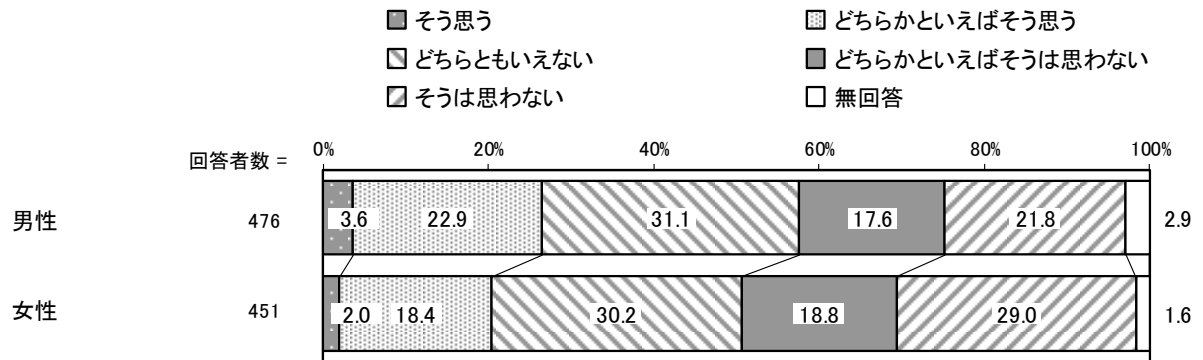


問 28 あなたは「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどのように思いますか。(〇は1つ)

- 「どちらともいえない」の割合が 30.5%と最も高く、次いで「そうは思わない」の割合が 25.6%、「どちらかといえばそう思う」の割合が 20.4%となっています。
- 平成 27 年度調査と比較すると、「そうは思わない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。
- 平成 22 年度調査と比較すると、「どちらかといえばそうは思わない」「そうは思わない」の割合が増加しています。一方、「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。
- 平成 17 年度調査と比較すると、「どちらかといえばそうは思わない」「そうは思わない」の割合が増加しています。一方、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の割合が減少しています。
- 性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、他に比べ、15～19 歳、25～29 歳、20～24 歳で「そうは思わない」の割合が高くなっています。
- 町別でみると、他に比べ、海津町東江で「そうは思わない」の割合が高くなっています。

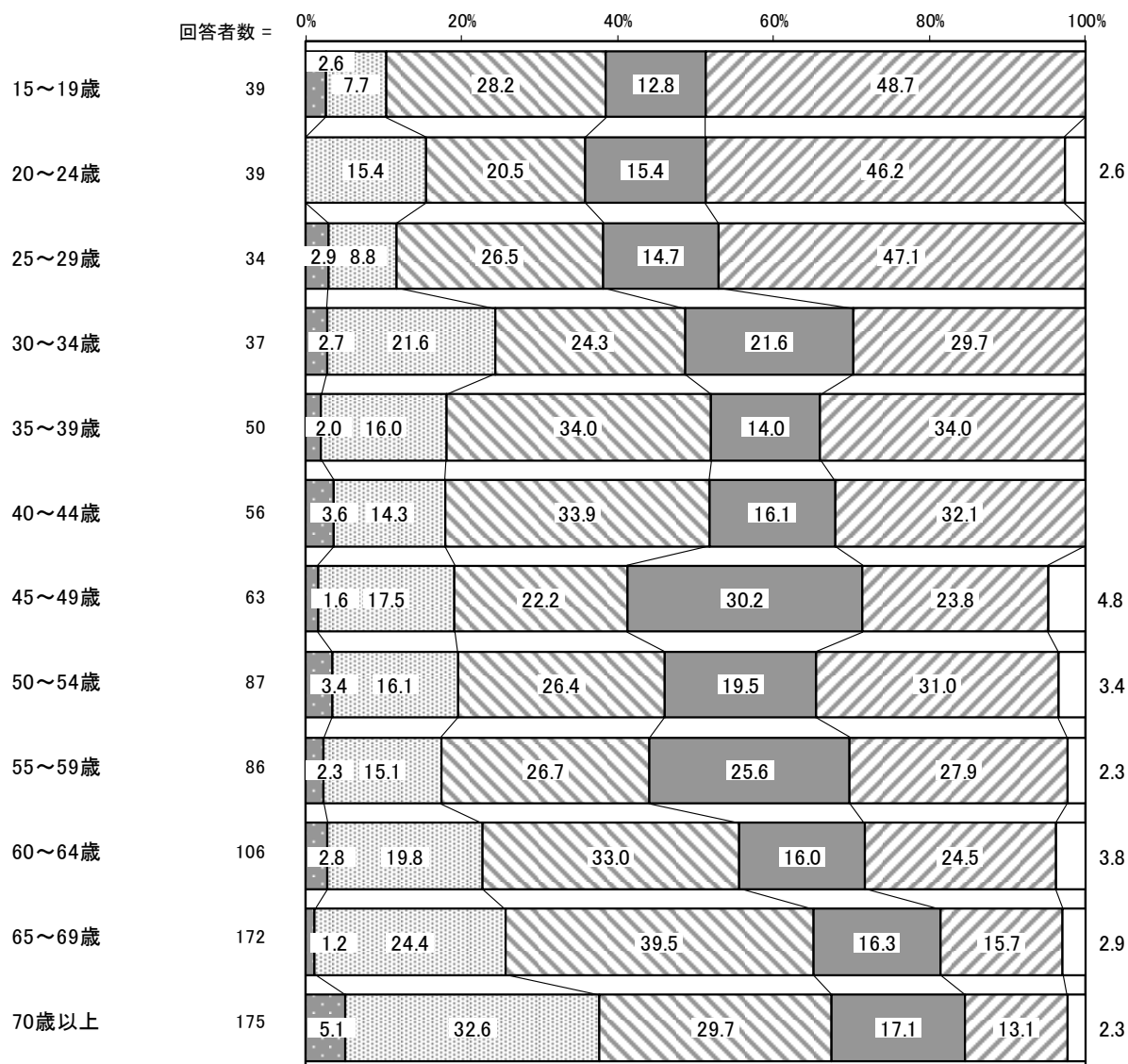


「男は仕事、女は家庭」という考え方について（性別）

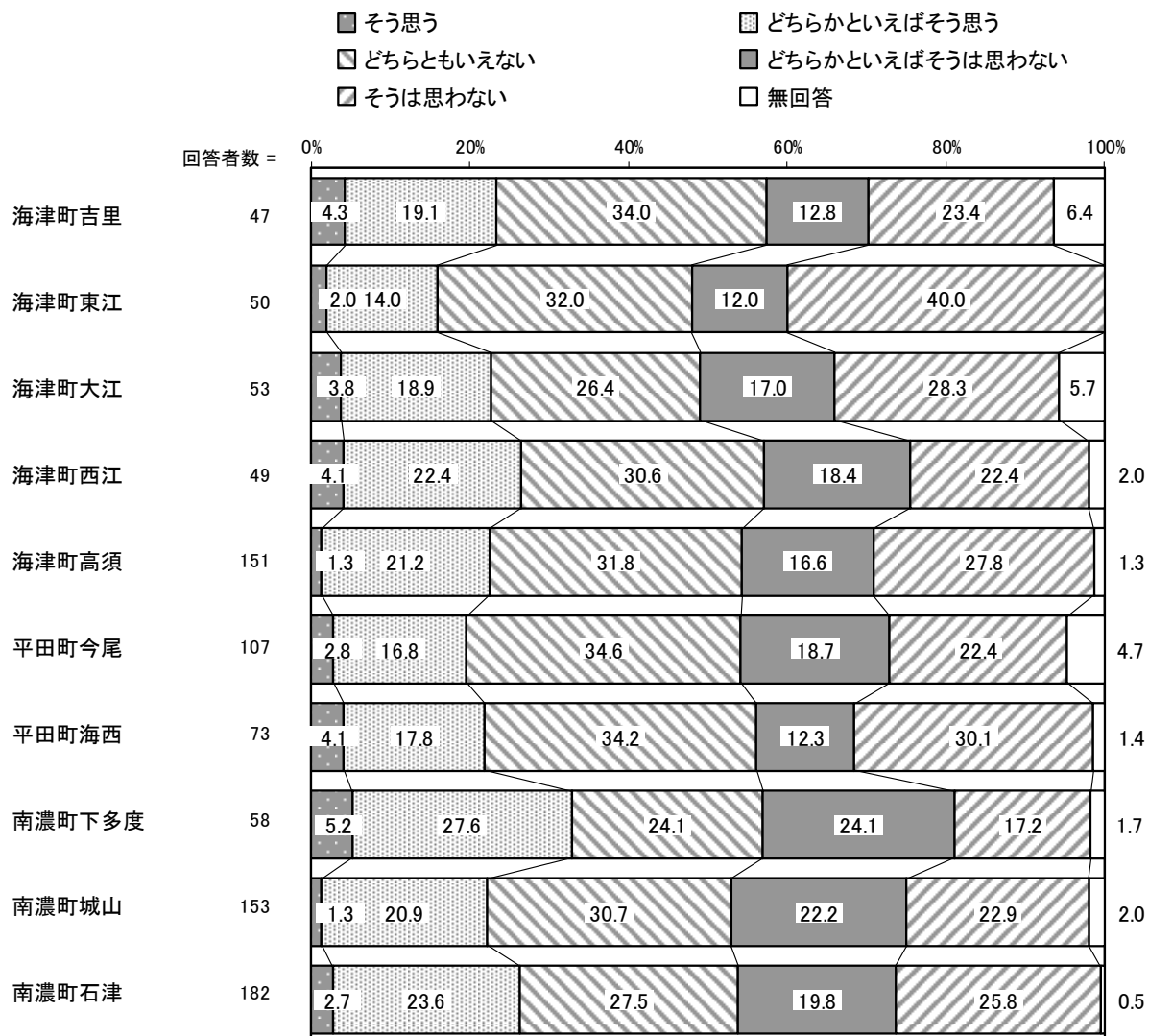


「男は仕事、女は家庭」という考え方について（年齢別）

- そう思う
- ▨ どちらかといえばそう思う
- ▤ どちらともいえない
- どちらかといえばそうは思わない
- ▤ そうは思わない
- 無回答



「男は仕事、女は家庭」という考え方について（町別）



問 29 「男性はもっと家庭生活における活動に参画する必要がある」という考え方がありますが、あなたはこの考え方についてどのように思いますか。（○は1つ）

○「どちらかといえばそう思う」の割合が 40.2%と最も高く、次いで「そう思う」の割合が 33.9%、「どちらともいえない」の割合が 18.6%となっています。

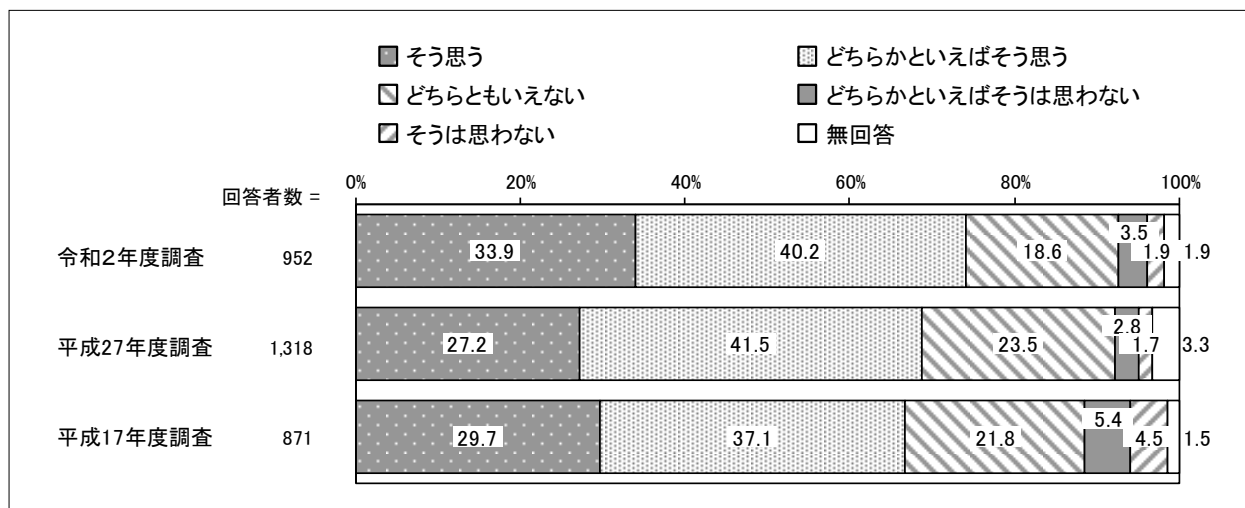
○平成 27 年度調査と比較すると、「そう思う」の割合が増加しています。

○平成 17 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

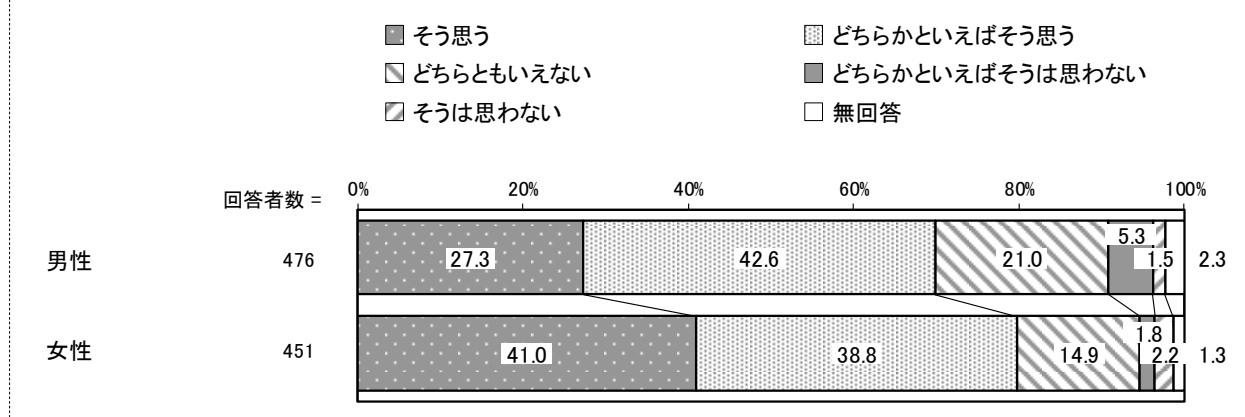
○性別でみると、男性と女性で「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、20～24 歳で「そう思う」の割合が高くなっています。

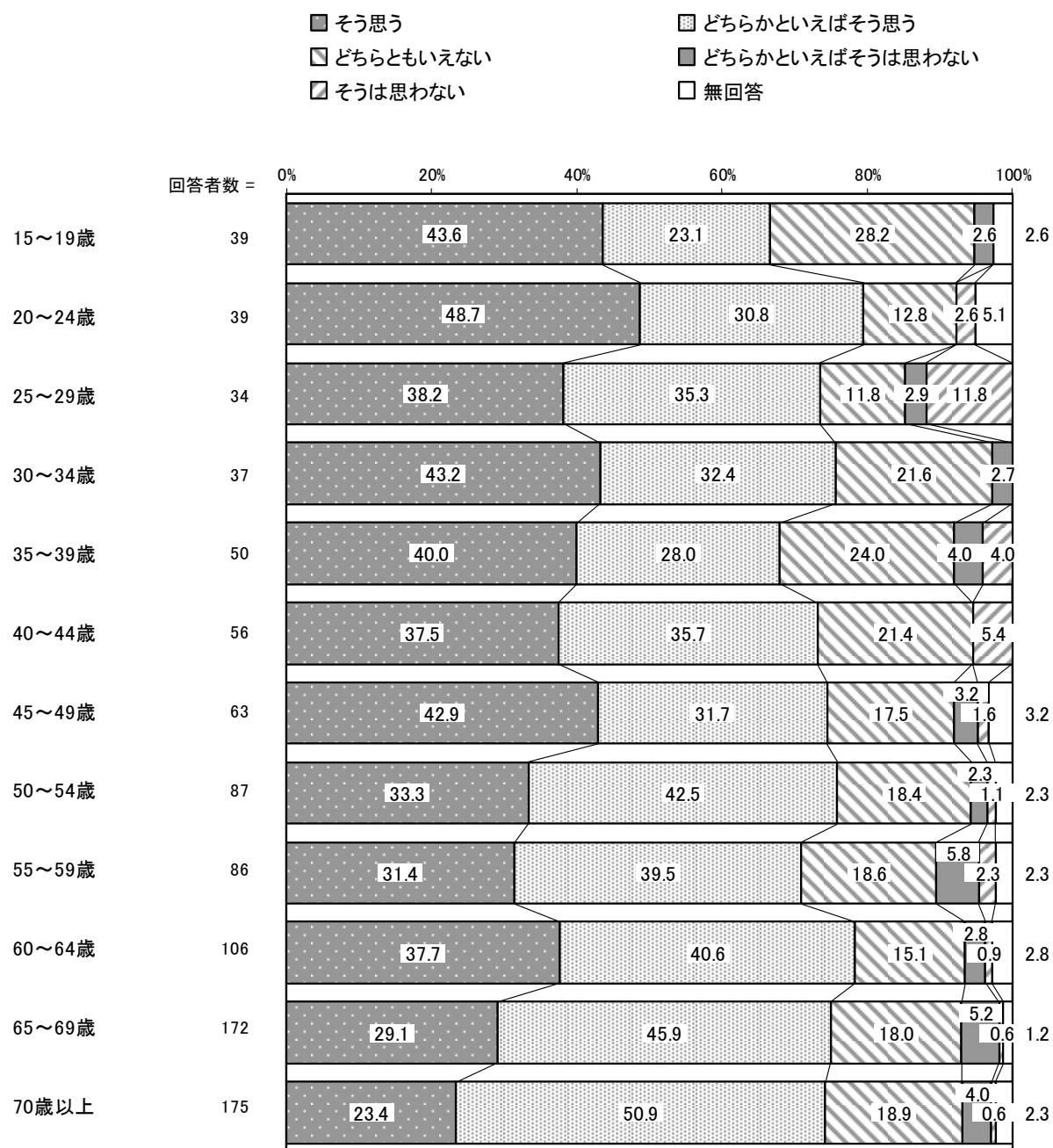
○町別でみると、他に比べ、南濃町城山、海津町大江、海津町大江で「どちらかといえばそう思う」の割合が高くなっています。



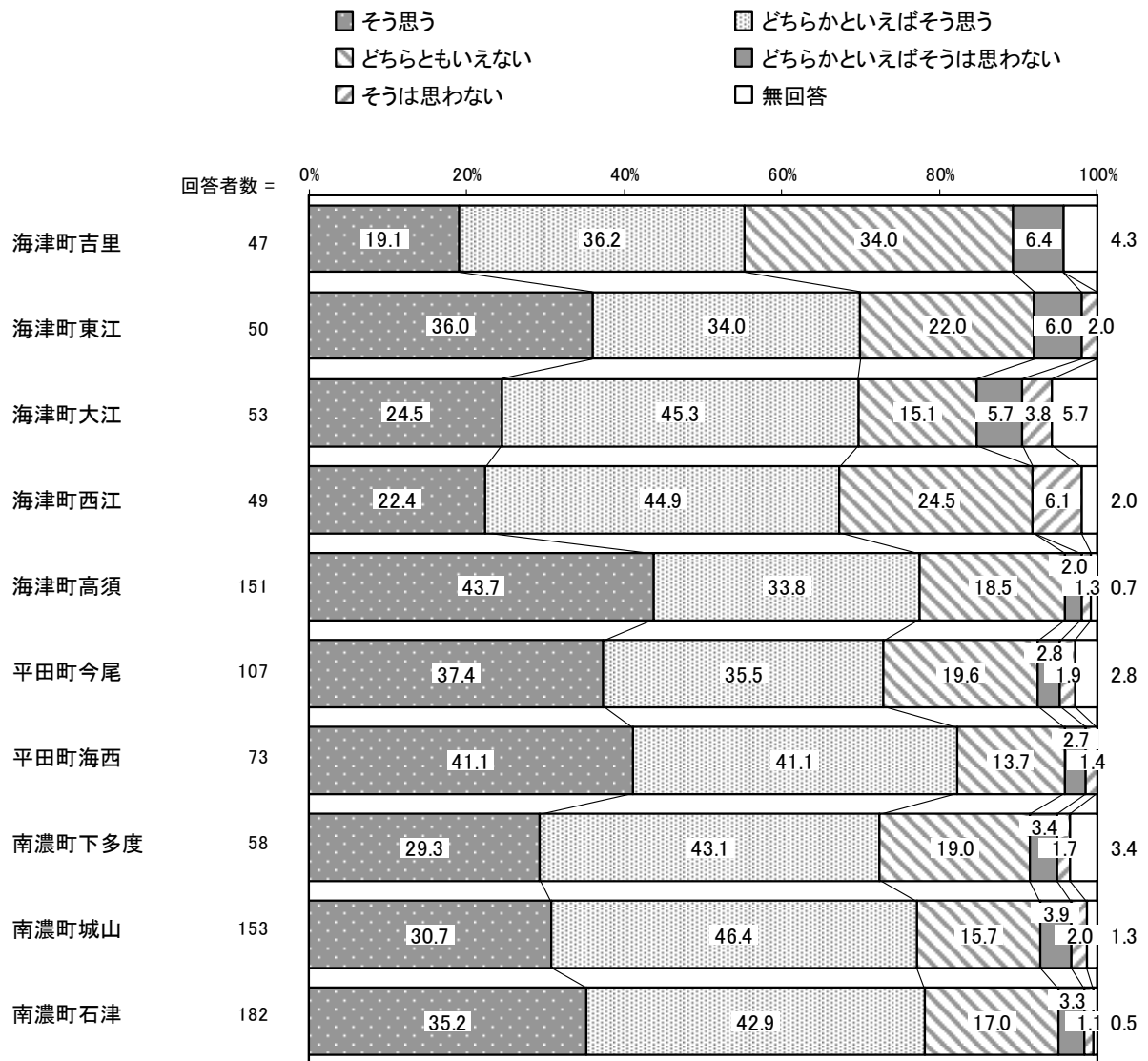
「男性はもっと家庭生活における活動に参画する必要がある」という考え方について（性別）



「男性はもっと家庭生活における活動に参画する必要がある」
という考え方について（年齢別）

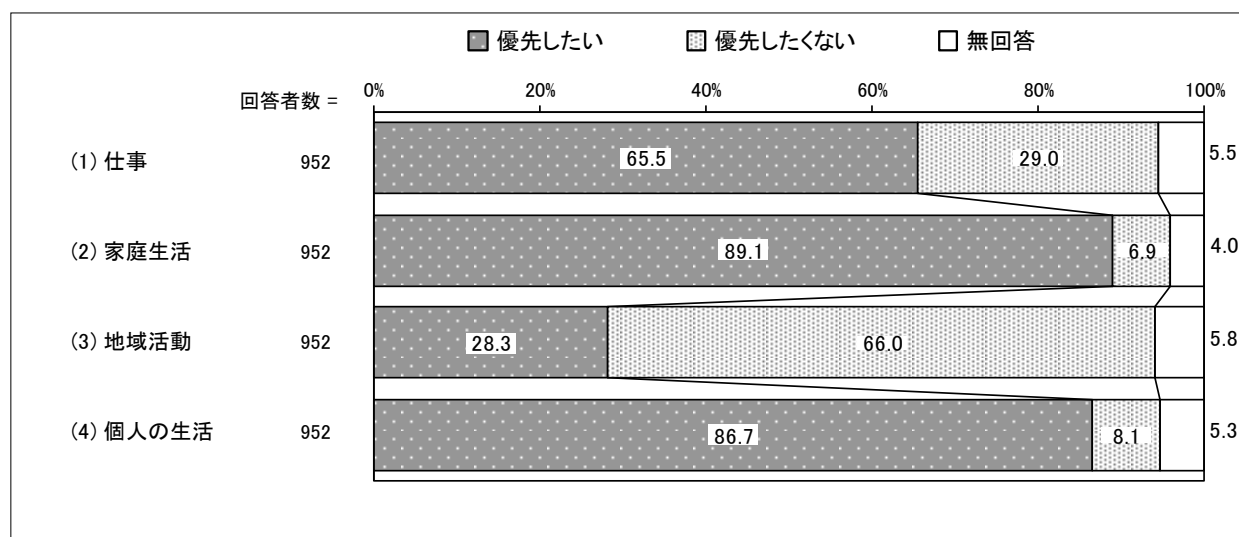


「男性はもっと家庭生活における活動に参画する必要がある」
という考え方について（町別）



問 30 「仕事」「家庭生活」「地域活動」「個人の生活」の優先度についておたずねします。次の中から、あなたの希望に最も近いものを選んでください。なお、現在仕事をしていない方もお答えください（○はそれぞれの各項目に1つずつ）

- 『(2)家庭生活』『(4)個人の生活』で、「優先したい」の割合が高くなっています。性別でみると、女性の方がわずかに「優先したい」の割合が高くなっていますが、大きな差はみられません。家庭や自身の生活を優先したい人が多くなっていますが、年齢が高くなるにつれて、その割合は減少傾向にあります。
- 『(3)地域活動』では「優先したくない」の割合が高く、地域活動に積極的でない姿がうかがえます。



(1) 仕事

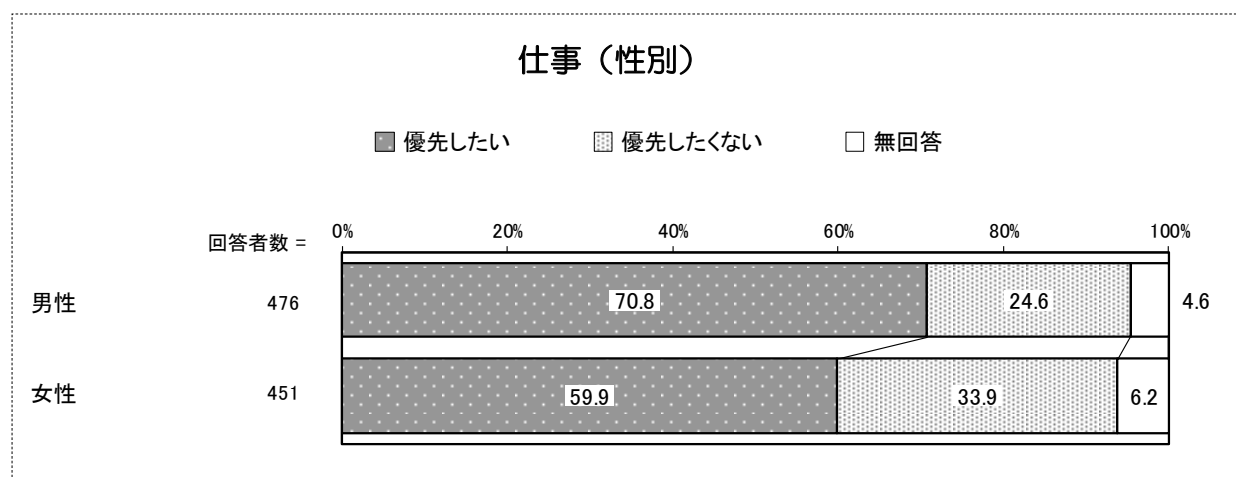
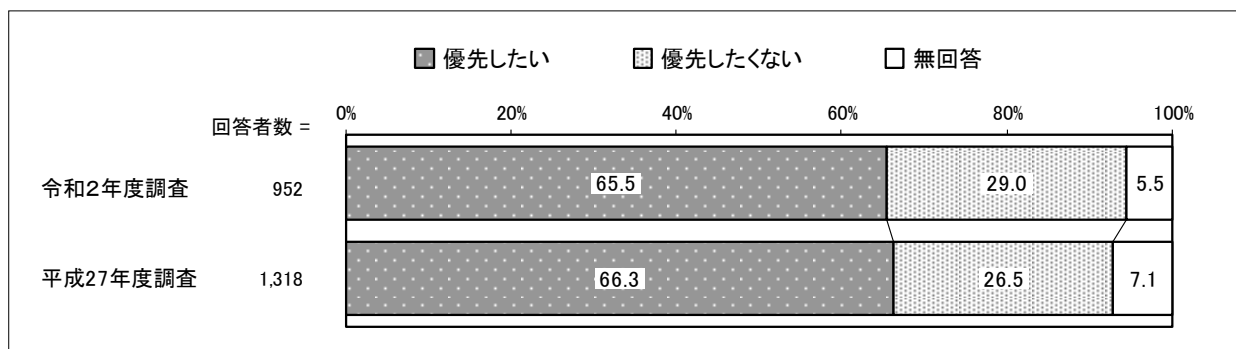
○「優先したい」の割合が65.5%、「優先したくない」の割合が29.0%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性で「優先したい」の割合が、女性で「言葉ぐらいいは知っている」の割合が高くなっています。

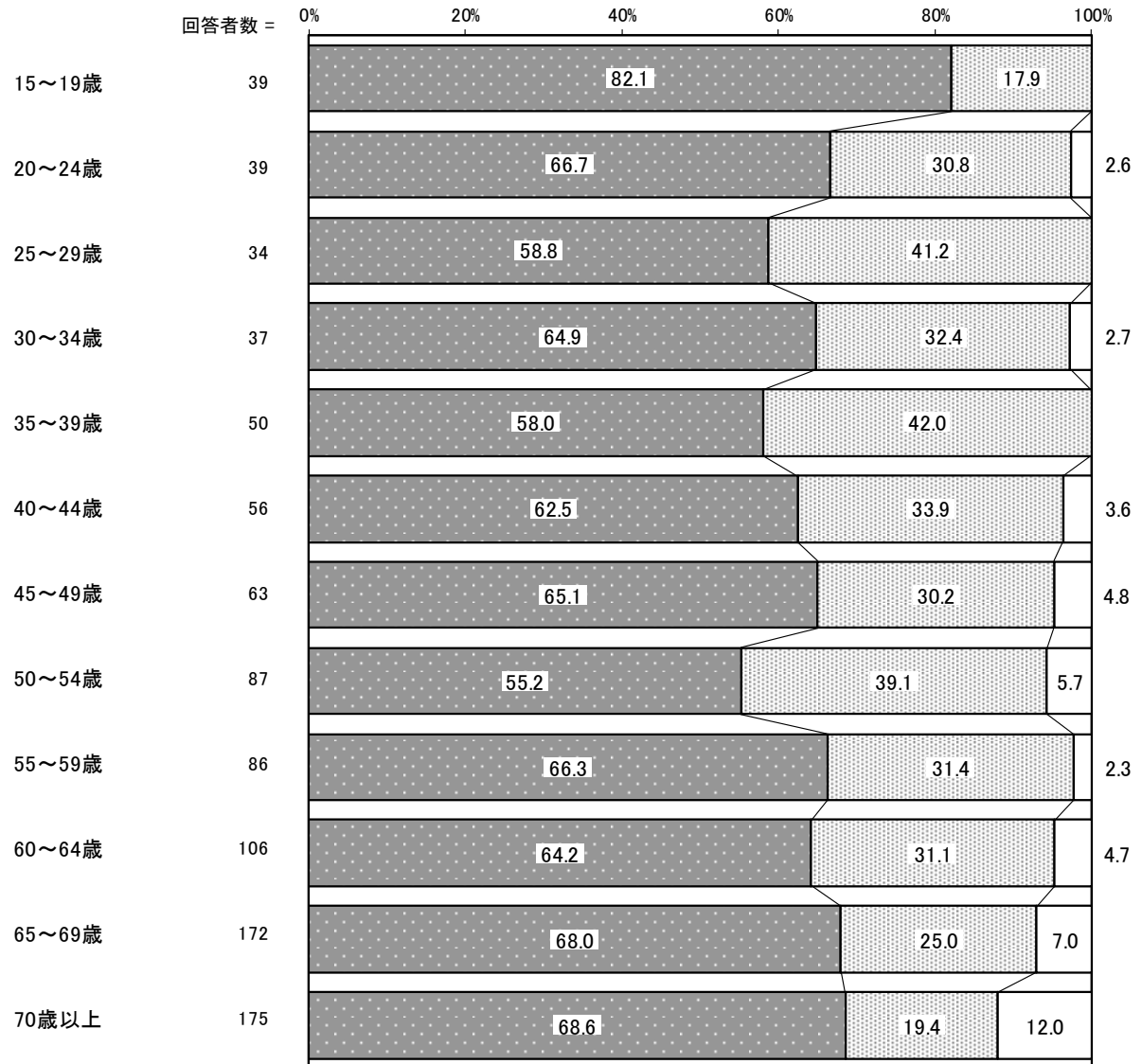
○年齢別でみると、他に比べ、15～19歳で「優先したい」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町東江で「優先したい」の割合が高くなっています。



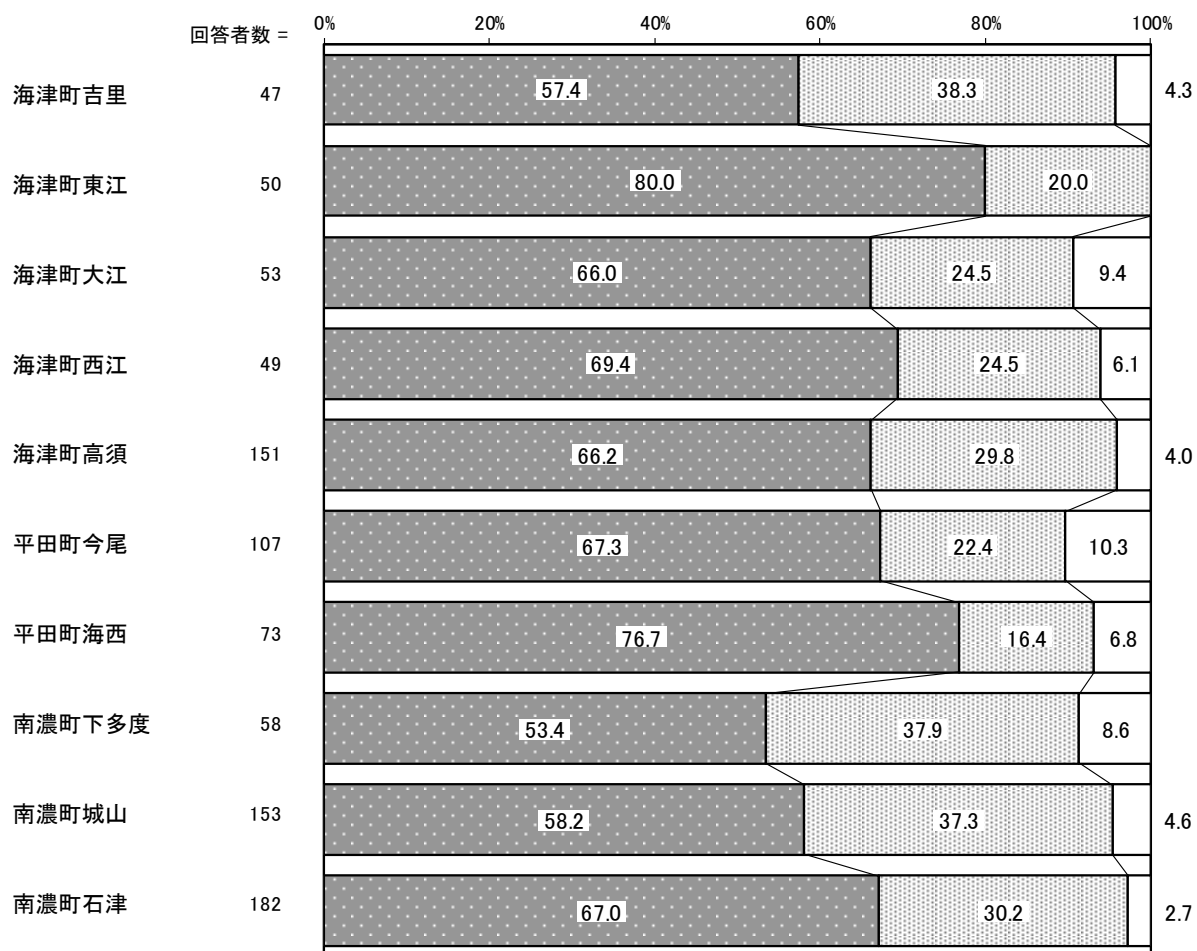
仕事（年齢別）

■ 優先したい ▨ 優先したくない □ 無回答



仕事（町別）

■ 優先したい ■ 優先したくない □ 無回答



(2) 家庭生活

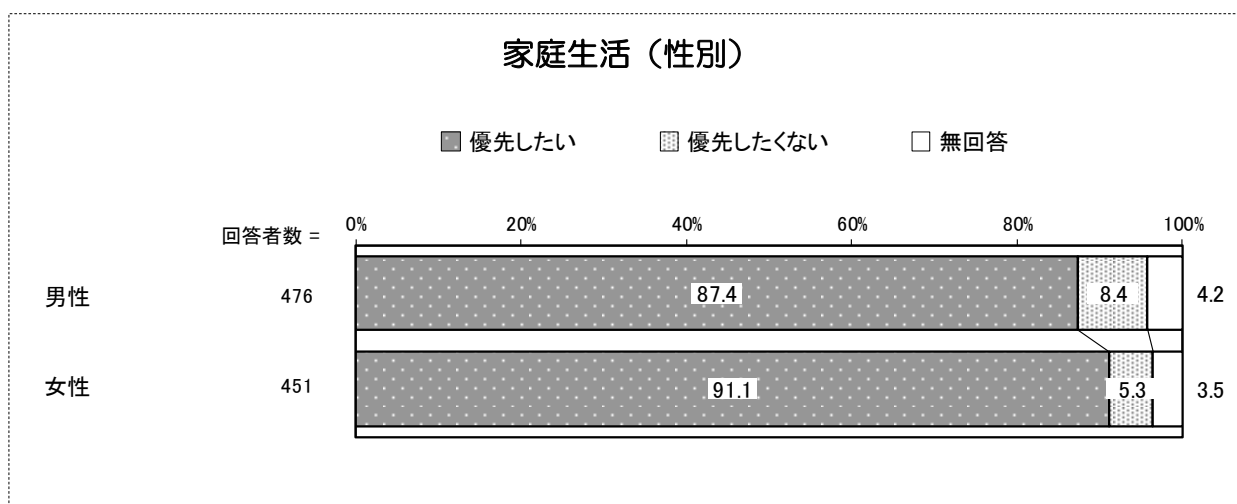
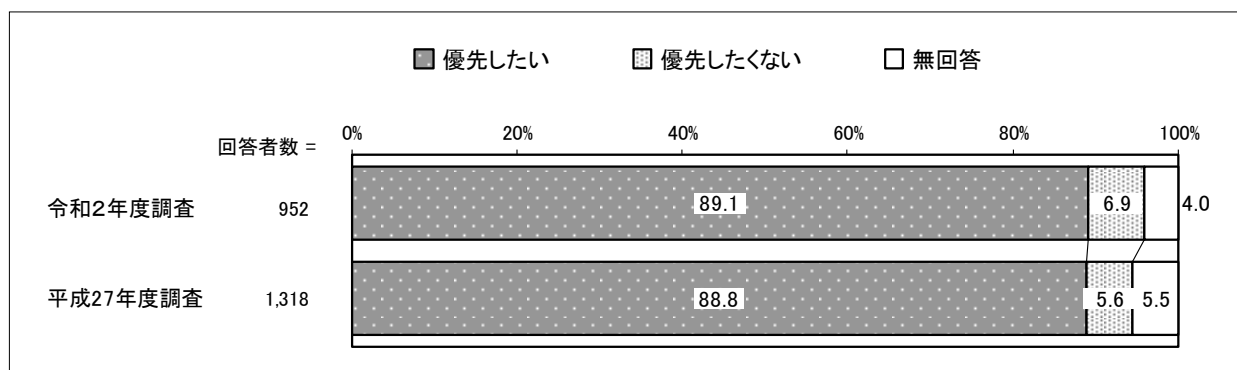
○「優先したい」の割合が89.1%、「優先したくない」の割合が6.9%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

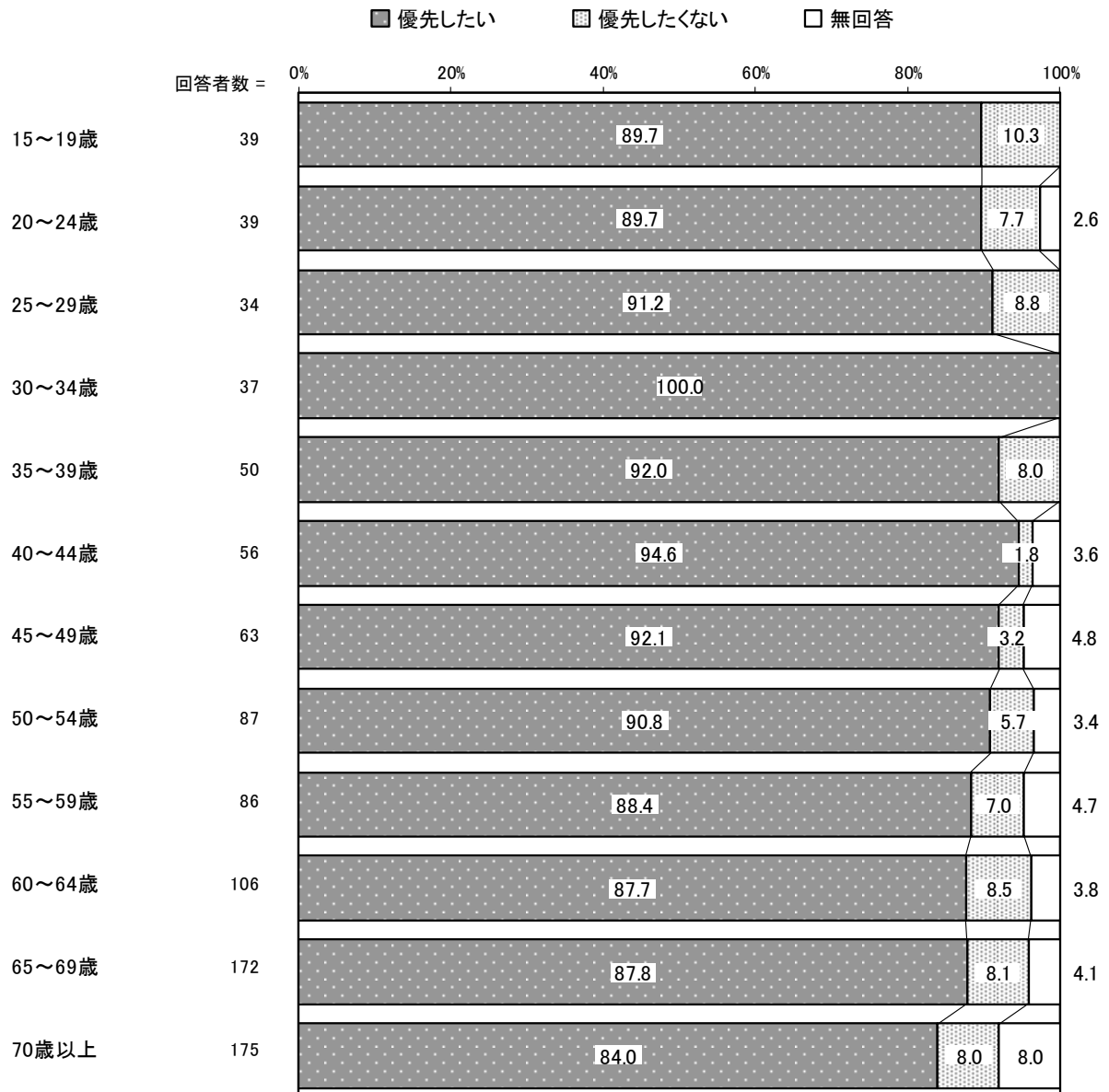
○性別でみると、男性と女性で「優先したい」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、30～34歳で「優先したい」の割合が高くなっています。

○町別でみると、全体的に「優先したい」の割合が高くなっています。

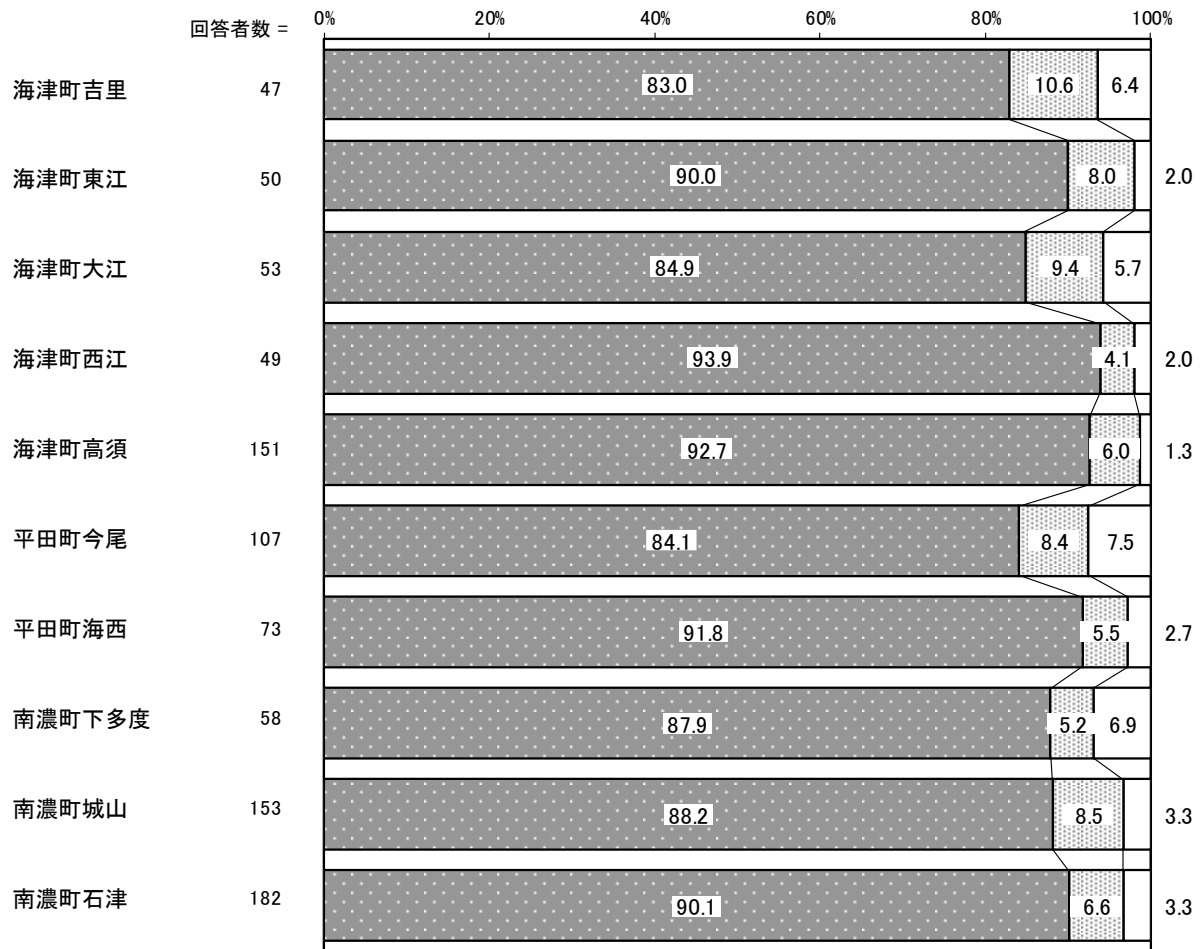


家庭生活（年齢別）



家庭生活（町別）

■ 優先したい ▨ 優先したくない □ 無回答



(3) 地域活動

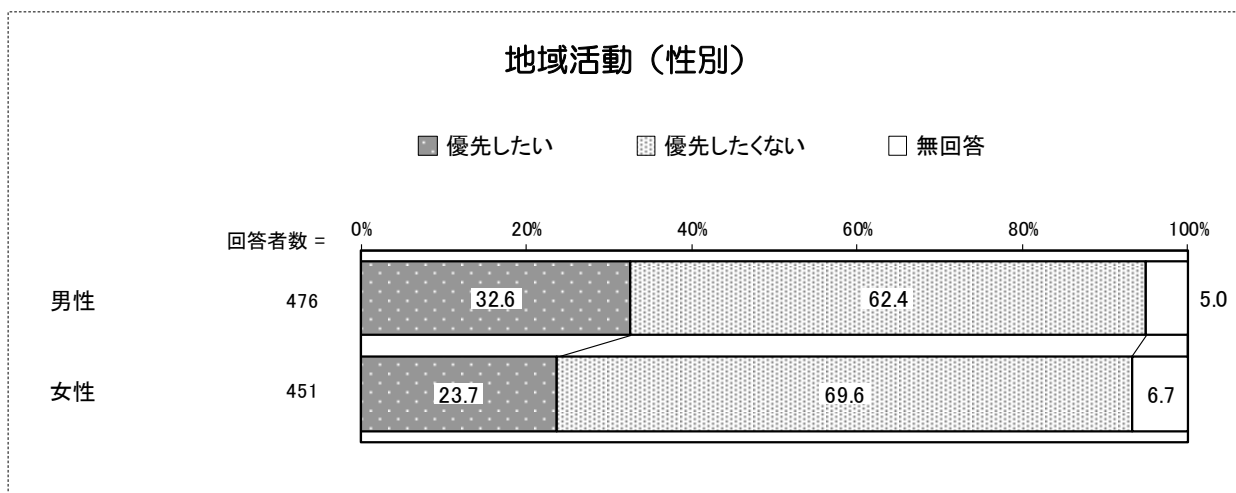
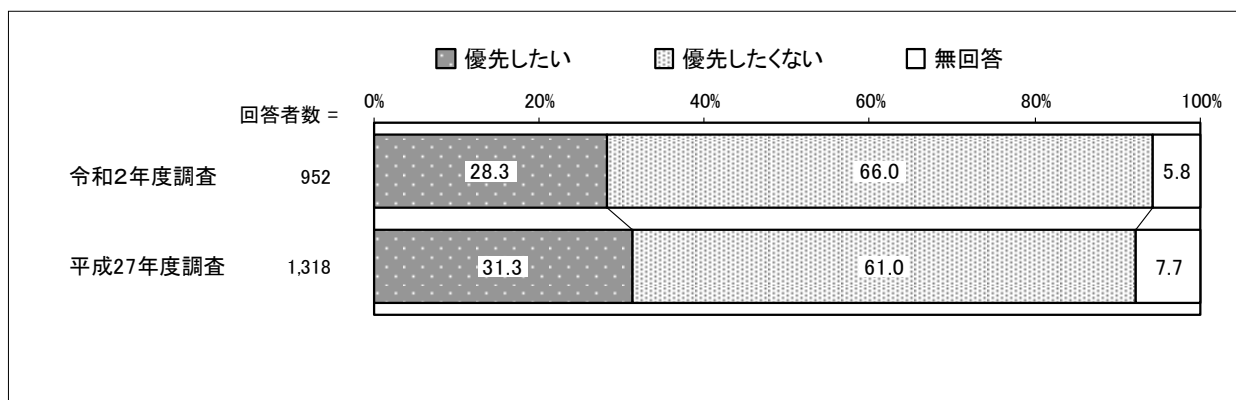
○「優先したい」の割合が28.3%、「優先したくない」の割合が66.0%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

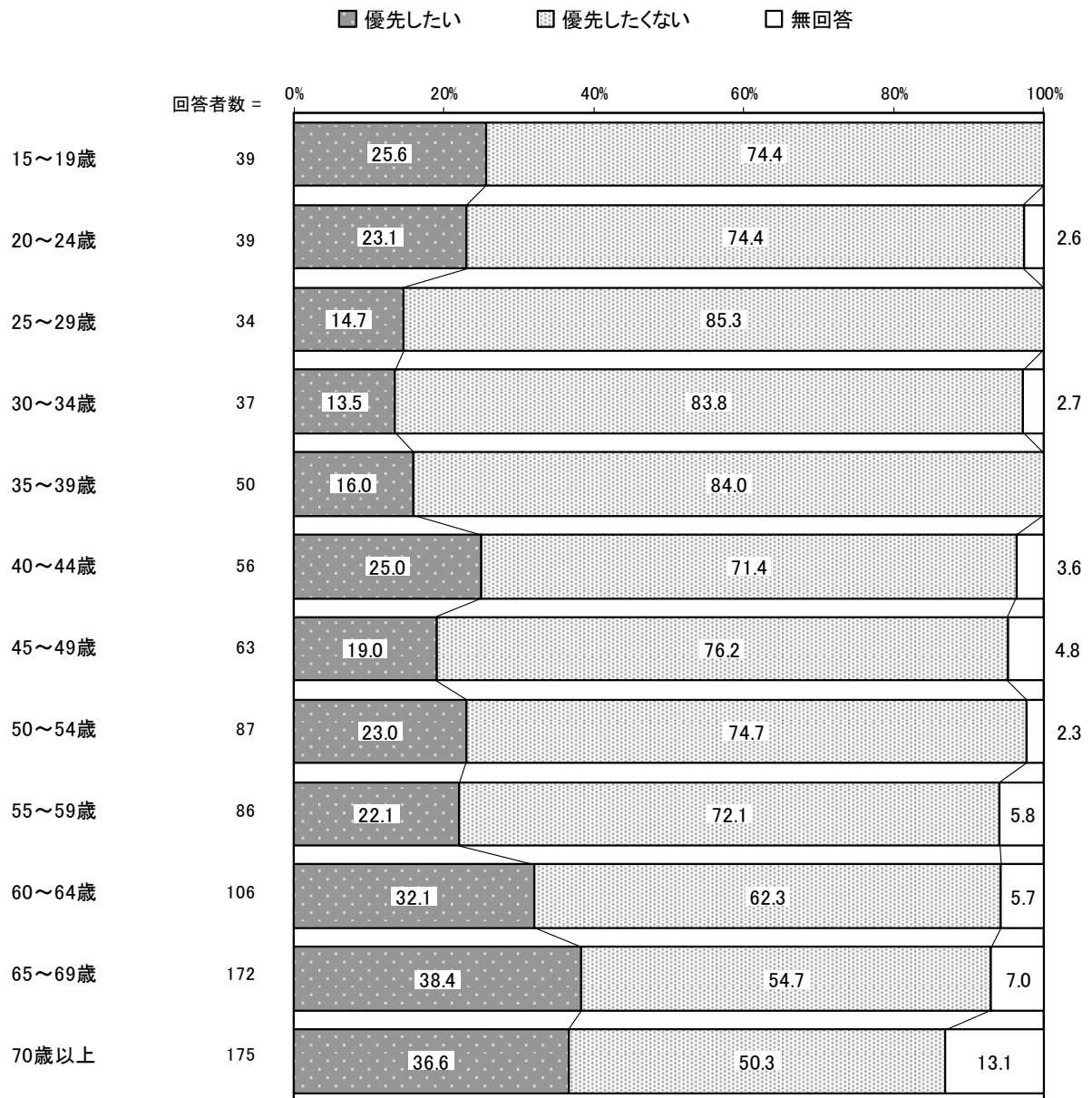
○性別でみると、男性と女性で「優先したくない」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、25～29歳、35～39歳、30～34歳で「優先したくない」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町吉里で「優先したくない」の割合が高くなっています。

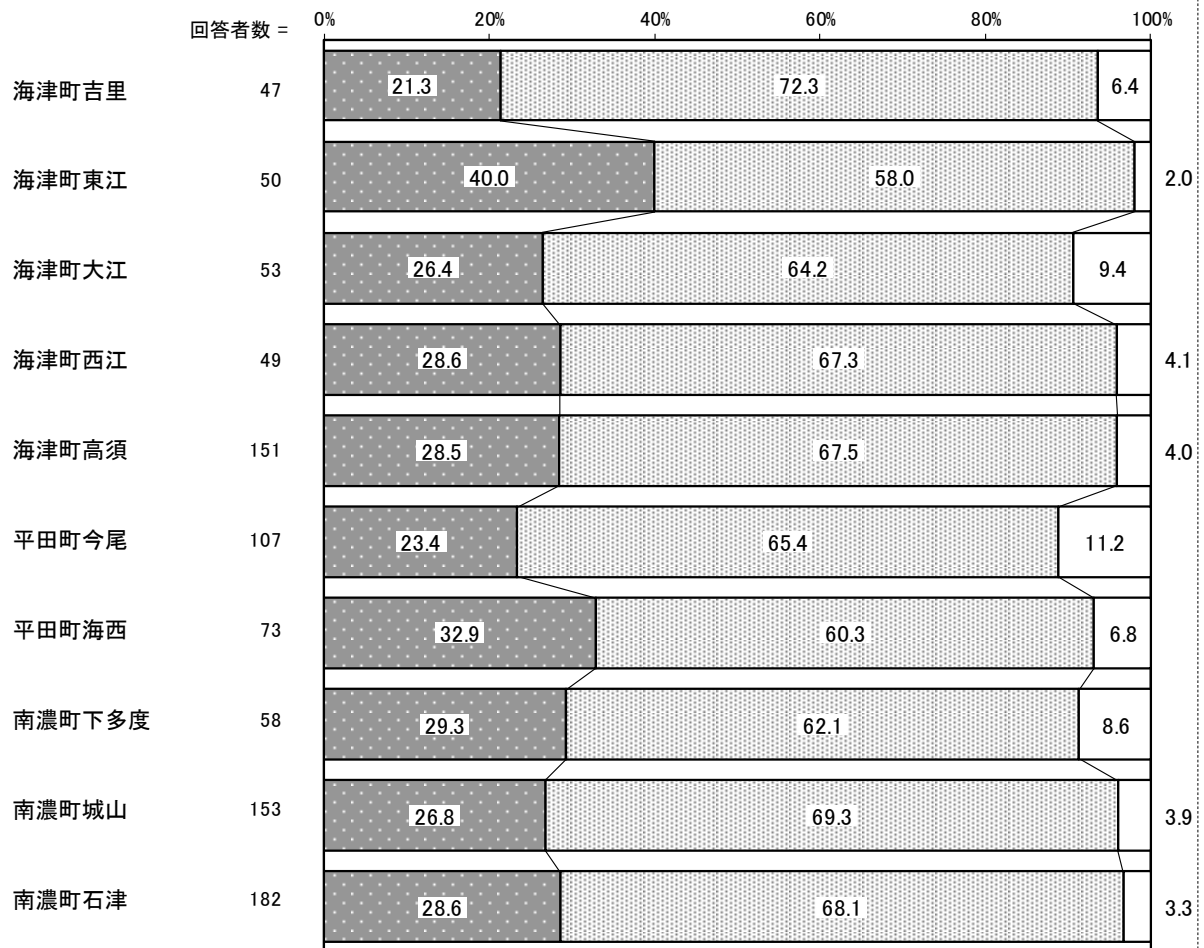


地域活動（年齢別）



地域活動（町別）

■ 優先したい ▨ 優先したくない □ 無回答



(4) 個人の生活

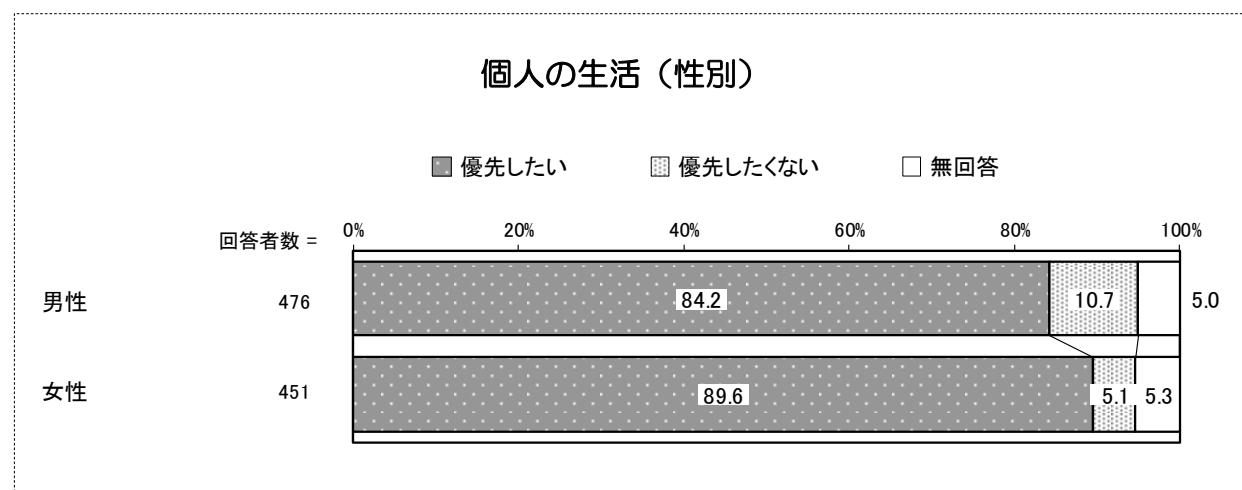
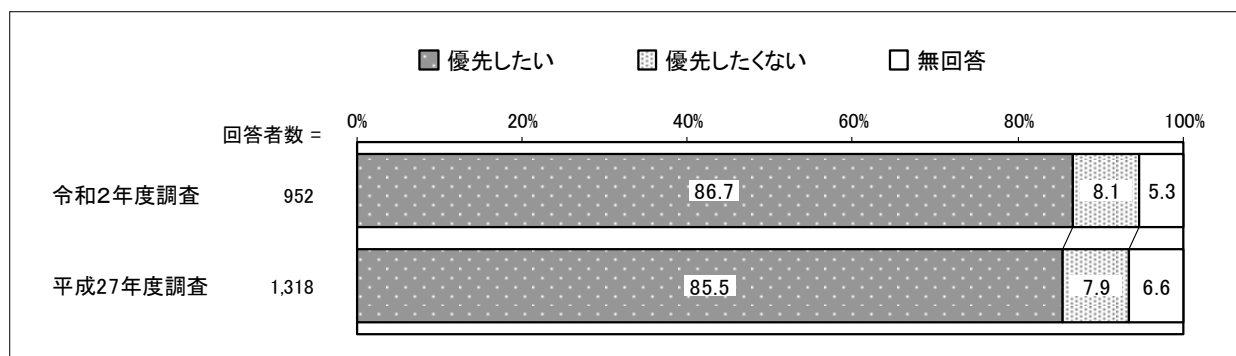
○「優先したい」の割合が86.7%、「優先したくない」の割合が8.1%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性と女性で「優先したい」の割合が高くなっています。

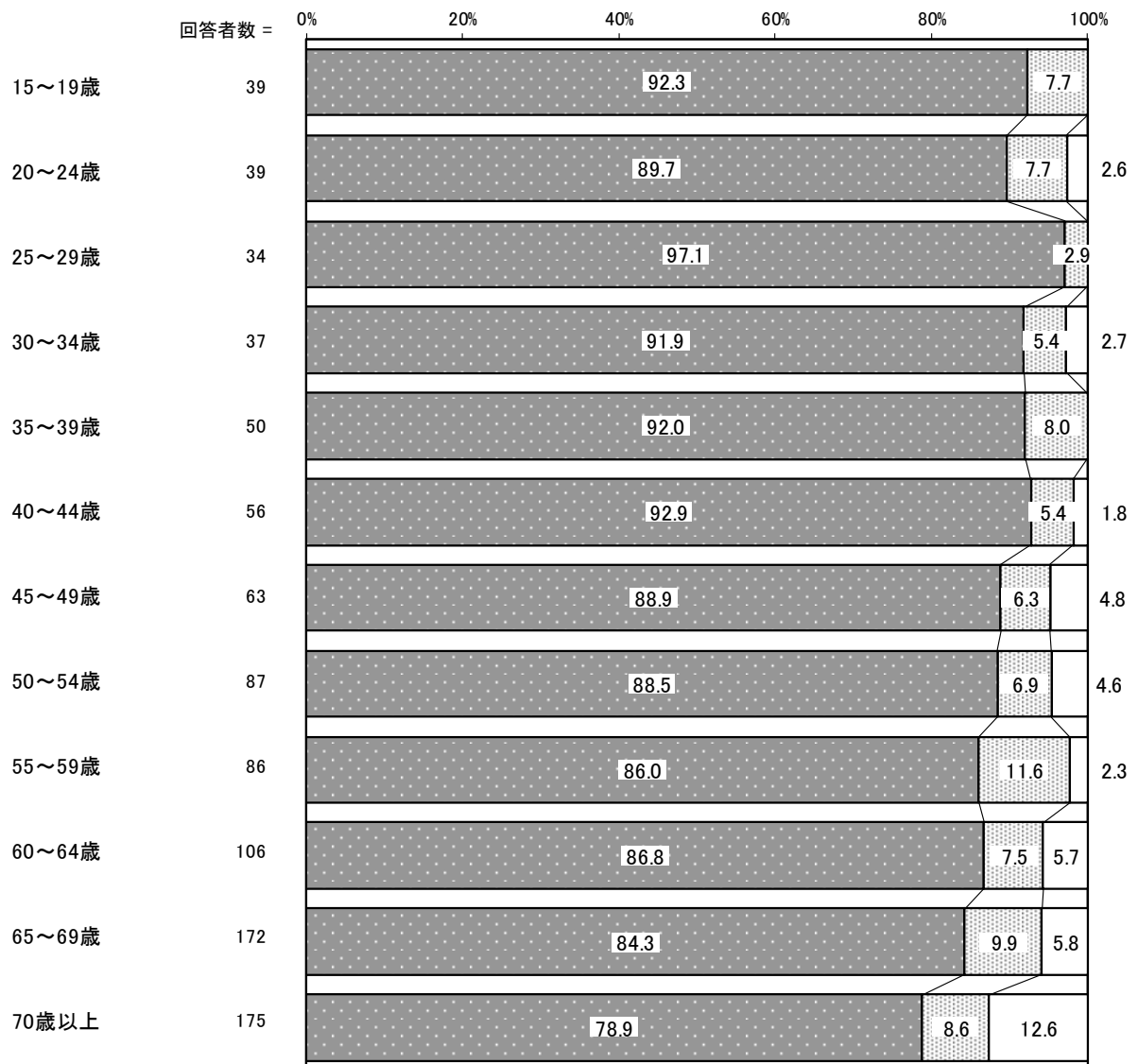
○年齢別でみると、全体的に「優先したい」の割合が高くなっています。

○町別でみると、全体的に「優先したい」の割合が高くなっています。



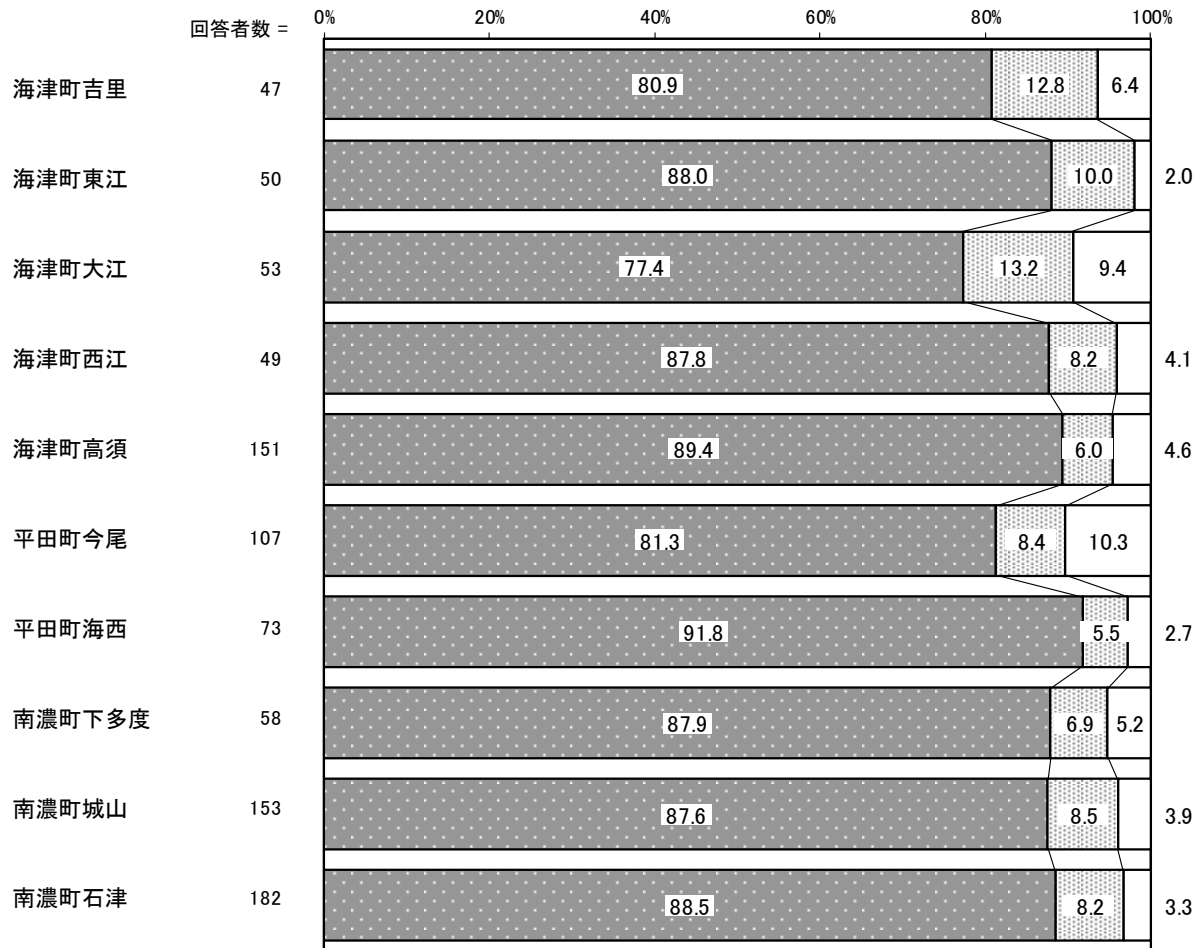
個人の生活（年齢別）

■ 優先したい ▨ 優先したくない □ 無回答



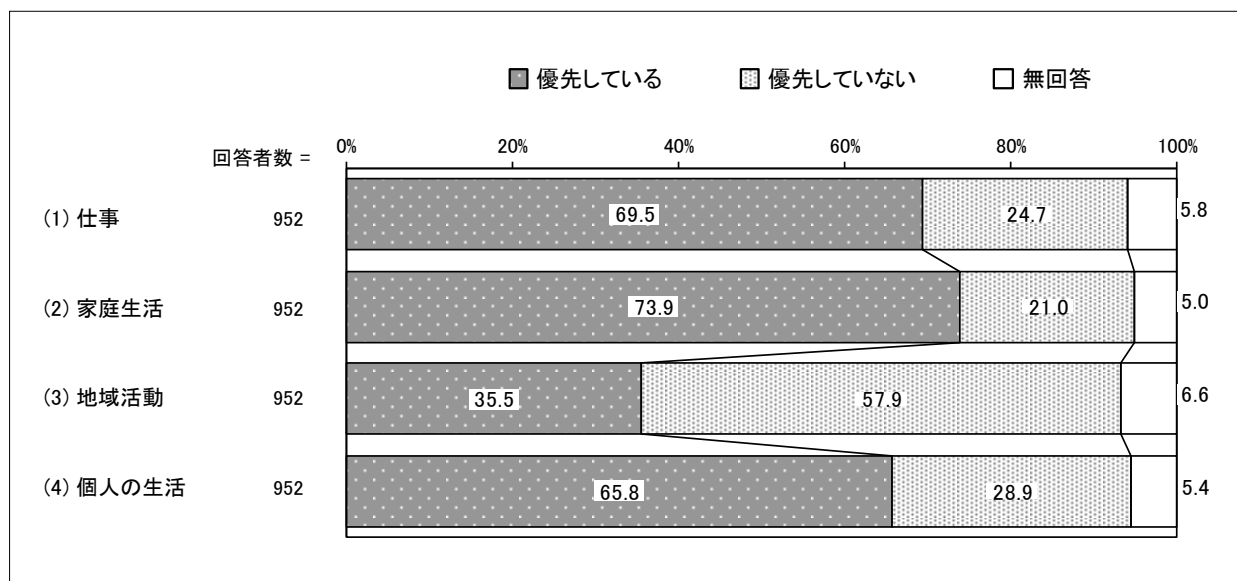
個人の生活（町別）

■ 優先したい ▨ 優先したくない □ 無回答



問 31 前問の考え方に対して、次の中から、あなたの現実（現状）に最も近いものを選んでください。（○はそれぞれの各項目に1つずつ）

- 『(1)仕事』『(2)家庭生活』『(4)個人の生活』で、「優先している」の割合が高くなっています。また、『(3)地域活動』で「優先したくない」の割合が高くなっています。
- 『(2)家庭生活』では、希望をきいたときは、性別で大きな差はみられませんでした。が、現実には、女性に比べ、男性で「優先している」の割合が低くなっています。男性は、家庭生活に比べ、仕事を優先していることがうかがえます。
- 『(4)個人の生活』は、すべての性別、すべての年齢で「優先している」の割合が高く、社会とのつながりが希薄になっている現実が浮かび上がります。



(1) 仕事

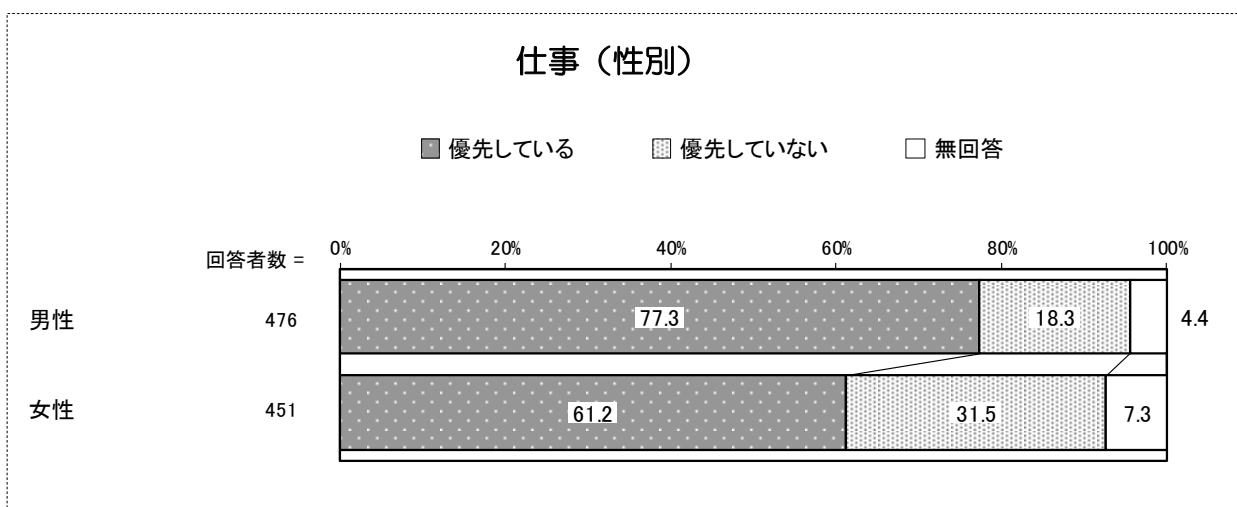
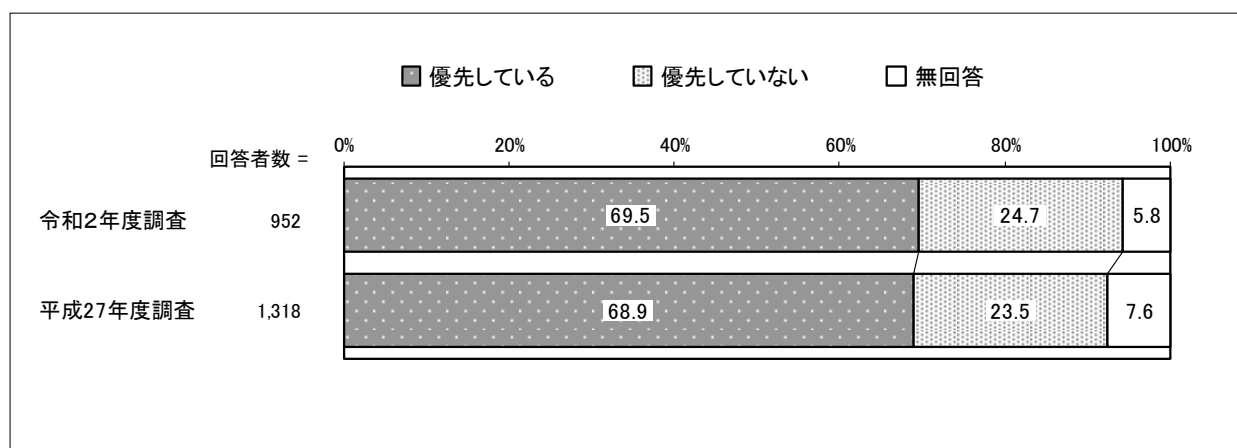
○「優先している」の割合が69.5%、「優先していない」の割合が24.7%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性と女性で「優先している」の割合が高くなっています。

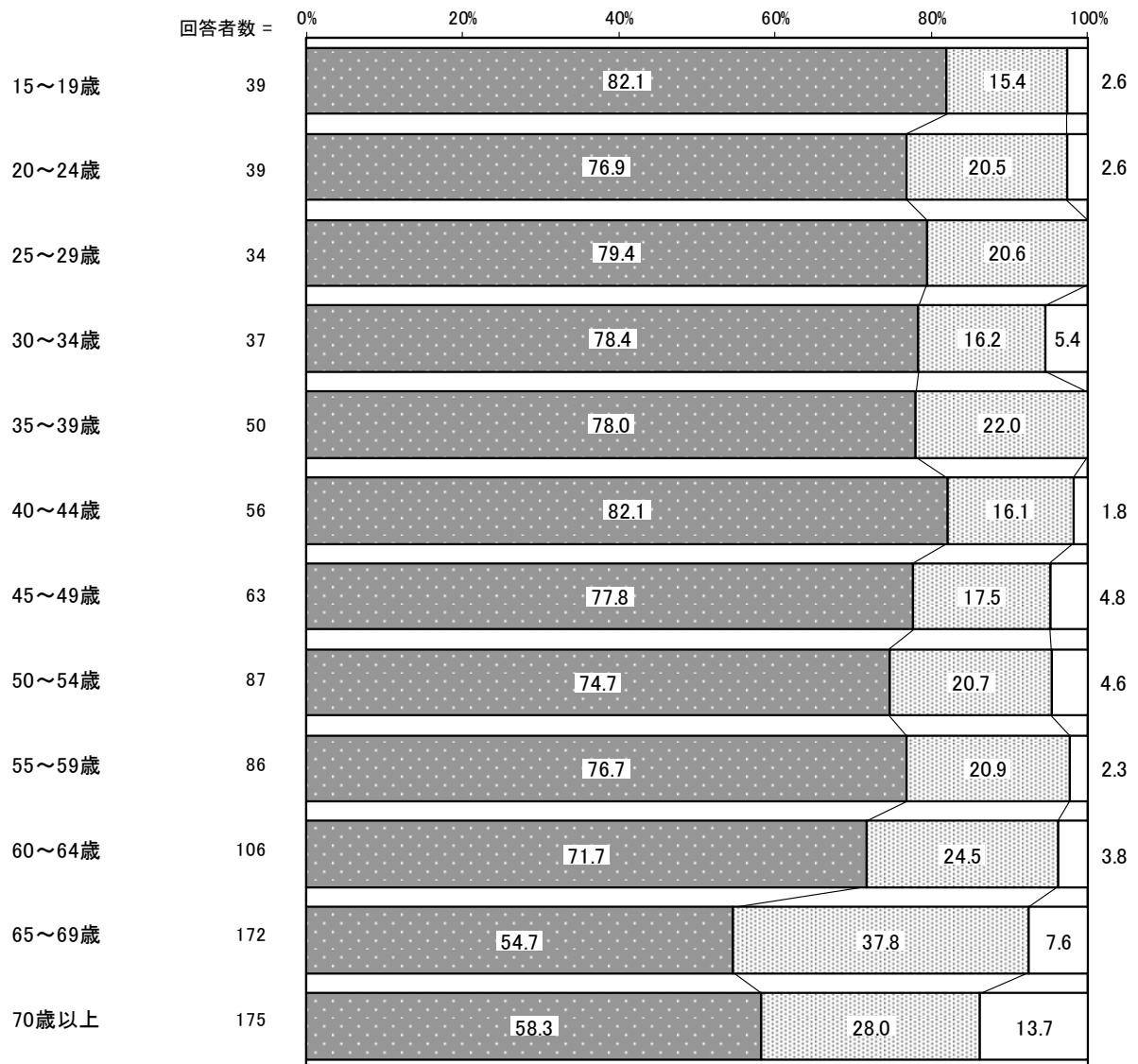
○年齢別でみると、他に比べ、15～19歳、40～44歳で「優先している」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町西江で「優先している」の割合が高くなっています。

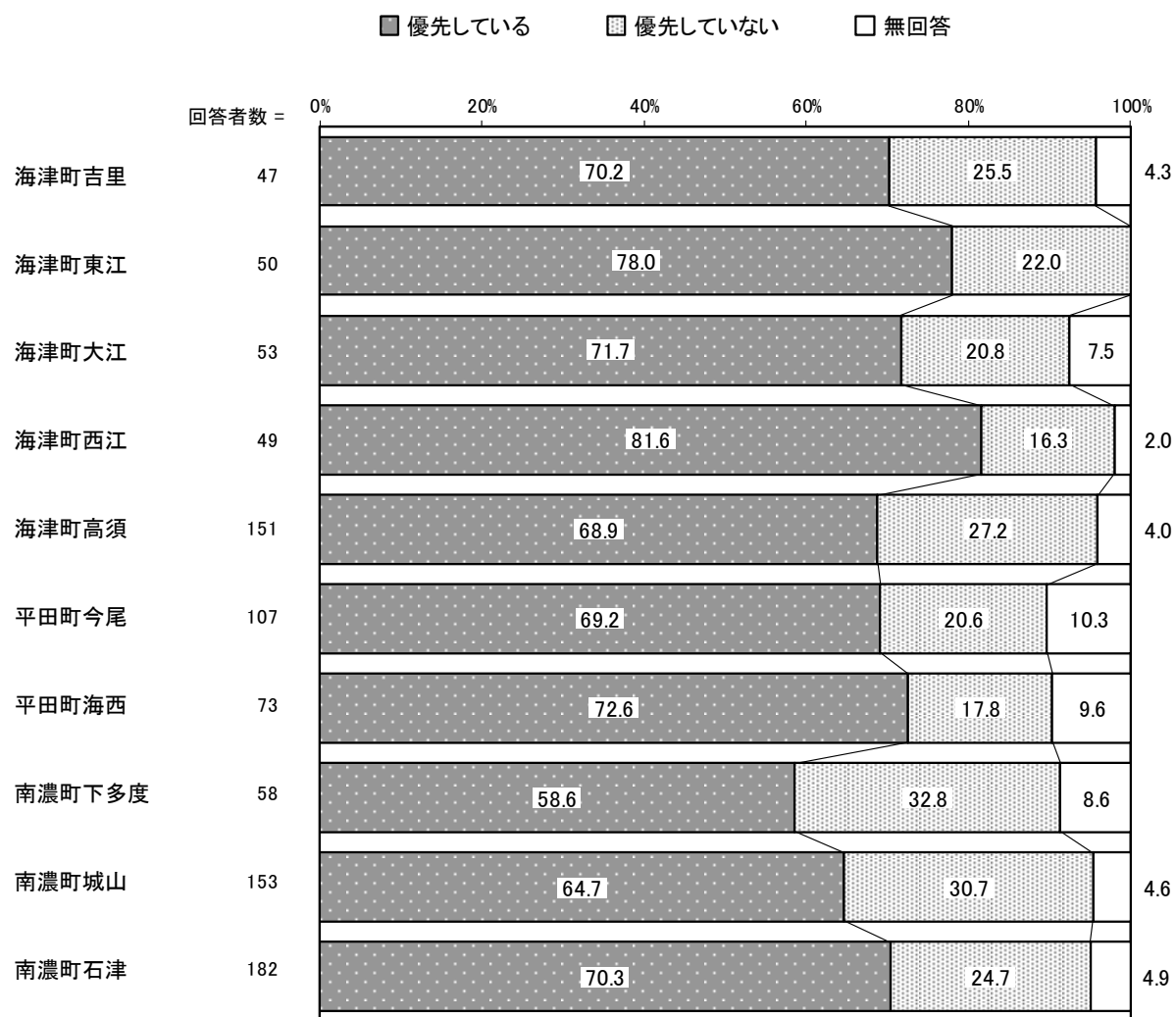


仕事（年齢別）

■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



仕事（町別）



(2) 家庭生活

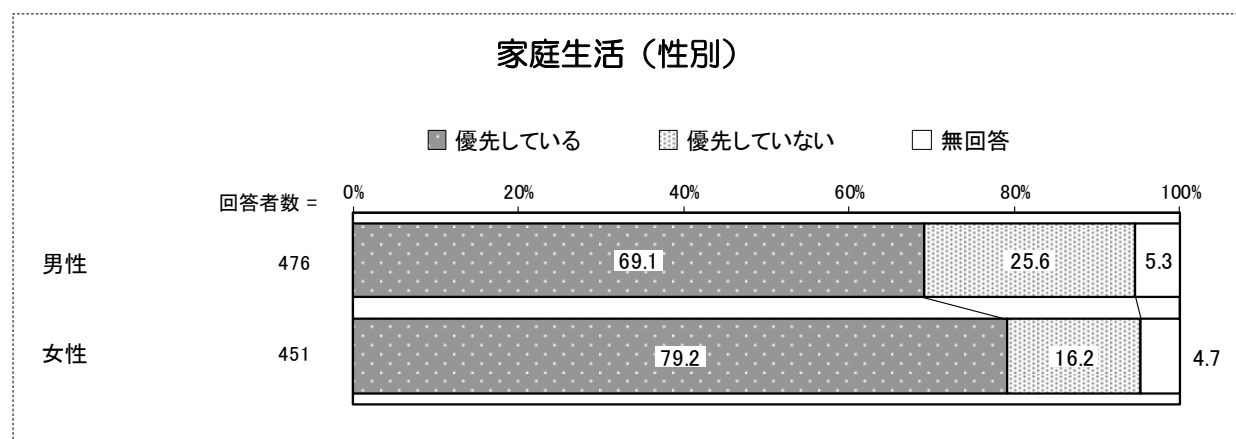
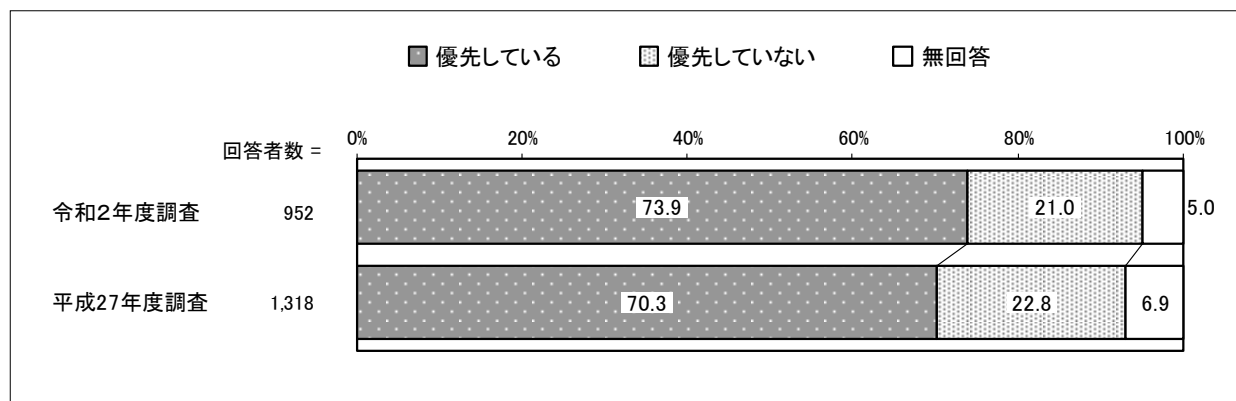
○「優先している」の割合が73.9%、「優先していない」の割合が21.0%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性と女性で「優先している」の割合が高くなっています。

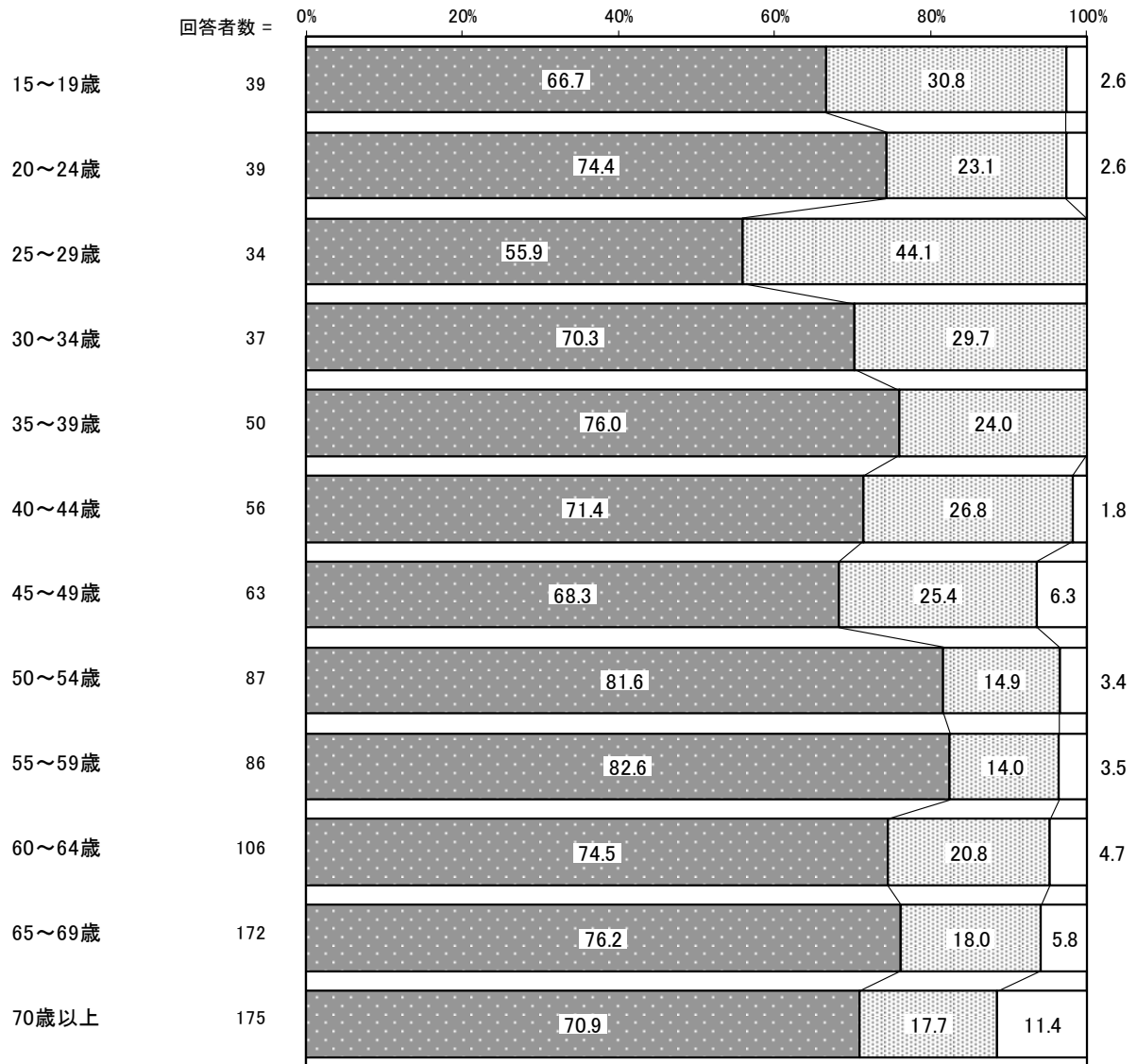
○年齢別でみると、他に比べ、55～59歳、50～54歳で「優先している」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町東江、海津町西江で「優先している」の割合が高くなっています。



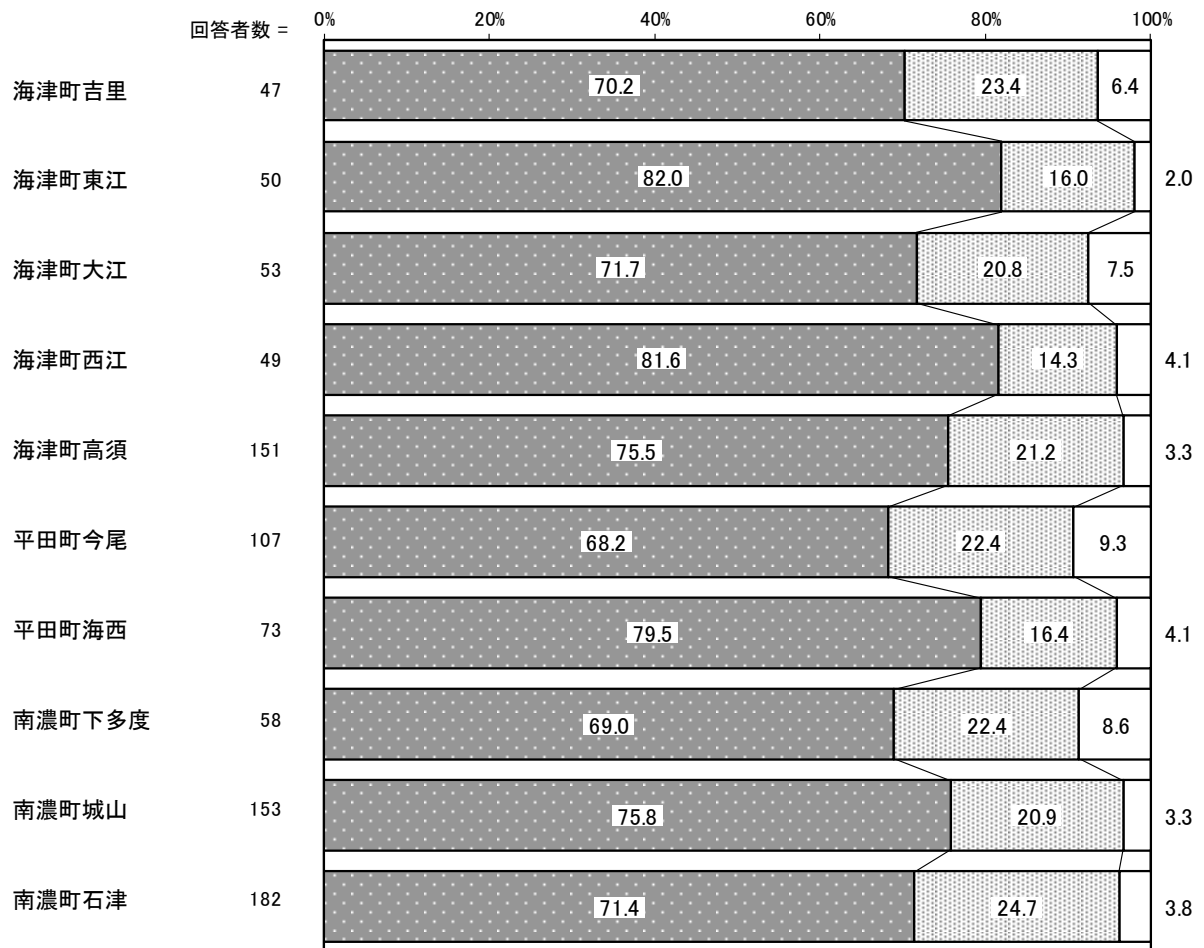
家庭生活（年齢別）

■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



家庭生活（町別）

■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



(3) 地域活動

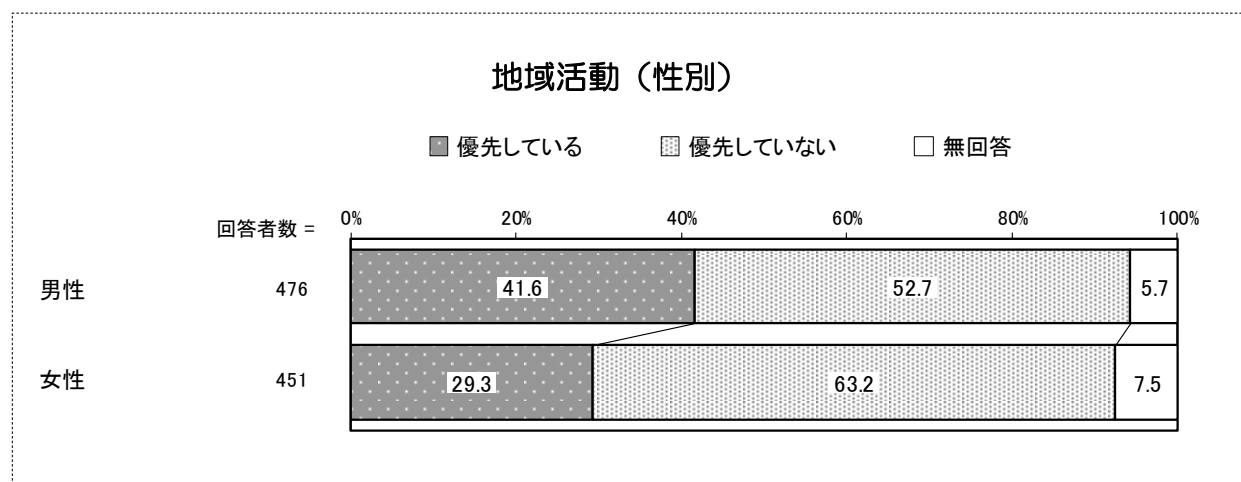
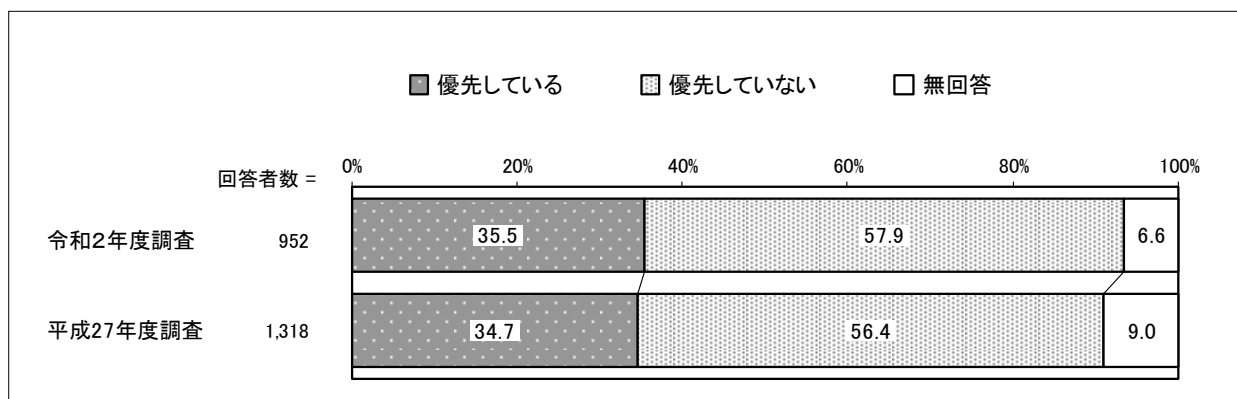
○「優先している」の割合が35.5%、「優先していない」の割合が57.9%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性と女性で「優先していない」の割合が高くなっています。

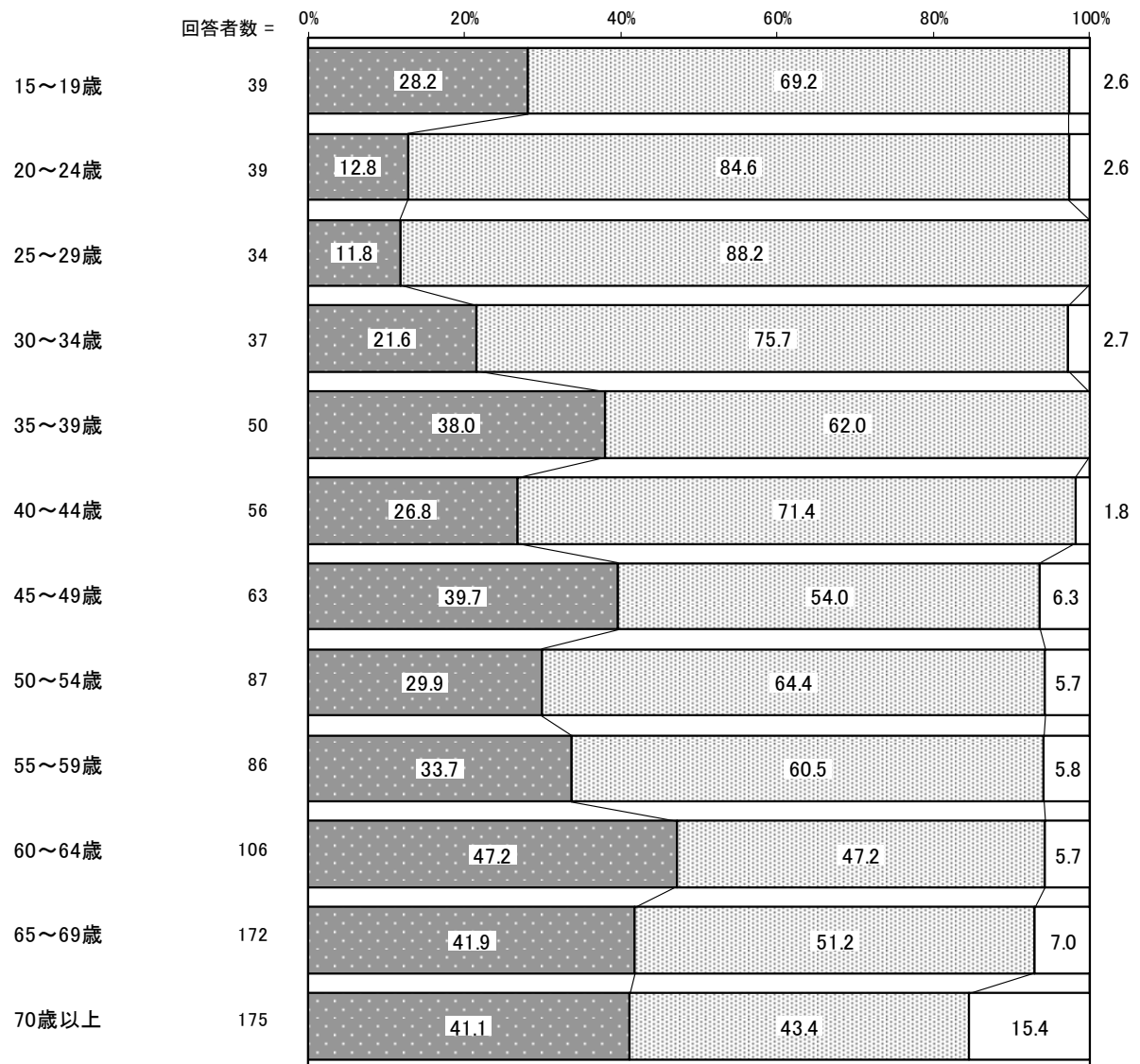
○年齢別でみると、他に比べ、25～29歳、20～24歳で「優先していない」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町石津、海津町高須、南濃町城山、海津町吉里で「優先していない」の割合が高くなっています。



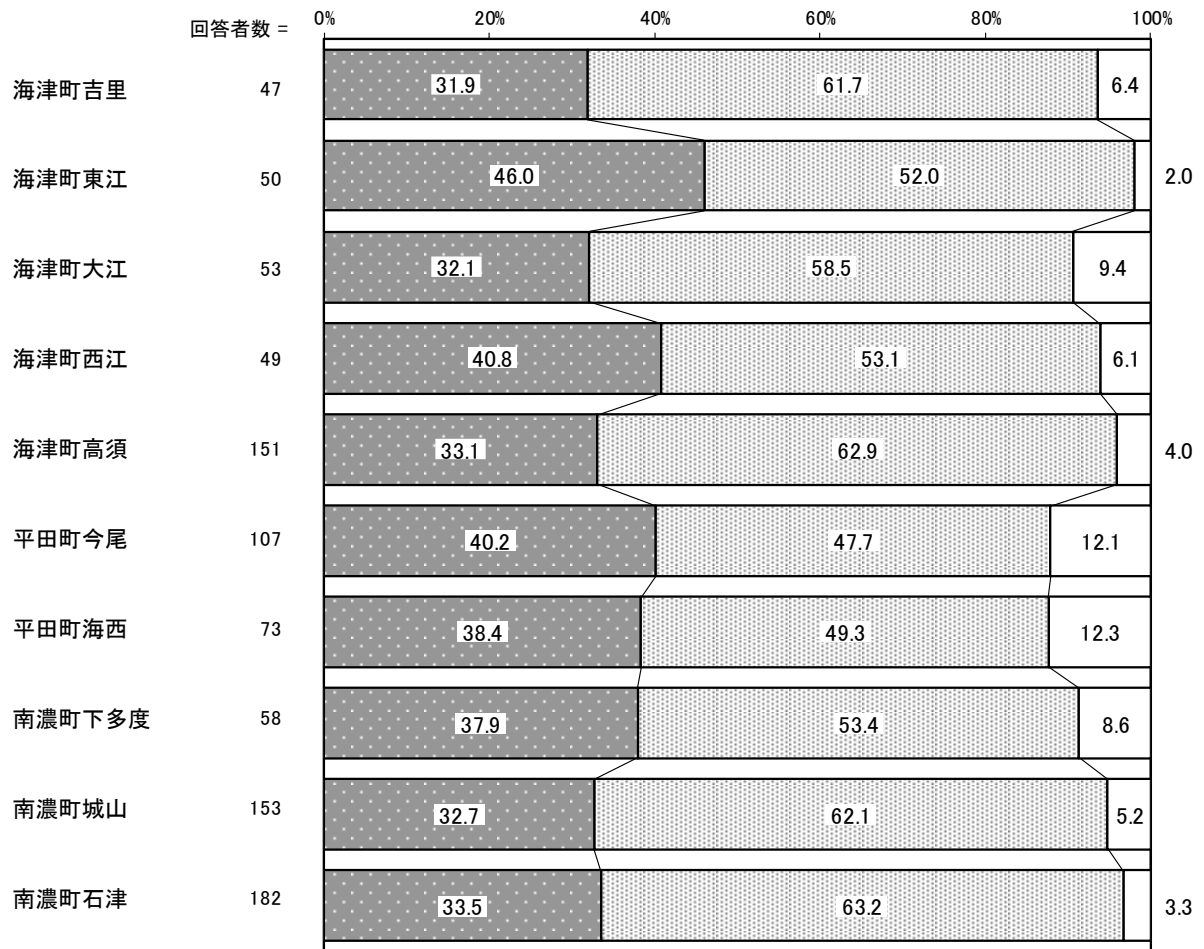
地域活動（年齢別）

■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



地域活動（町別）

■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



(4) 個人の生活

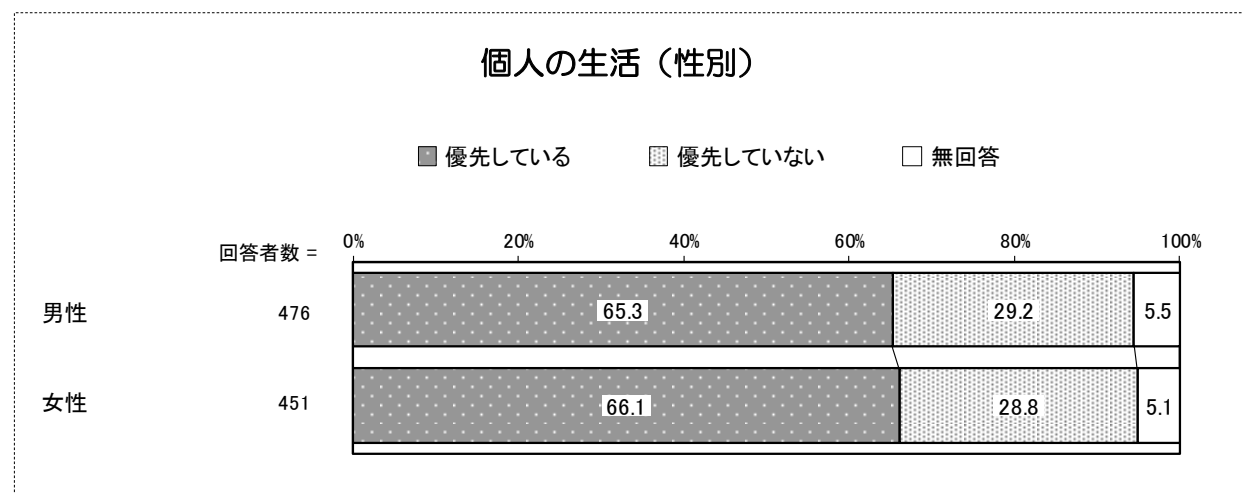
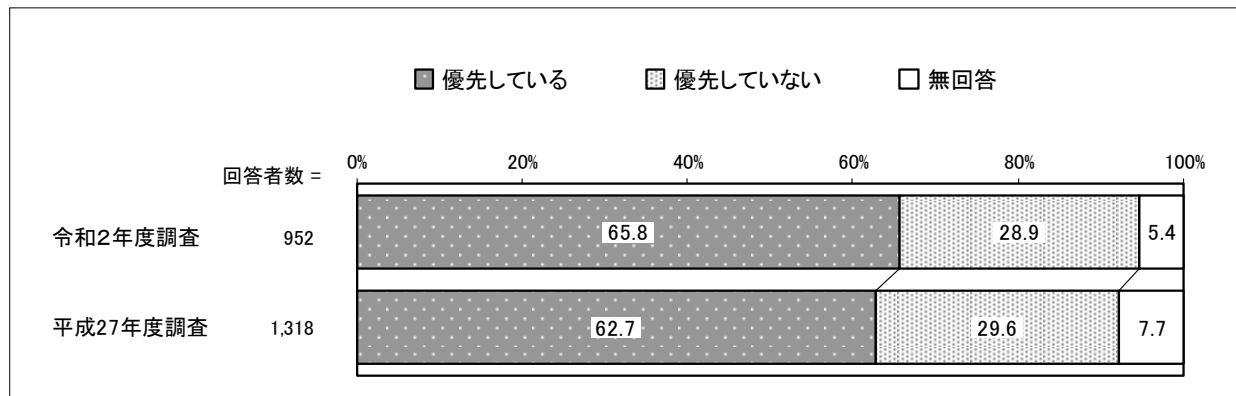
○「優先している」の割合が65.8%、「優先していない」の割合が28.9%となっています。

○平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。

○性別でみると、男性と女性で「優先している」の割合が高くなっています。

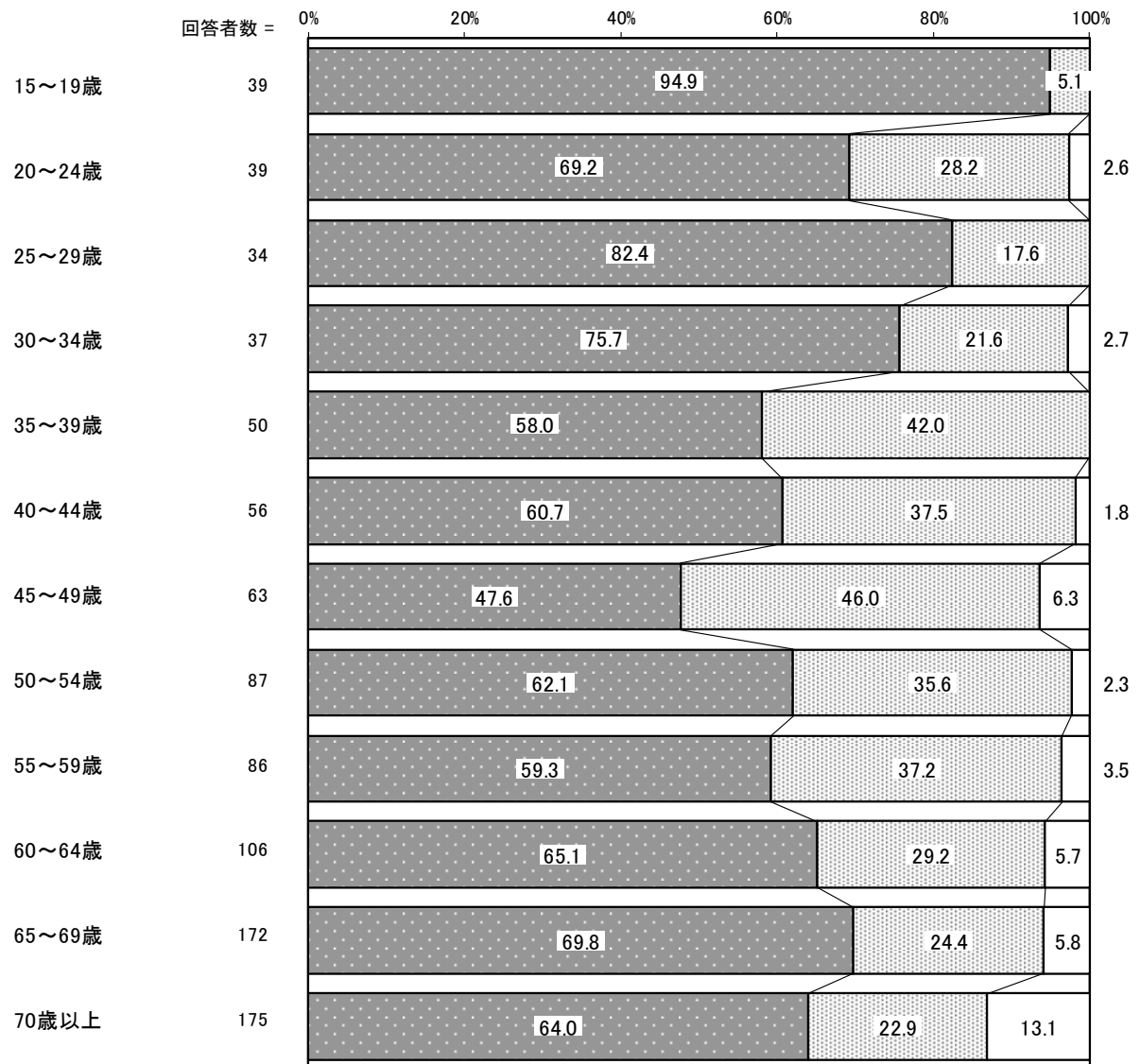
○年齢別でみると、他に比べ、15～19歳、25～29歳で「優先している」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、海津町東江で「優先している」の割合が高くなっています。



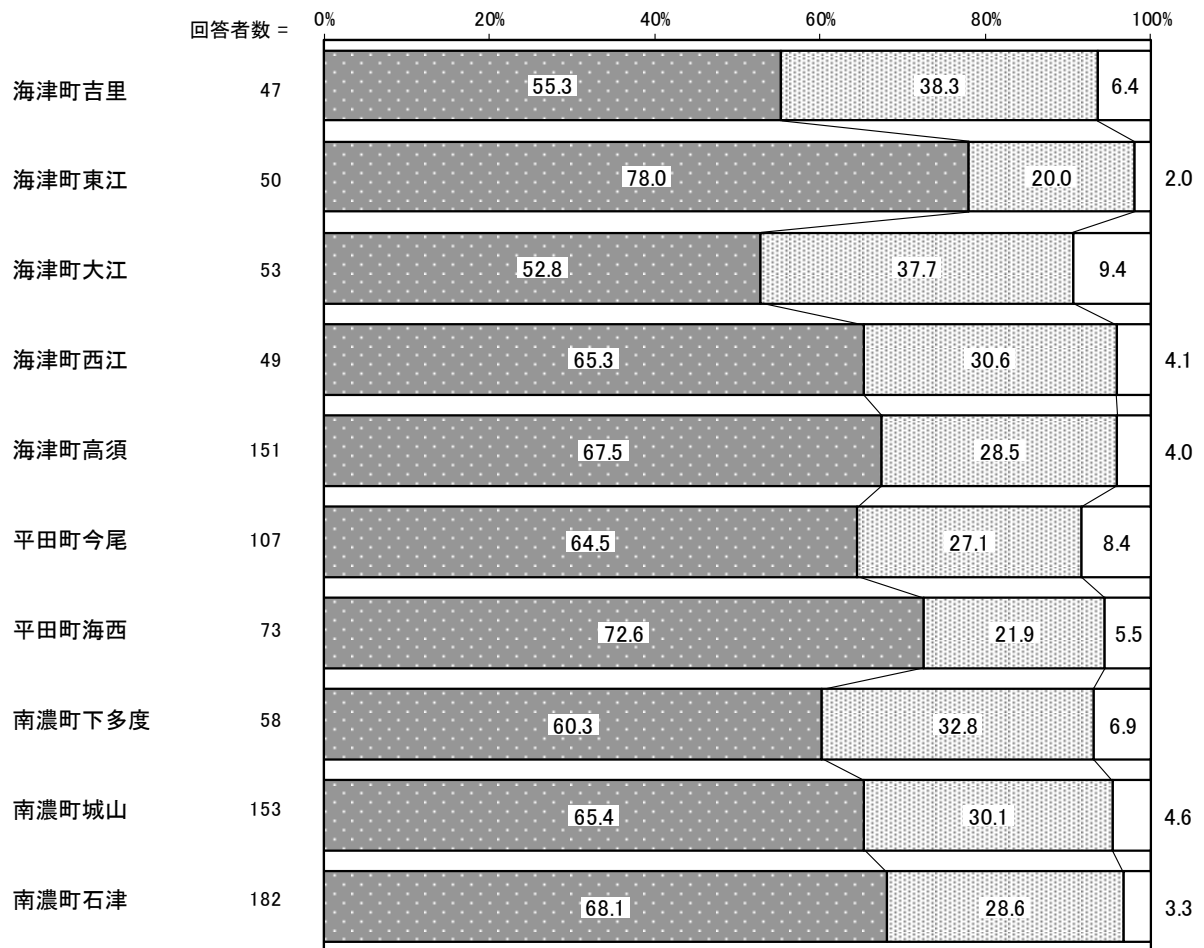
個人の生活（年齢別）

■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



個人の生活（町別）

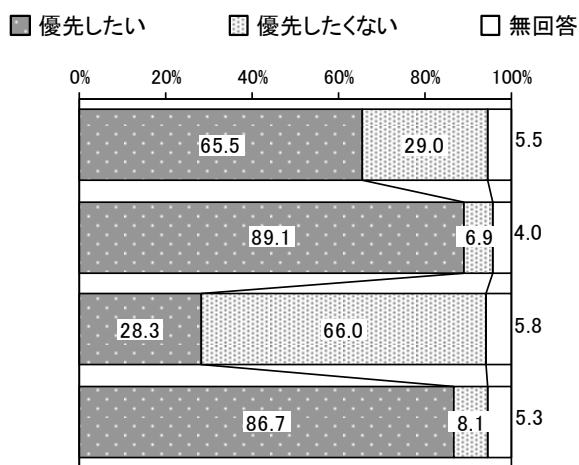
■ 優先している ▨ 優先していない □ 無回答



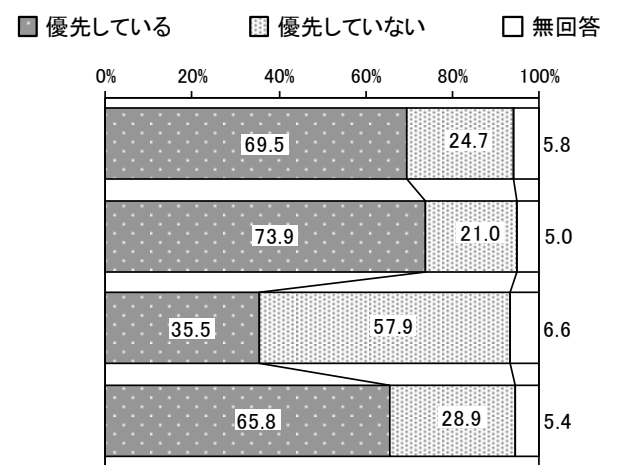
【希望と現実の比較】

- 希望と現実を比較すると、『個人の生活』について、「優先したい」が86.7%に対し、「優先している」は65.8%と、希望と現実の開きが大きくなっています。
- 『家庭生活』『個人の生活』は「優先したい」割合が高くなっていますが、現実には「優先している」人の割合は、希望に比べ少なくなっています。
- 『地域活動』においては、「優先したい」に比べ、「優先している」人の割合が高くなっています。しかし、「優先している」人の割合も3割半ばと低く、地域活動への参加意向が希薄になっていることがうかがえます。

【希望（回答者数 = 952）】



【現実（回答者数 = 952）】



問 32 あなたは、女性が仕事を持つことについてどう思いますか。(〇は1つ)

○「子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」の割合が41.8%と最も高く、次いで「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つのがよい」の割合が38.0%となっています。

○平成 27 年度調査と比較すると、「子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」の割合が増加しています。一方、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つのがよい」の割合が減少しています。

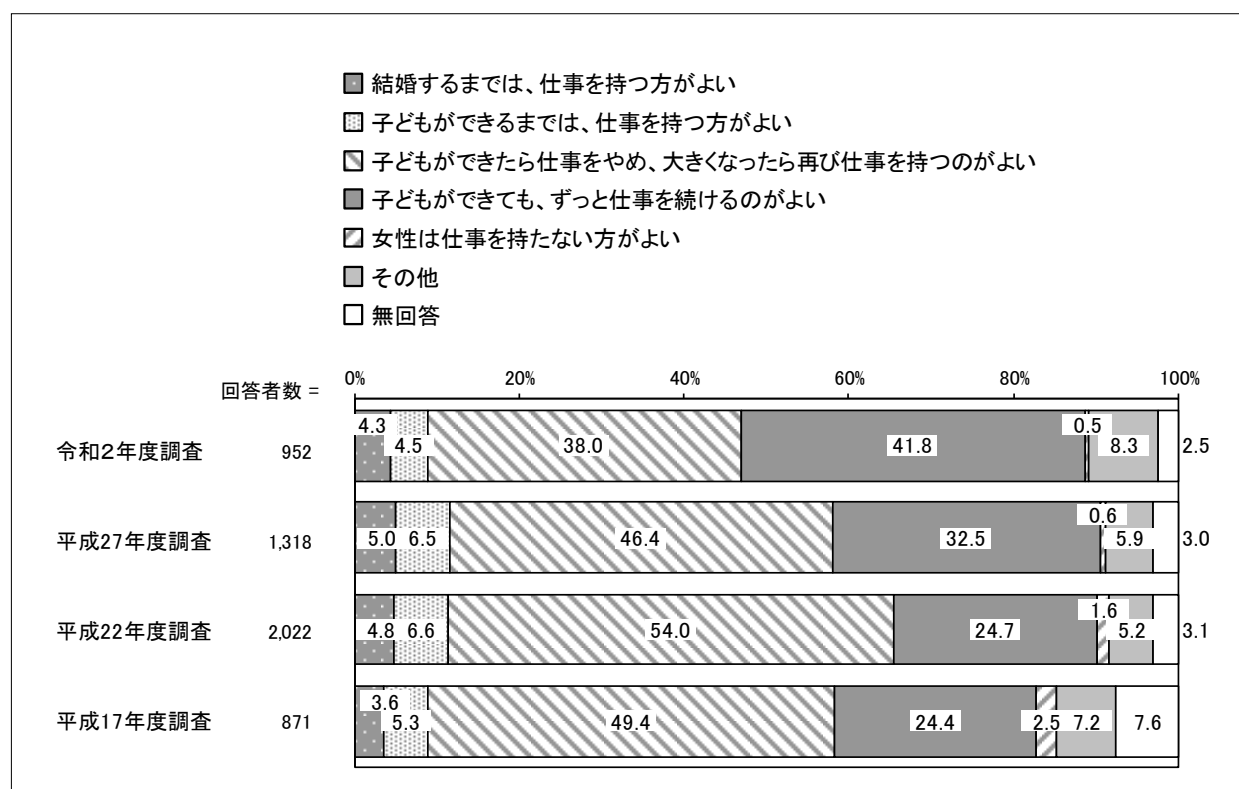
○平成 22 年度調査と比較すると、「子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」の割合が増加しています。一方、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つのがよい」の割合が減少しています。

○平成 17 年度調査と比較すると、「子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」の割合が増加しています。一方、「子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つのがよい」の割合が減少しています。

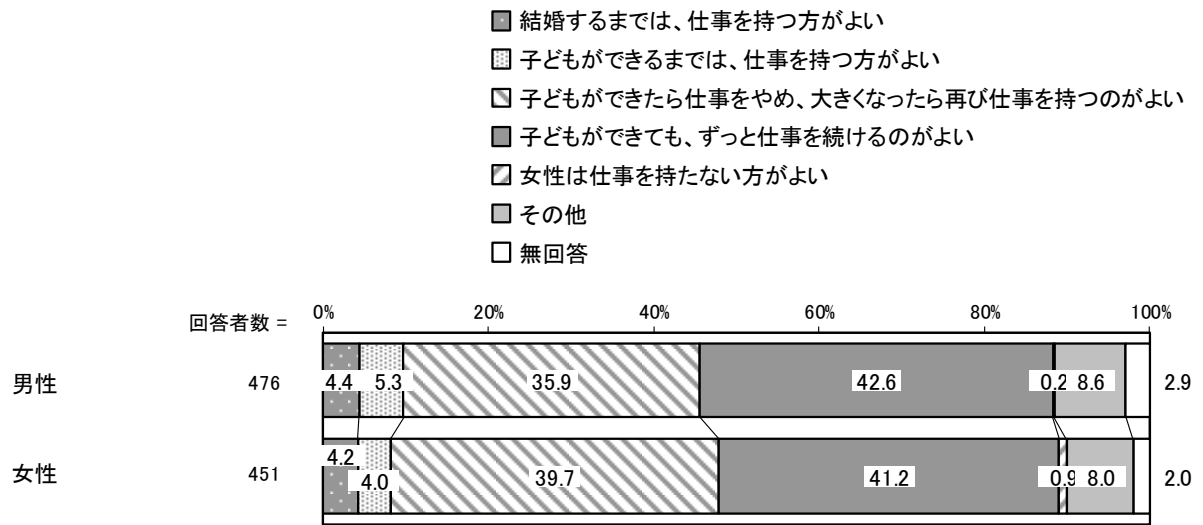
○性別でみると、男性と女性で「優先している」の割合が高くなっています。

○年齢別でみると、他に比べ、30～34 歳、25～29 歳で「子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」の割合が高くなっています。

○町別でみると、他に比べ、南濃町下多度、平田町海西、海津町東江で「子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい」の割合が高くなっています。

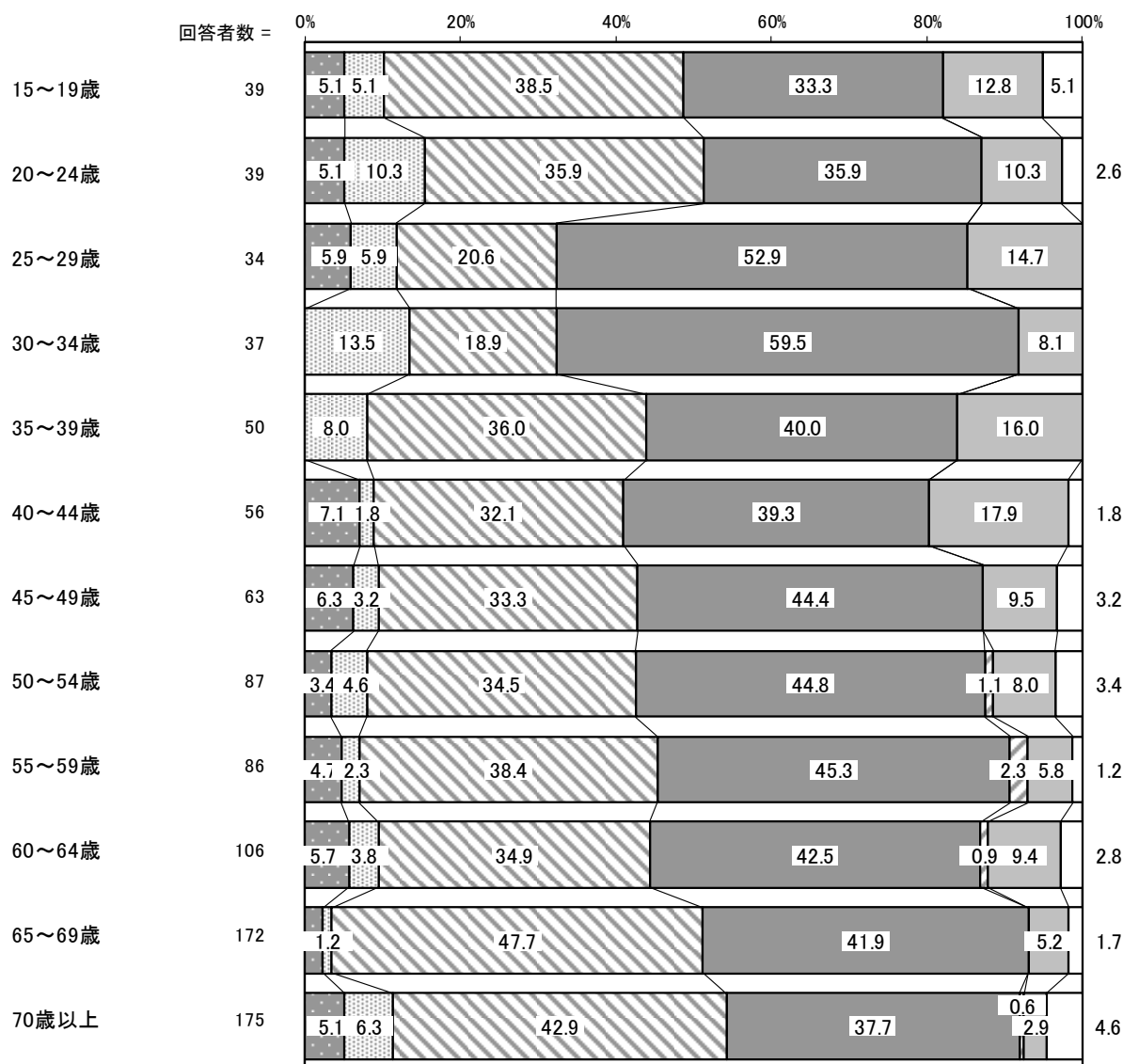


女性が仕事を持つことについて（性別）



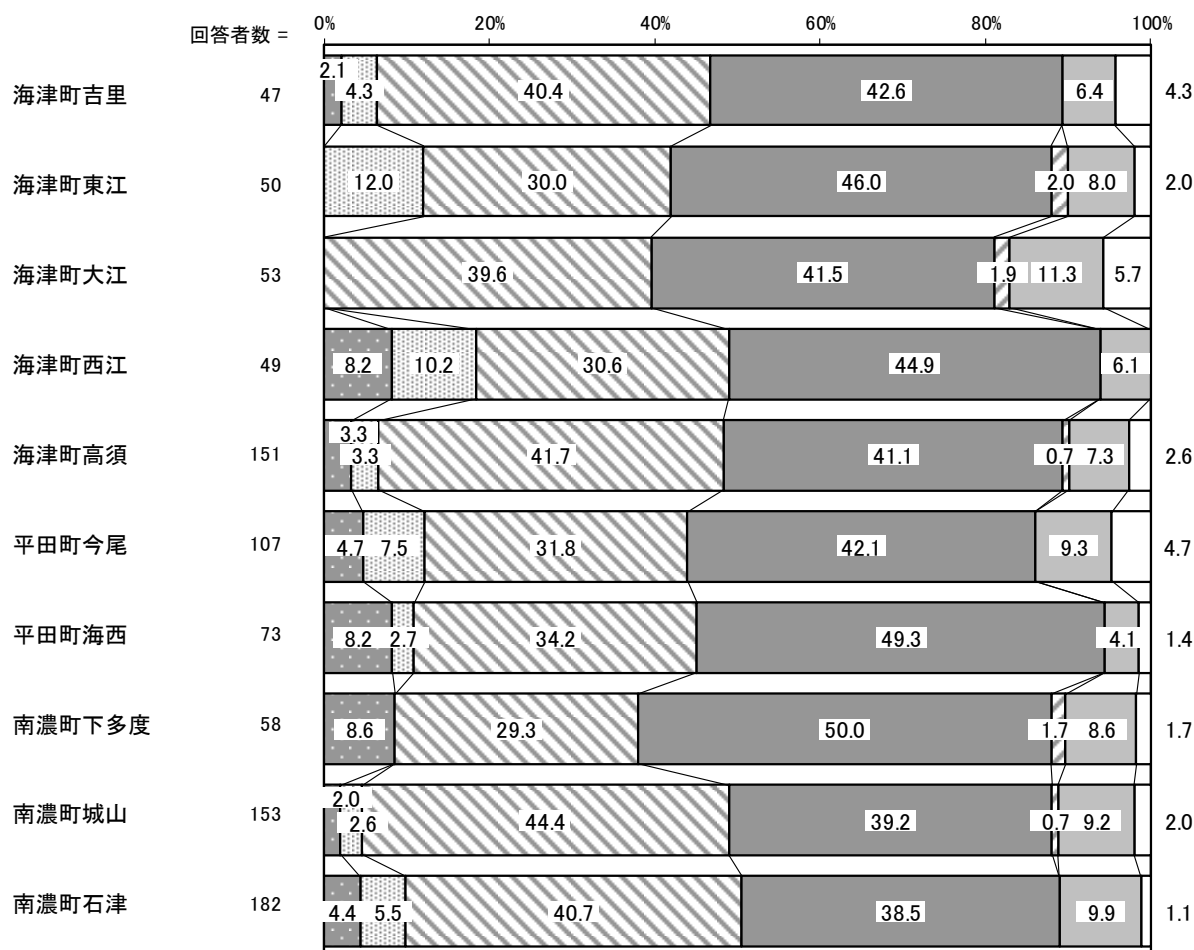
女性が仕事を持つことについて（年齢別）

- 結婚するまでは、仕事を持つ方がよい
- 子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい
- 子どもができたら仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つのがよい
- 子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい
- 女性は仕事を持たない方がよい
- その他
- 無回答



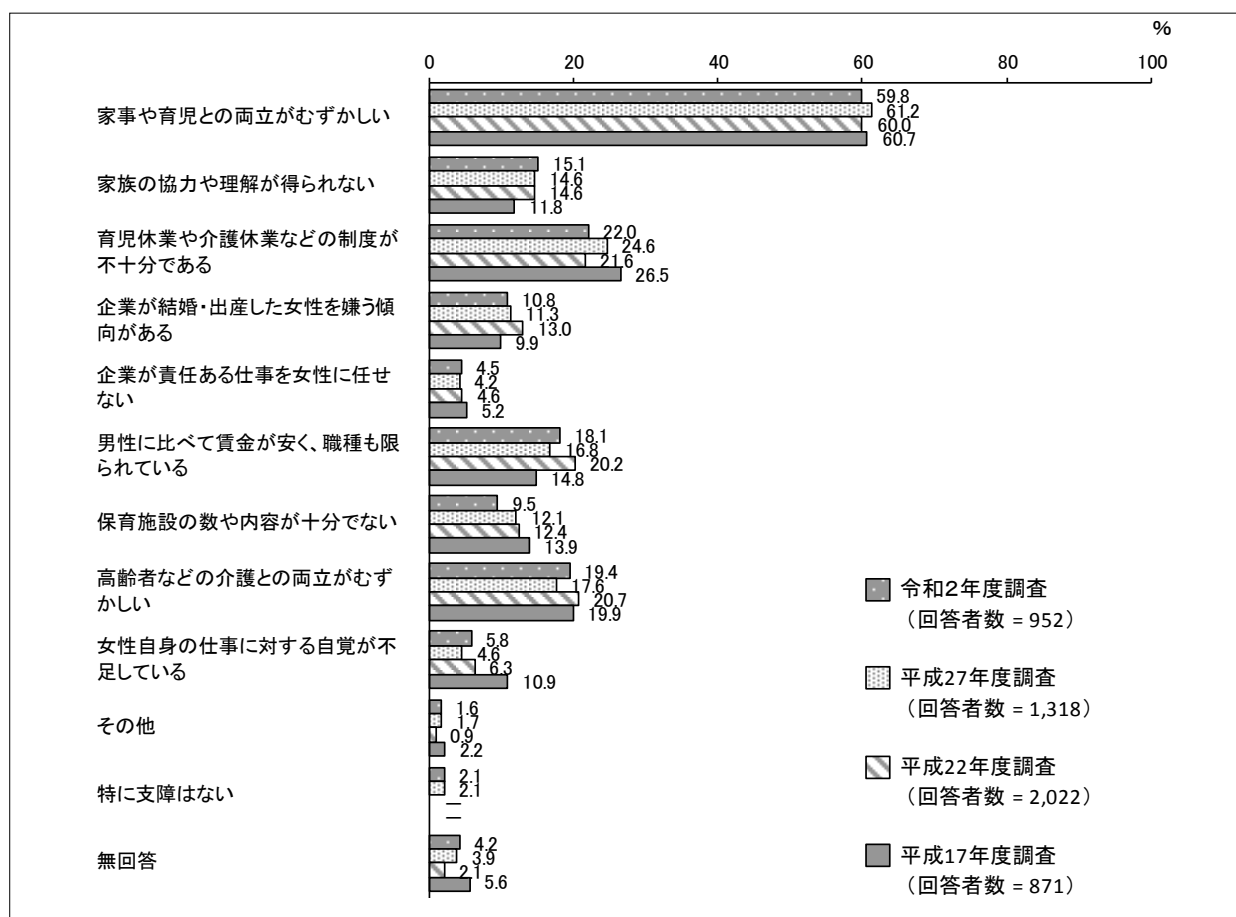
女性が仕事を持つことについて（町別）

- 結婚するまでは、仕事を持つ方がよい
- 子どもができるまでは、仕事を持つ方がよい
- 子どもができたらず仕事をやめ、大きくなったら再び仕事を持つのがよい
- 子どもができて、ずっと仕事を続けるのがよい
- 女性は仕事を持たない方がよい
- その他
- 無回答



問 33 あなたは、女性が仕事を持ち続けていくうえで支障があると思われることは何だと思いますか。（〇は2つ以内）

- 「家事や育児との両立がむずかしい」の割合が 59.8%と最も高く、次いで「育児休業や介護休業などの制度が不十分である」の割合が 22.0%、「高齢者などの介護との両立がむずかしい」の割合が 19.4%となっています。
- 平成 27 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- 平成 22 年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。
- 平成 17 年度調査と比較すると、「女性自身の仕事に対する自覚が不足している」の割合が減少しています。
- 性別でみると、男性と女性で「家事や育児との両立がむずかしい」の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、全体的に「家事や育児との両立がむずかしい」の割合が高くなっています。
- 職業別でみると、他に比べ、農林業で「家事や育児との両立がむずかしい」の割合が高くなっています。
- 町別でみると、他に比べ、全体的に「家事や育児との両立がむずかしい」の割合が高くなっています。



※平成 22 年度調査と平成 17 年度調査に「特に支障はない」の選択肢はありません。

女性が仕事を持ち続けていく上で支障があると思われること（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	家事や育児との両立がむずかしい	家族の協力や理解が得られない	育児休業や介護休業などの制度が不十分である	企業が結婚・出産した女性を嫌う傾向がある	企業が責任ある仕事を女性に任せない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者などの介護との両立がむずかしい	女性自身の仕事に対する自覚が不足している	その他	特に支障はない	無回答
男性	476	64.3	12.4	25.0	10.5	4.2	17.9	9.9	15.1	4.2	2.3	2.3	4.4
女性	451	55.2	18.0	19.1	11.1	4.9	17.7	9.1	23.9	7.5	0.9	1.8	4.0

女性が仕事を持ち続けていく上で支障があると思われること（年齢別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	家事や育児との両立がむずかしい	家族の協力や理解が得られない	育児休業や介護休業などの制度が不十分である	企業が結婚・出産した女性を嫌う傾向がある	企業が責任ある仕事を女性に任せない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者などの介護との両立がむずかしい	女性自身の仕事に対する自覚が不足している	その他	特に支障はない	無回答
15～19 歳	39	59.0	12.8	15.4	17.9	5.1	15.4	12.8	30.8	—	—	2.6	2.6
20～24 歳	39	66.7	12.8	10.3	20.5	2.6	17.9	17.9	7.7	5.1	—	2.6	5.1
25～29 歳	34	67.6	11.8	35.3	11.8	2.9	11.8	2.9	8.8	8.8	2.9	—	5.9
30～34 歳	37	62.2	32.4	27.0	10.8	2.7	13.5	5.4	8.1	2.7	—	—	5.4
35～39 歳	50	66.0	26.0	14.0	22.0	—	16.0	16.0	12.0	4.0	6.0	—	2.0
40～44 歳	56	58.9	8.9	19.6	8.9	8.9	28.6	7.1	7.1	8.9	5.4	1.8	5.4
45～49 歳	63	63.5	12.7	15.9	9.5	4.8	14.3	11.1	25.4	4.8	—	4.8	3.2
50～54 歳	87	57.5	14.9	18.4	10.3	1.1	19.5	8.0	21.8	9.2	1.1	2.3	3.4
55～59 歳	86	54.7	25.6	19.8	7.0	4.7	16.3	7.0	27.9	4.7	1.2	3.5	2.3
60～64 歳	106	62.3	11.3	28.3	8.5	4.7	17.9	7.5	19.8	2.8	0.9	1.9	5.7
65～69 歳	172	59.3	12.8	26.2	11.0	5.2	18.6	11.0	19.8	4.1	1.2	2.3	2.3
70 歳以上	175	56.6	12.6	22.9	8.6	6.3	18.9	8.6	21.7	9.7	1.7	1.7	6.3

女性が仕事をもち続けていく上で支障があると思われること（職業別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	家事や育児との両立がむずかしい	家族の協力や理解が得られない	育児休業や介護休業などの制度が不十分である	企業が結婚・出産した女性を嫌う傾向がある	企業が責任ある仕事を女性に任せない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者などの介護との両立がむずかしい	女性自身の仕事に対する自覚が不足している	その他	特に支障はない	無回答
会社員（常勤）	279	63.8	12.9	22.2	11.8	4.7	18.6	7.5	14.7	6.1	1.4	2.5	4.7
公務員・教職員（常勤）	39	69.2	28.2	12.8	10.3	—	10.3	17.9	10.3	7.7	2.6	5.1	5.1
パートタイマー・アルバイト・内職	172	56.4	18.0	19.2	8.1	5.2	19.8	11.6	19.2	7.0	1.7	4.1	2.3
自営業・自由業	75	60.0	12.0	20.0	10.7	5.3	21.3	4.0	22.7	8.0	—	1.3	5.3
農林業	38	76.3	21.1	26.3	7.9	2.6	7.9	18.4	13.2	5.3	—	—	2.6
学生	54	59.3	11.1	13.0	22.2	5.6	14.8	16.7	25.9	—	—	—	3.7
専業主婦・主夫	114	53.5	20.2	23.7	7.9	4.4	15.8	13.2	28.9	5.3	—	—	3.5
無職	152	55.3	11.8	29.6	11.2	5.3	19.7	5.3	18.4	4.6	2.6	2.0	5.9
その他	19	52.6	—	21.1	15.8	—	21.1	—	42.1	10.5	15.8	—	—

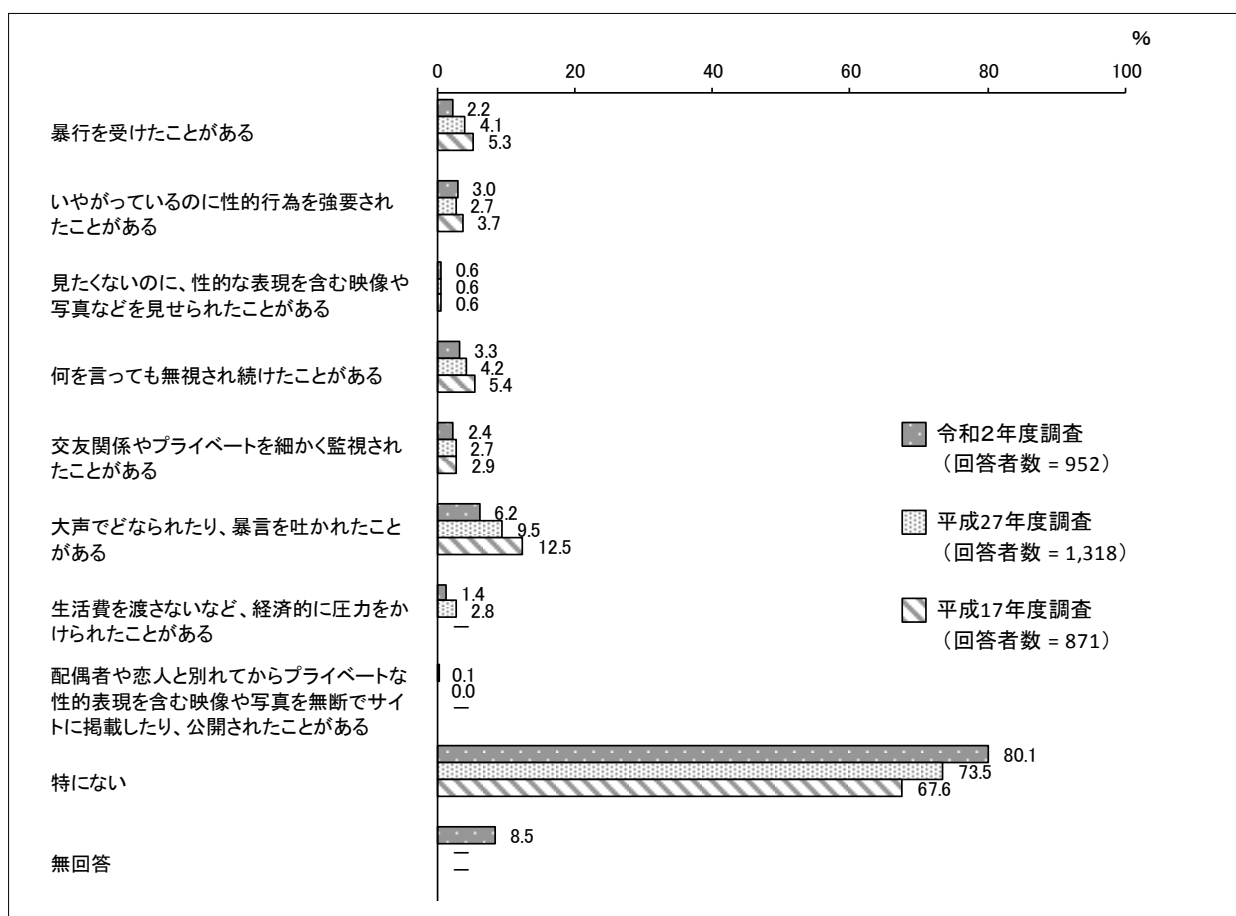
女性が仕事をもち続けていく上で支障があると思われること（町別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	家事や育児との両立がむずかしい	家族の協力や理解が得られない	育児休業や介護休業などの制度が不十分である	企業が結婚・出産した女性を嫌う傾向がある	企業が責任ある仕事を女性に任せない	男性に比べて賃金が安く、職種も限られている	保育施設の数や内容が十分でない	高齢者などの介護との両立がむずかしい	女性自身の仕事に対する自覚が不足している	その他	特に支障はない	無回答
海津町吉里	47	61.7	14.9	14.9	6.4	2.1	17.0	4.3	25.5	8.5	2.1	8.5	4.3
海津町東江	50	62.0	12.0	20.0	12.0	6.0	18.0	4.0	20.0	4.0	2.0	4.0	2.0
海津町大江	53	52.8	11.3	32.1	15.1	9.4	7.5	9.4	22.6	3.8	1.9	3.8	3.8
海津町西江	49	63.3	8.2	30.6	12.2	10.2	8.2	6.1	16.3	4.1	—	4.1	4.1
海津町高須	151	60.9	15.2	23.8	10.6	4.0	21.9	12.6	15.9	4.6	1.3	1.3	2.0
平田町今尾	107	54.2	13.1	22.4	10.3	6.5	17.8	8.4	19.6	4.7	2.8	1.9	6.5
平田町海西	73	49.3	21.9	19.2	12.3	4.1	16.4	11.0	21.9	8.2	1.4	2.7	2.7
南濃町下多度	58	65.5	13.8	12.1	8.6	6.9	22.4	8.6	17.2	5.2	—	3.4	6.9
南濃町城山	153	64.1	13.7	24.2	11.8	3.3	20.9	13.1	21.6	5.2	1.3	0.7	1.3
南濃町石津	182	62.6	18.1	20.3	10.4	2.2	17.6	7.1	19.2	8.2	2.2	0.5	5.5

問 34 あなたはこれまでに、あなたの配偶者や恋人から、次のようなことをされた経験がありますか。(〇はいくつでも)

- 「特にない」の割合が80.1%と最も高くなっています。
- 平成 27 年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。
- 平成 17 年度調査と比較すると、「特にない」の割合が増加しています。一方、「大声でどなられたり、暴言を吐かれたことがある」の割合が減少しています。
- 性別でみると、男性と女性で「特にない」の割合が高くなっています。
- 年齢別でみると、全体的に「特にない」の割合が高くなっています。
- 町別でみると、他に比べ、海津町東江で「特にない」の割合が高くなっています。



※平成 27 年度調査と平成 17 年度調査に「無回答」の選択肢はありません。平成 17 年度調査に「生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかけられたことがある」「配偶者や恋人と別れてからプライベートな性的表現を含む映像や写真を無断でサイトに掲載したり、公開されたことがある」の選択肢はありません

配偶者や恋人から受けた経験（性別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	暴行を受けたことがある	いやがっているのに性的行為を強要されたことがある	見たくないのに、性的な表現を含む映像や写真などを見せられたことがある	何を言っても無視され続けたことがある	交友関係やプライベートを細かく監視されたことがある
男性	476	0.8	0.4	0.2	3.6	1.3
女性	451	3.1	5.8	1.1	2.7	3.8

区分	大声でとられたり、暴言を吐かれたことがある	生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかけられたことがある	配偶者や恋人と別れてからプライベートな性的表現を含む映像や写真などを断でサイトに掲載したり、公開されたことがある	特にない	無回答
男性	2.9	0.6	—	84.2	9.2
女性	9.8	2.0	0.2	76.5	7.3

配偶者や恋人から受けた経験（年齢別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	暴行を受けたことがある	いやがっているのに性的行為を強要されたことがある	見たくないのに、性的な表現を含む映像や写真などを見せられたことがある	何を言っても無視され続けたことがある	交友関係やプライバシーを細かく監視されたことがある
15～19 歳	39	2.6	2.6	2.6	—	2.6
20～24 歳	39	—	—	—	—	—
25～29 歳	34	—	2.9	—	2.9	5.9
30～34 歳	37	—	—	—	5.4	2.7
35～39 歳	50	—	—	—	2.0	4.0
40～44 歳	56	3.6	7.1	—	8.9	5.4
45～49 歳	63	3.2	4.8	—	—	—
50～54 歳	87	2.3	4.6	2.3	5.7	6.9
55～59 歳	86	3.5	3.5	1.2	3.5	2.3
60～64 歳	106	2.8	3.8	—	1.9	0.9
65～69 歳	172	2.9	3.5	1.2	4.1	2.3
70 歳以上	175	1.1	1.1	—	2.3	0.6

区分	大声でどなられたり、暴言を吐かれたことがある	生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかけられたことがある	配偶者や恋人と別れてからプライバシー的な性的表現を含む映像や写真を無断でサイトに掲載したり、公開されたことがある	特にない	無回答
15～19 歳	2.6	—	—	89.7	—
20～24 歳	—	—	—	94.9	5.1
25～29 歳	2.9	—	—	91.2	—
30～34 歳	2.7	—	—	83.8	10.8
35～39 歳	4.0	2.0	—	86.0	4.0
40～44 歳	8.9	1.8	—	75.0	5.4
45～49 歳	9.5	—	—	84.1	3.2
50～54 歳	6.9	3.4	—	80.5	6.9
55～59 歳	10.5	3.5	—	79.1	7.0
60～64 歳	7.5	—	—	81.1	5.7
65～69 歳	8.1	2.3	0.6	72.1	12.2
70 歳以上	2.9	—	—	78.9	15.4

配偶者や恋人から受けた経験（町別）

単位：％

区分	有効回答数（件）	暴行を受けたことがある	いやがっているのに性的行為を強要されたことがある	見たくないのに、性的な表現を含む映像や写真などを見せられたことがある	何を言っても無視され続けたことがある	交友関係やプライベートを細かく監視されたことがある
海津町吉里	47	—	2.1	2.1	2.1	—
海津町東江	50	2.0	—	2.0	4.0	2.0
海津町大江	53	1.9	1.9	—	7.5	1.9
海津町西江	49	—	4.1	—	—	2.0
海津町高須	151	0.7	2.6	0.7	4.0	3.3
平田町今尾	107	3.7	5.6	1.9	2.8	2.8
平田町海西	73	2.7	4.1	—	4.1	2.7
南濃町下多度	58	—	1.7	—	1.7	1.7
南濃町城山	153	3.3	2.0	—	3.3	1.3
南濃町石津	182	3.3	3.3	—	2.7	3.3

区分	大声でどなられたり、暴言を吐かれたことがある	生活費を渡さないなど、経済的に圧力をかけられたことがある	配偶者や恋人と別れてからプライベートな性的表現を含む映像や写真を無断でサイトに掲載したり、公開されたことがある	特にない	無回答
海津町吉里	4.3	2.1	—	74.5	12.8
海津町東江	10.0	—	—	90.0	—
海津町大江	9.4	—	—	79.2	3.8
海津町西江	—	—	—	83.7	10.2
海津町高須	6.6	1.3	—	80.8	6.0
平田町今尾	5.6	1.9	0.9	74.8	13.1
平田町海西	4.1	4.1	—	79.5	12.3
南濃町下多度	3.4	—	—	84.5	8.6
南濃町城山	7.8	1.3	—	82.4	5.9
南濃町石津	7.1	1.1	—	80.2	8.2

問 34－1 問 34 で「1」～「8」のいずれかに○印をつけられた方にお聞きします。
配偶者や恋人からの行為について、誰かに打ち明けたり、相談したりしましたか。
(○は1つ)

○「相談した」の割合が32.4%、「どこ（誰）にも相談しなかった」の割合が57.4%となっています。

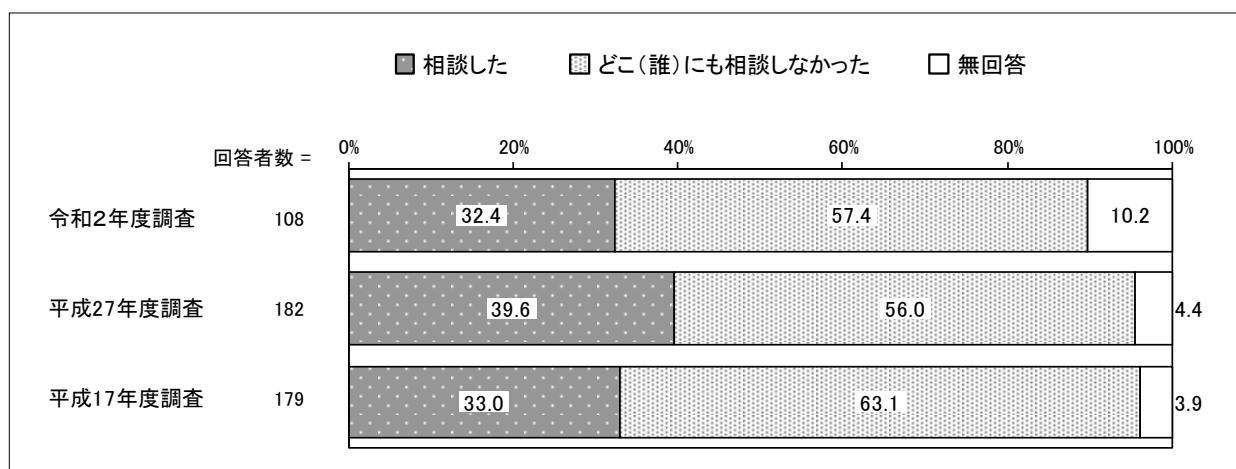
○平成 27 年度調査と比較すると、「相談した」の割合が減少しています。

○平成 17 年度調査と比較すると、「どこ（誰）にも相談しなかった」の割合が減少しています。

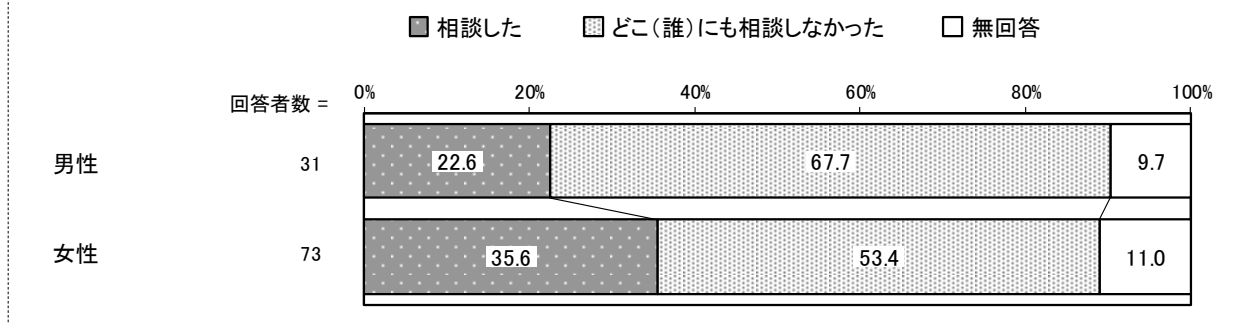
○性別でみると、男性と女性で「どこ（誰）にも相談しなかった」の割合が高くなっています。

○有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。

○有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。

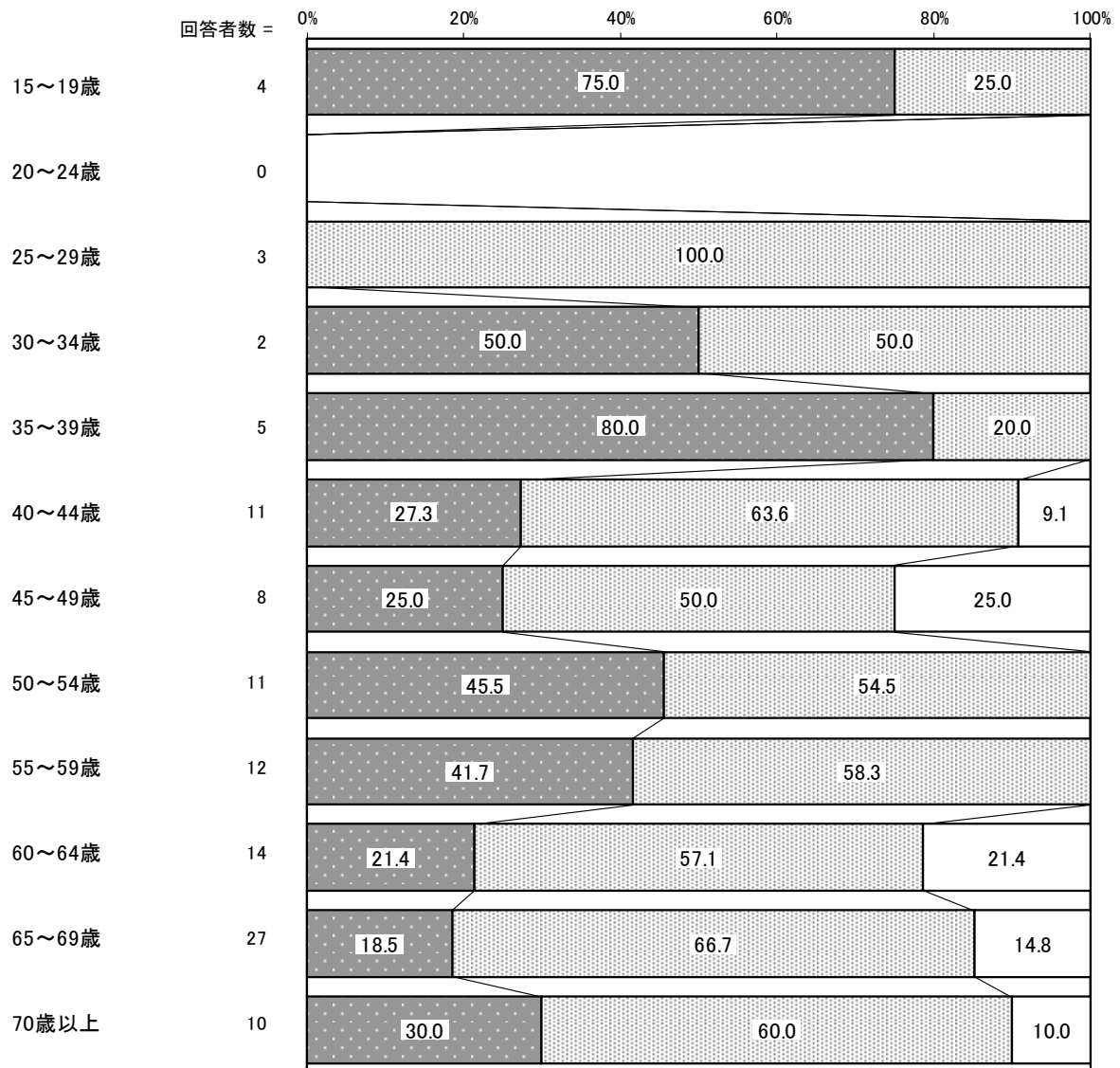


誰かに相談したか（性別）



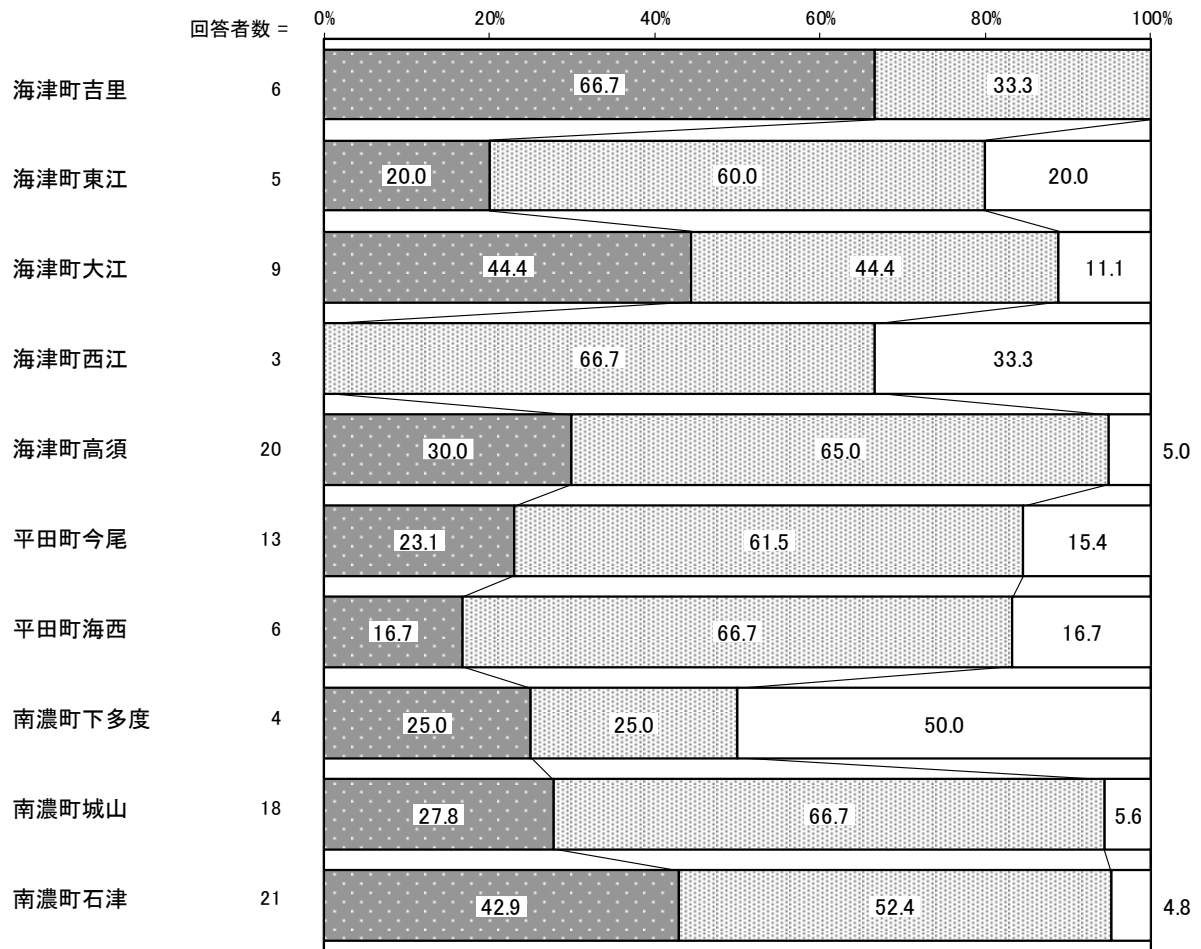
誰かに相談したか（年齢別）

■ 相談した ▨ どこ（誰）にも相談しなかった □ 無回答



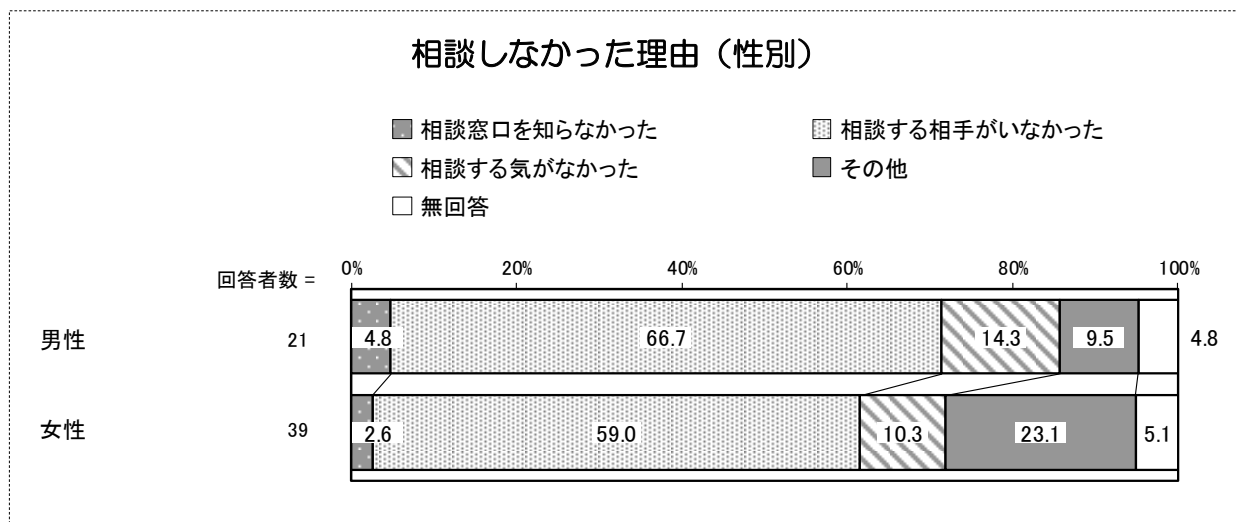
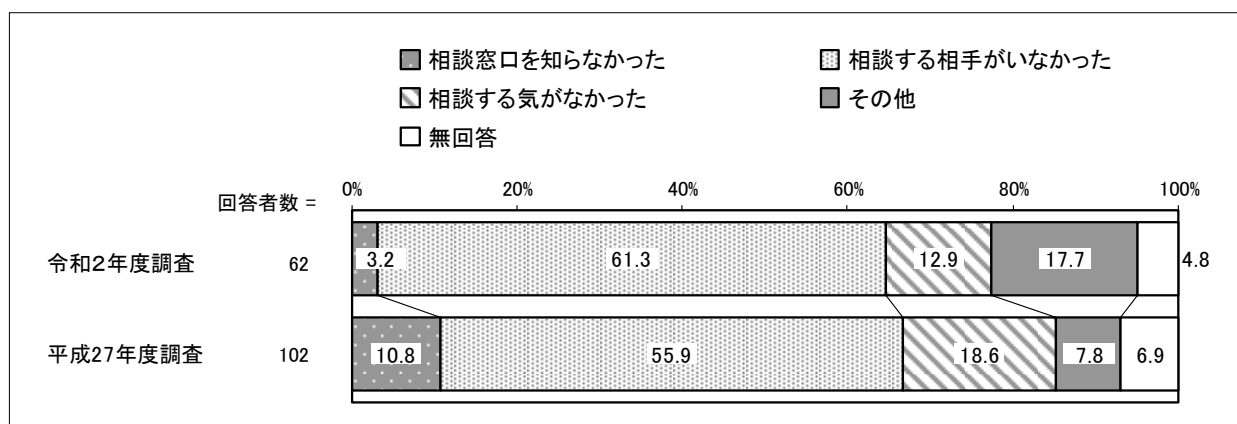
誰かに相談したか（町別）

■ 相談した ▨ どこ（誰）にも相談しなかった □ 無回答

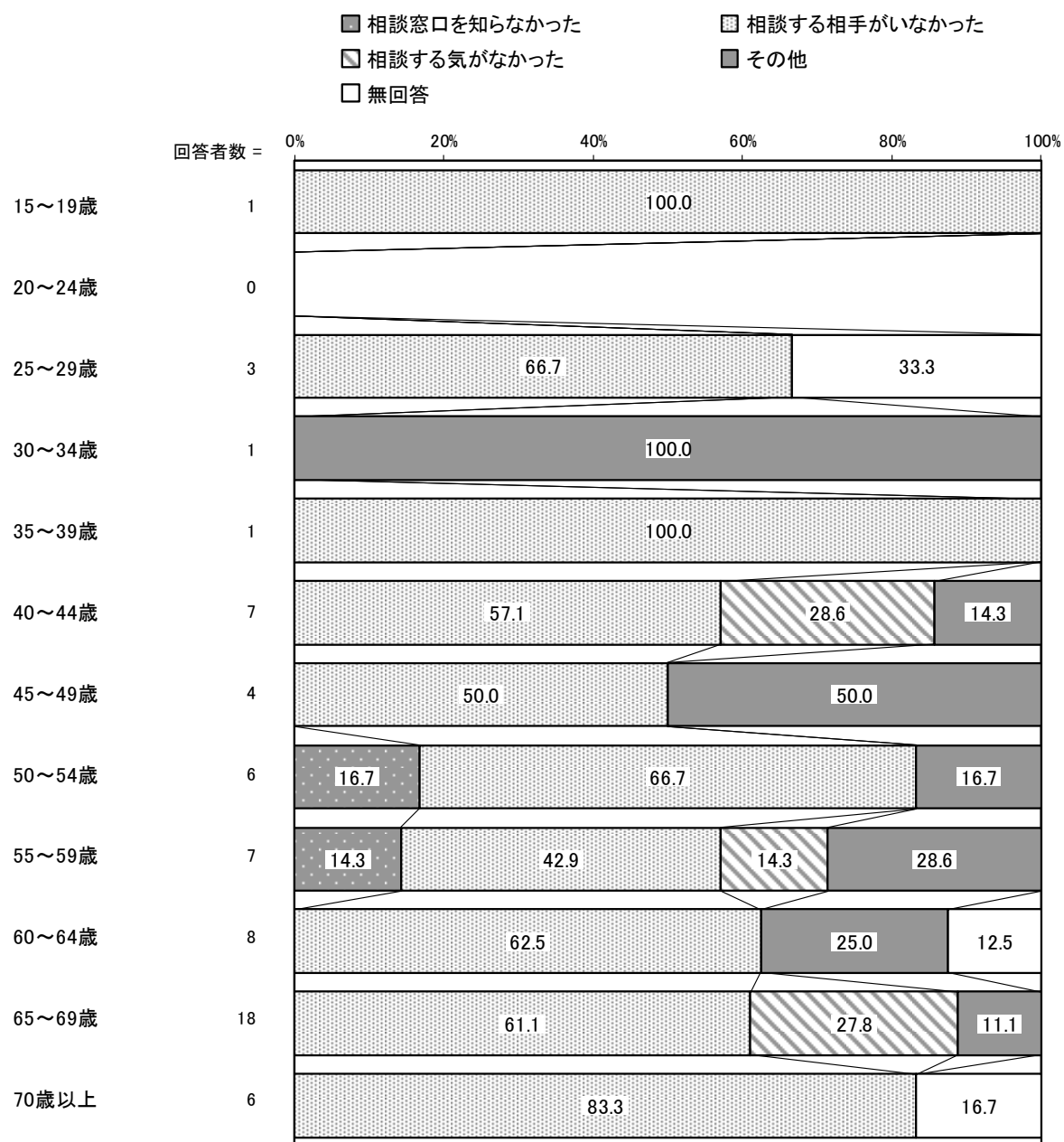


問 34-2 問 34-1 で「2」に○印をつけられた方にお聞きします。
 配偶者や恋人からの行為について、どこ（誰）にも相談しなかった理由は何ですか。（○は1つ）

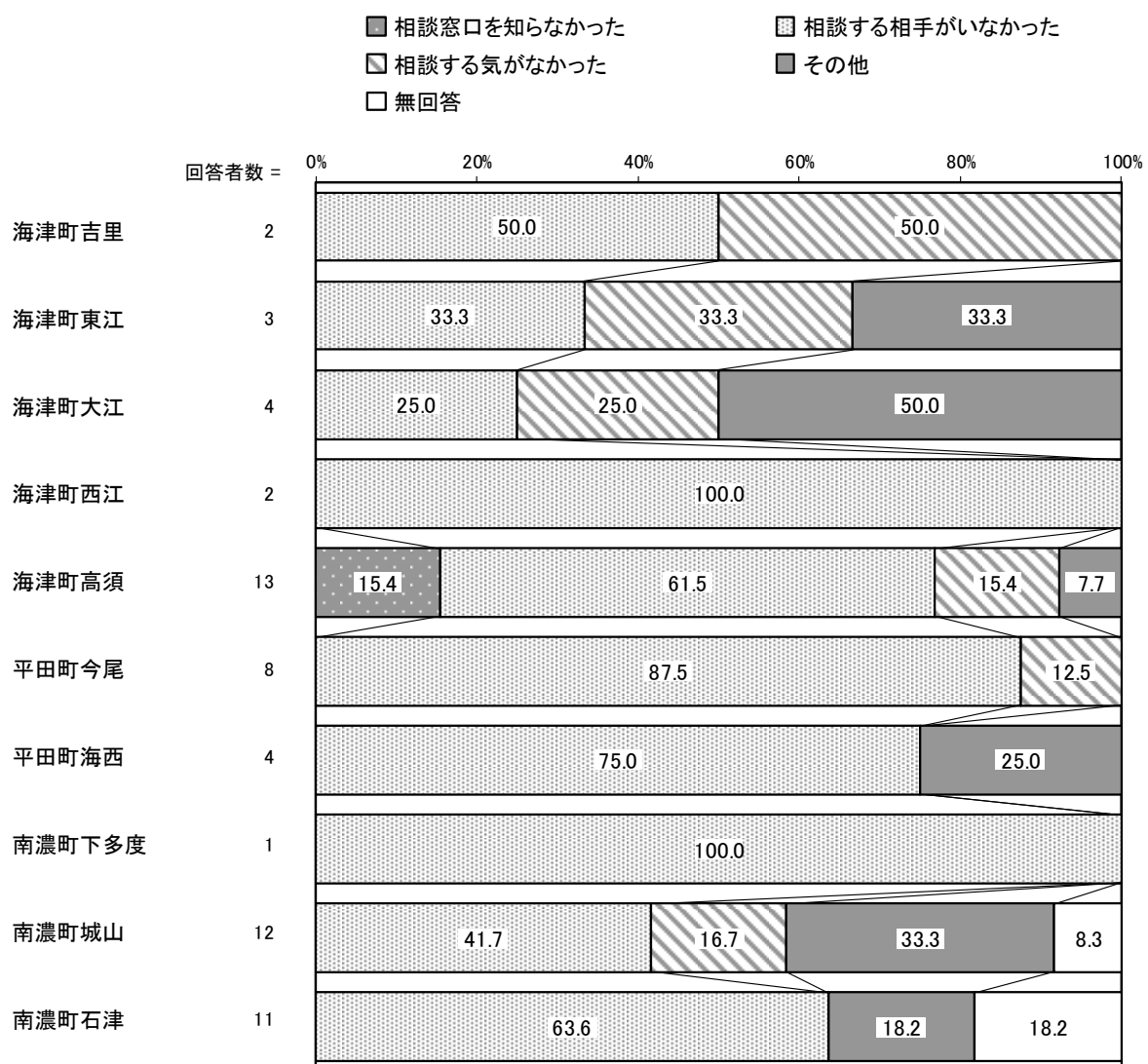
- 「相談する相手がいなかった」の割合が61.3%と最も高く、次いで「相談する気がなかった」の割合が12.9%となっています。
- 平成 27 年度調査と比較すると、「相談する気がなかった」の割合が増加しています。一方、「相談窓口を知らなかった」「相談する相手がいなかった」の割合が減少しています。
- 性別でみると、男性と女性で「どこ（誰）にも相談しなかった」の割合が高くなっています。
- 年齢別については有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。
- 超別については有効回答数が少ないため、コメントはひかえます。



相談しなかった理由（年齢別）



相談しなかった理由（町別）



6) 自由意見

- ・ 女性は男性より立場が弱い、最終的には女性が我慢することが多い。職場でも、年齢関係なく、自分より年下の方が先輩だと、やはり上から目線で注意されたりすることがある。男女、年齢、生活格差、いろいろと平等とは思えないことが多いですが、弱い立場の人を、周りの人が気づき、支え、護っていける社会ができて、生きる希望をもてる人が増えることを望みます。
- ・ このようにまちづくりや男女共同参画についてアンケート調査していることはとてもすばらしいことだと思います。海津がもっと盛り上がるよう頑張ってください。
- ・ 我が家は夫も義父も、家庭のことや子育てのこと、地域の活動にも積極的に参加してくれるので問題ありません。
- ・ 自助努力が少なく、何でも他人に頼りすぎる。平等という言葉が勘違いしていると思う。
- ・ 女性が働きやすい会社づくりなど。
- ・ 共同参画の意識は浸透しつつある。より発展させるには仕事に対し女性ならではの考え方、意見、感性を引き出す組織力、職場上司の力量が必要と思われる。(例) 提案に対し否定はいけない。このごろの行動は時に自由をはき違えていることがあるのではないか。言葉使いもしかり、日常節度を持った生活態度を持つことが参画よりうまく発揮されると思う。個々のことについては、よく分かりません。
- ・ 市民意識調査を行っているが実現できることに数がかぎられるが、こちらの意見も少し取り入れていただくと大変ありがたいです。こちらの調査項目を少し減少させてはどうでしょうか。
- ・ 説明がよく判らない
- ・ 女性職員の地位向上に向けての環境づくりを推進して欲しい。
- ・ ⑭の質問にモラハラの項目がありませんでした。私はモラハラを受けています。⑥などは私の行為です。が何も感じてもらえません。相変わらず、いっしょにいれば、私にとっていやがらせと嫌味な言葉が返ってきます。何でしょう？私は行事に参加する方ではありません。まだ昔の考え方をもった方が多く、なのに変に今を意識して、人口は減るばかり大都市に近いのに過疎の町！？長久手とか幸田とか住みたい町なんてテレビではやっぱり行政？若い家族が住みやすいのが良いのですね。って所をよろしくです。
- ・ 良い社会のために平等の中で男性、女性の役割があってもよい。不平等が平等になることも多いと思う。
- ・ アンケート調査をすることがムダだと思う。この調査結果をもとに、本当に海津市にかせるとは思わない。
- ・ 男子か女子かと云うと、この年になって女子の方が良いと思えるようになった。若い時仕事をして男より給料は安いし、営業の様なカッコいい(?)仕事をさせてもらえず、お茶くみ事務員があたりまえの50年前は、男子の方が良いと思ったものでした。でも長い月日結婚・出産いろいろな波をくぐり、仕事もいくつか変わり、その都度どこか女だからという甘えの中、それでもちょっと頑張って定年になりました。男子と女子同じ様に学卒就職をしても、大きな違いは性に依る、仕事内容の違いだと思います。女子でなきゃ出来ない仕事(一生のうち)に気づいた時、男子に出来ない面白味のある仕事がある事に満足し、おばちゃん丸々になって甘えを当然と思い今日に至り、幸せです。これが定年すぎた女子の“なれのはて”かな。しかし、現在の女子は学歴もあり機会にも強いし、物おじしないきれいな娘が多い。うらやましいかぎりです。男子・女子と云わず、どんどん進出して欲しいですね。昔のOLより。
- ・ 自治会も男性中心の為、各自治会組織も少なくとも1名(会長、副、会計)は選出される事が望ましいと思う。自治会単位で決定すれば良い事ではあるが、男性が選出される事が当たり前の文化になり打破するのが困難。市として強制は出来ないが女性も参加出

来ると良い意見等アナウンス出来れば。

- ・ 共同参画の優先度は低い。
- ・ 市の各種条例の市報掲載について：月ごとにテーマを決めて、1 ページでも半ページでも掲載してほしい。
- ・ 女性の気持ちを理解してほしい。
- ・ 〈男女共同参画について〉推進していくには年齢の高い層の理解が不可欠だと思う。（個人的な感覚だが）若い世代は性別のことを含め、個人を尊重する、受け入れる土壌があるほうだと感じる。女性など当事者が声を上げるようになり、社会で意識されるようになったことが一因になっていると思う。この風潮がうまく続けば、これから生まれてくる子どもたちの時代には当たり前になら男女共同参画が受け入れられる社会になっていると思う。対して、上の年代にとって現代の社会の動きは、今までの「当たり前」だった価値観（「男はこうあるべき」とか）を崩していくもののように感じられるかもしれない。やはり、変化に直面すると、それを受け入れにくかったり、抵抗する気持ちがどこかに生まれるものだと思う。そういった気持ちを和らげるために、特に上の世代に情報発信して理解を深めてもらう必要があると考える。世代間の認識の差が対立の種になりかねないと思う。ゆえに、まずは皆が共通意識を持てるように努めていってほしい。
- ・ 問 32、33 の質問の内容が、対象によって捉え方が難しいものがあつた。全体的には質問に答えやすく、良いと思う。
- ・ 女性の意見をもっと尊重してほしい。